

鳥取県がん検診実績報告書

平成26年3月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

はじめに

平成7年3月を第1報として発刊いたしました「鳥取県がん検診実績報告書」が、今回で第20報となります。

この20年を振り返ってみますと、他県に先駆け、平成7年度から肝臓がん検診及び陽性者へのフォローアップ事業を開始したほか、平成12年9月から、胃がん一次検診における内視鏡検査の導入の推奨を行ってきました。また、講習会の強化、精密検査医療機関登録条件の見直しなど、鳥取県独自の方式により、検診の質的向上を図ってきました。

このような中、胃内視鏡検診については、平成19年度より国立がん研究センターがん予防・検診研究センター 濱島ちさと先生、山陰労災病院の謝花典子先生らが共同研究者となっており、「胃内視鏡検診の有効性評価に関する研究」が行われてきました。そして、昨秋、その研究成果が、濱島先生らによって論文として発表され、この論文で、胃内視鏡検診が死亡率低下に有効であることが初めて証明されました。今後、おそらく、国の胃がん検診のあり方が少し見直されてくるものと思います。

また、健対協を中心としたこれまでの鳥取県における各種がん検診の精度管理に関する取り組みが、昨年、国立がん研究センターから高く評価され、鳥取県をモデルにして、全国の精度管理体制を作ることとなりました。

このように、鳥取県は、小さい県ではありますが、がん検診においては全国の最先端を走っていると評価された訳です。これは、県や市町村、鳥取大学医学部及び鳥取県医師会が、永年にわたって一体となって築き上げてきたものであり、節目の「第20報」の発刊にあたり、誇らしく思っております。

一方、鳥取県における75歳年齢調整死亡率は、年々減少傾向にはあるものの、この10年余り全国平均よりも高い状態が続いています。また、がん検診の受診率は国の目標値である50%にはまだ及びませんし、要精検率が国の許容値を超えている部門もあります。

鳥取県健康対策協議会は、今後も引き続き、検診受診率の向上に取り組むとともに、検診の質及び精度管理の更なる向上を図り、鳥取県における総合的ながん対策に寄与していきたいと存じます。

ここに、平成24年度検診実績について取りまとめました。本誌が今後の事業展開のための指標となるよう願っております。

平成26年3月

鳥取県健康対策協議会

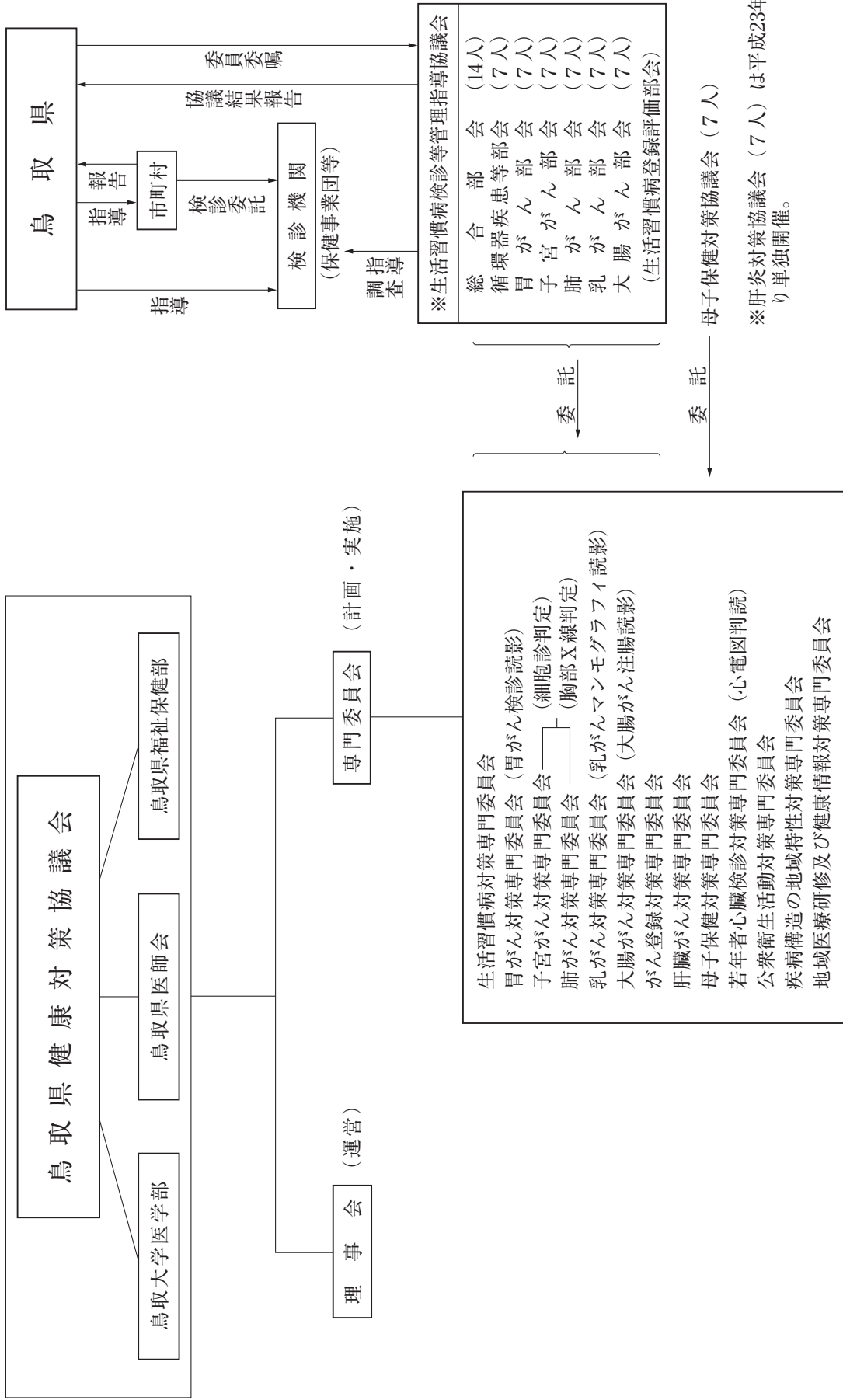
会長 魚谷 純

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| I. 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図 | 1 |
| II. 平成24年度各がん検診事業実績 | |
| 1. 胃がん検診 | 4 |
| 2. 子宮がん検診 | 17 |
| 3. 肺がん検診 | 26 |
| 4. 乳がん検診 | 42 |
| 5. 大腸がん検診 | 51 |
| 6. 肝臓がん検診 | 62 |
| 7. 全国がん検診実績との比較 | 73 |
| III. 平成25年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況 | |
| 1. 胃がん検診症例研究会報告 | 80 |
| 2. 子宮がん検診症例研究会報告 | 82 |
| 3. 肺がん検診症例研究会報告 | 83 |
| 4. 乳がん検診症例研究会報告 | 86 |
| 5. 大腸がん検診症例研究会報告 | 88 |
| 6. 肝臓がん検診症例研究会報告 | 90 |
| 7. 各地区がん検診症例検討会開催状況 | 94 |
| IV. 各がん検診精密検査医療機関登録について | 95 |

I. 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図

(昭和46年1月26日発足)



Ⅱ. 平成24年度各がん検診事業実績

指 標 の 解 説

1. 対象者数：職域等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数

※1 対象者数については、平成20年度から全市町村共通で以下の算式により推計対象者数を算出することとしている。

40歳以上（子宮がん検診は20歳以上）・男女ごとに、以下の計算式で算出した人数を「推計対象者数」とする。

各係数は直近の国勢調査において報告された人数を用いる。

$$\boxed{\text{推計}} \quad \boxed{\text{対象者数}} = \boxed{\text{市区町村}} \quad \boxed{\text{人口}} - \left(\boxed{\text{就業者数}} - \boxed{\text{農林水産業}} \quad \boxed{\text{従業者数}} \right)$$

（「市町村がん検診事業の充実強化について」平成21年3月厚生労働省総務）

胃、肺、大腸がん検診：40歳以上

乳がん検診：平成17年度より対象者は40歳以上。（同一人の隔年検診）

子宮がん検診：平成17年度より対象者は20歳以上。

肝炎ウイルス検査：以下に該当する者を対象者とする。

- (1) 節目検診：健康増進法に基づく事業の健康診査の対象者のうち、40歳の者
- (2) 節目外検診：上記以外の健康増進法に基づく事業の健康診査の対象者のうち、①基本健康診査で肝機能（GPT値）により要指導と診断された者。②平成14年～平成18年度までの本事業からに基づく肝炎ウイルス検査の対象者であって、受診の機会を逸した者。

2. 受診者数：検診を受診した人数

3. 受診率：がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合

4. 要精検者数：一次検診の結果、精密検査が必要と診断された人数

5. 要精検率：がん検診受診者のうち、精密検査が必要とされた者の割合

6. 精検受診者数：精密検査が必要と診断された者のうち、精密検査を受診した人数

7. 精検受診率：精密検査が必要な者のうち、精密検査を受けた者の割合

8. がん、がん疑いの人数：精密検査の結果、がん、がん疑いと診断された人数

子宮がん検診の場合、異形成と子宮内膜増殖症はがん疑いとして集計します。

9. がん発見率：がん検診受診者のうち、がんとされた者の割合

10. 陽性反応適中度：要精密検査者のうち、がんとされた者の割合（平成24年度報告から要精検者を分母として算出）

11. 確定癌数：精密検査の結果、がん、がん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会において確定調査を行った結果、「癌」であった者の人数

12. 確定癌率：がん検診受診者のうち、確定調査の結果、癌であった者の割合

1. 胃 がん 検 診

1. 胃がん検診実績

平成24年度の対象者数対象者数（40歳以上のうち職域等で受診の機会がない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計値）は190,556人のうち、受診者数はX線検査15,251人、内視鏡検査は31,711人で合計46,962人、受診率は24.6%で前年度より2,447人、1.2ポイント増加した。

受診者数全体のうち、内視鏡検査の実施割合は67.5%で、年々増加している。

検査の結果、胃がんであった者は157人発見され（X線検査33人、内視鏡検査124人）、がん発見率は0.33%であった。平成23年度全国平均がん発見率0.16%に比べ高い。例年と同様な傾向である。

X線検査でのがん発見率は0.22%に対し、内視鏡検査でのがん発見率は0.39%である。

陽性反応適中度（がん/要精検査者）はX線検査2.4%である。また、内視鏡検査の陽性反応適中度はがんを組織診実施者数で割った率で求めたところ6.4%であった。

確定調査の結果、確定癌は158例、発見癌率は0.34%であった。

- (1) X線検査は19市町村で実施され、受診者数は15,251人で、受診率は8.0%である。一次検診の要精検査者は1,396人で、要精検査率は9.2%で、前年度より0.9ポイント増加した。精検受診者数1,166人、精検受診率は83.5%で前年度より1.5ポイント増加した。車検診の要精検査率8.6%。施設検診は11.5%で、依然として中部が15.3%と高いが、平成23年度の26.6%に比べては改善されている。

精検結果は、胃がんであった者は33人で、胃がん発見率は0.22%であった。

国はプロセス指標として、要精検査率許容値11.0%以下、精密検査受診率目標値90%以上、がん発見率許容値0.11%以上、陽性反応適中度許容値1.0%以上を指標としているが、鳥取県は精検受診率以外は指標をクリアしており、精度の高い検診がおこなわれている。ただし、医療機関におけるX線検査では要精検査率が高く、また、よりきれいな写真を撮る技術指導が必要である。

- (2) 内視鏡検査は、15市町村で実施され、受診者数は31,711人で、検査結果は胃がんであった者は124人が発見され、発見率は0.39%であった。

内視鏡検査の組織診実施者数1,951人で、組織診実施率6.2%で、東部7.0%、中部8.4%、西部4.7%で地域格差がある。また、陽性反応適中度（がん/組織診実施者数）は6.4%で、東部4.9%、中部5.4%、西部8.9%であった。西部の組織実施率は4.7%と低い、陽性反応適中度は8.9%と高かった。

〈検診方法別結果〉

| 区 分 | 市町村数 | | 受診者数（率） | がん | がん発見率（%） |
|---------|------|-----|-------------------|-----|----------|
| | 実 施 | 未実施 | | | |
| X 線 検 診 | 19 | 0 | 15,251 (32.5%) | 33 | 0.216 |
| 内視鏡検査 | 15 | 4 | 31,711 (67.5%) | 124 | 0.391 |
| 計 | | | 46,962 (100%) | 157 | 0.334 |

※がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

〈検診機関別結果〉

(1) X線検診

・一次検診

| 区 分 | 受診者数 (率) | 要精検者数 | 要精検率 (%) | | | |
|---------------------------|-------------------|-------|----------|------|------|-----|
| | | | 計 | 東部 | 中部 | 西部 |
| 車 検 診 (保健事業団・中国労働衛生協会) | 12,151 (79.7%) | 1,040 | 8.6 | 8.9 | 10.0 | 6.6 |
| 施 設 検 診 (病院・診療所) | 3,100 (20.3%) | 356 | 11.5 | 12.1 | 15.3 | 9.8 |
| 計 | 15,251 (100%) | 1,396 | 9.2 | 9.8 | 10.2 | 7.4 |

・精密検査

| 区 分 | 精 検 受診者数 | 精検受診 率 (%) | がん | がん発見率 (%) | | | |
|---------|-------------|---------------|----|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | 計 | 東部 | 中部 | 西部 |
| 車 検 診 | 881 | 84.7 | 28 | 0.230 | 0.218 | 0.249 | 0.225 |
| 施 設 検 診 | 285 | 80.1 | 5 | 0.161 | 0.236 | 0.000 | 0.084 |
| 計 | 1,166 | 83.5 | 33 | 0.216 | 0.223 | 0.236 | 0.190 |

(2) 内視鏡検診

| 区 分 | 受診者数 | 組 織 診 実 施 者 | がん | がん発見率 (%) | | | |
|-------|--------|----------------|-----|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | 計 | 東部 | 中部 | 西部 |
| 病 院 | 8,270 | 546 | 21 | 0.254 | 0.258 | 0.218 | 0.270 |
| 診 療 所 | 23,441 | 1,405 | 103 | 0.439 | 0.393 | 0.561 | 0.440 |
| 計 | 31,711 | 1,951 | 124 | 0.391 | 0.341 | 0.454 | 0.418 |

※がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

〈圏域別結果〉

(1) X線検診

| 区 分 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | がん | がん発見率 |
|-----|--------|-------|------|--------|-------|----|-------|
| 東 部 | 6,273 | 613 | 9.8 | 525 | 85.6 | 14 | 0.223 |
| 中 部 | 4,232 | 433 | 10.2 | 351 | 81.1 | 10 | 0.236 |
| 西 部 | 4,746 | 350 | 7.4 | 290 | 82.9 | 9 | 0.190 |
| 計 | 15,251 | 1,396 | 9.2 | 1,166 | 83.5 | 33 | 0.216 |

(2) 内視鏡検診

| 区 分 | 受診者数 | 組織診実施者 | 実施率 | がん | がん発見率 | 適中度 |
|-----|--------|--------|-----|-----|-------|-----|
| 東 部 | 13,183 | 923 | 7.0 | 45 | 0.341 | 4.9 |
| 中 部 | 4,406 | 368 | 8.4 | 20 | 0.454 | 5.4 |
| 西 部 | 14,122 | 660 | 4.7 | 59 | 0.418 | 8.9 |
| 計 | 31,711 | 1,951 | 6.2 | 124 | 0.391 | 6.4 |

※がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

2. 胃がん検診発見胃がん確定調査結果

平成24年度に発見された胃がん及び胃がん疑い235例について確定調査を行った結果、確定胃がんは158例（一次検査がX線検査：車検診26例、施設検診4例、一次検査が内視鏡検査：128例）であった。発見癌率は0.339%であった。調査結果は以下のとおりである。

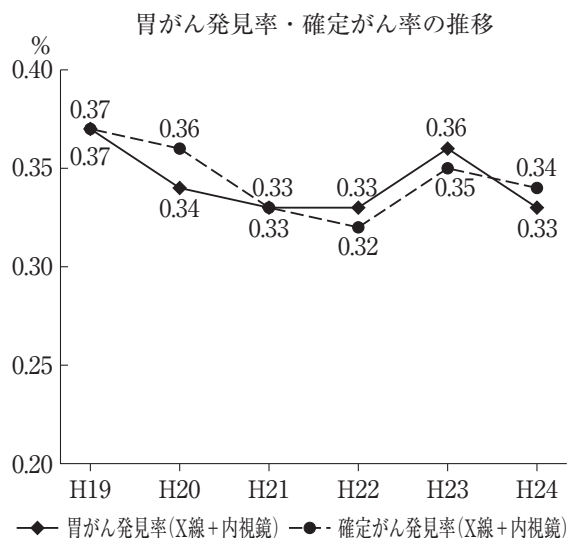
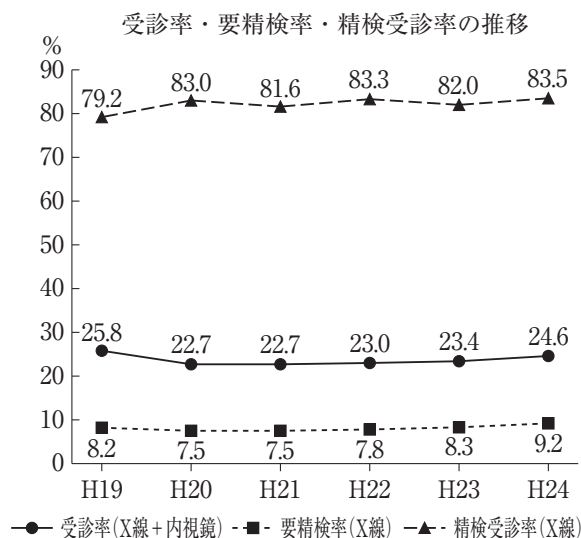
- (1) 早期癌は124例、進行癌は34例であった。早期癌率は78.5%で、東部75.8%、中部69.0%、西部85.1%であった。
- (2) 切除例は152例で、そのうち内視鏡切除が59例で全体の約4割を占めている。非切除例が6例で、手術拒否1例、手術不能5例であった。
- (3) 性・年齢別では、男性101例、女性57例であった。40歳代で5例、50歳代で5例、がんが見つかっている。
- (4) 早期癌では「Ⅱc」が58.1%で大半を占めている。進行癌では「2」、「3」が55.9%を占めている。また、分類不能の「5」は8例あった。
- (5) 切除例の深達度は「t1a」が82例、「t1b」が42例であった。
- (6) 切除例の大きさは2cm以内が50.7%であった。内視鏡検査では54.5%で、小さいものが見つかっている。
- (7) 早期癌の占拠部位では内視鏡検査で小弯が多くなっている。
- (8) 肉眼での進行度は、X線検査ではstage I Aが15例で50.0%、内視鏡検査ではstage I Aが103例で83.1%であった。
- (9) 前年度受診歴を有する進行癌は、東部6件、中部2例、西部3件で、前年度の受診結果は異常なしが6例、胃ポリープ、慢性胃炎で精検不要が2件、精検未受診、未把握が3件であった。前年受診歴がある者について、前年の結果が「異常認めず」のものが多いため、各地区で症例検討すべきとの意見があった。この症例については、今後地区読影会において症例検討を行って頂く。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

| 区 分 | | 19 年 度 | | | 20 年 度 | | | 21 年 度 | | |
|--------|--|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | X線 | 内視鏡 | 計 | X線 | 内視鏡 | 計 | X線 | 内視鏡 | 計 |
| 一次検診 | 対 象 者 数(人) A | | | 171,530 | | | 188,186 | | | 188,186 |
| | 受 診 者 数(人) B | 20,507 | 23,765 | 44,272 | 18,099 | 24,700 | 42,799 | 17,352 | 25,449 | 42,801 |
| | 受 診 率(%) C = B/A | 12.0 | 13.9 | 25.8 | 9.6 | 13.1 | 22.7 | 9.2 | 13.5 | 22.7 |
| 一次検診結果 | 異 常 認 め ず(人) D | 18,818 | | | 16,736 | | | 16,052 | | |
| | 要 精 検 者 数(人) E | 1,689 | | | 1,363 | | | 1,300 | | |
| | 要 精 検 率(%) F = E/B 指標:許容値1.0%以下 | 8.2 | | | 7.5 | | | 7.5 | | |
| 精密検査 | 精 検 受 診 者 数(人) G | 1,337 | | | 1,131 | | | 1,061 | | |
| | 精 検 受 診 率(%) H = G/E 指標:目標値90%以上 | 79.2 | | | 83.0 | | | 81.6 | | |
| | 胃 がん の 者(人) I | 35(6) | 131(31) | 166(37) | 31(5) | 113(44) | 144(49) | 29(6) | 114(35) | 143(41) |
| | 胃 がん 発 見 率(%) J = I/B 指標:許容値0.11%以上 | 0.17 | 0.55 | 0.37 | 0.17 | 0.46 | 0.34 | 0.17 | 0.45 | 0.33 |
| | 陽 性 反 応 適 中 度(%) K = I/E 指標:許容値1.0%以上 | 2.1 | | | 2.3 | | | 2.2 | | |
| 確定調査結果 | 確 定 が ん 数(人) L | 36 | 126 | 162 | 31 | 122 | 153 | 28 | 113 | 141 |
| | 確 定 が ん 率(%) M = L/B | 0.18 | 0.53 | 0.37 | 0.17 | 0.49 | 0.36 | 0.16 | 0.44 | 0.33 |

| 区 分 | | 22 年 度 | | | 23 年 度 | | | 24 年 度 | | |
|--------|--|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | X線 | 内視鏡 | 計 | X線 | 内視鏡 | 計 | X線 | 内視鏡 | 計 |
| 一次検診 | 対 象 者 数(人) A | | | 188,186 | | | 190,556 | | | 190,556 |
| | 受 診 者 数(人) B | 16,082 | 27,214 | 43,296 | 15,080 | 29,435 | 44,515 | 15,251 | 31,711 | 46,962 |
| | 受 診 率(%) C = B/A | 8.5 | 14.5 | 23.0 | 7.9 | 15.4 | 23.4 | 8.0 | 16.6 | 24.6 |
| 一次検診結果 | 異 常 認 め ず(人) D | 14,823 | | | 13,833 | | | 13,855 | | |
| | 要 精 検 者 数(人) E | 1,259 | | | 1,247 | | | 1,396 | | |
| | 要 精 検 率(%) F = E/B 指標:許容値1.0%以下 | 7.8 | | | 8.3 | | | 9.2 | | |
| 精密検査 | 精 検 受 診 者 数(人) G | 1,049 | | | 1,022 | | | 1,166 | | |
| | 精 検 受 診 率(%) H = G/E 指標:目標値90%以上 | 83.3 | | | 82.0 | | | 83.5 | | |
| | 胃 がん の 者(人) I | 23(2) | 119(35) | 142(37) | 24(5) | 135(50) | 159(55) | 33(0) | 124(78) | 157(78) |
| | 胃 がん 発 見 率(%) J = I/B 指標:許容値0.11%以上 | 0.14 | 0.44 | 0.33 | 0.16 | 0.46 | 0.36 | 0.22 | 0.39 | 0.33 |
| | 陽 性 反 応 適 中 度(%) K = I/E 指標:許容値1.0%以上 | 1.8 | | | 1.9 | | | 2.4 | | |
| 確定調査結果 | 確 定 が ん 数(人) L | 22 | 116 | 138 | 24 | 133 | 157 | 30 | 128 | 158 |
| | 確 定 が ん 率(%) M = L/B | 0.14 | 0.43 | 0.32 | 0.16 | 0.45 | 0.35 | 0.20 | 0.40 | 0.34 |

- ※1 精密検査結果欄の()内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上
- ※2 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上
- ※3 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者を分母として算出
- ※4 確定がん数は、検診により発見された「がん」又は「がん疑い」の者を調査により計上



(2) 平成24年度胃がんX線検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 対象者数 (人) | | 一次検診 受診者数(人) | | 受診率 (%) | | | 一次検診結果 | | | | 要精検率 (%) | | |
|--------|----------|---------|-----------------|-------|-----------|------|------|------------|-----|--------|-------|-----------|------|------|
| | a | | b | | c = b / a | | | 要精検者数 d | | 異常認めず | | e = d / b | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 2,158 | 4,048 | 274 | 608 | 12.7 | 15.0 | 14.2 | 23 | 20 | 251 | 588 | 8.4 | 3.3 | 4.9 |
| 45～49歳 | 2,326 | 3,853 | 202 | 483 | 8.7 | 12.5 | 11.1 | 17 | 20 | 185 | 463 | 8.4 | 4.1 | 5.4 |
| 50～54歳 | 3,058 | 4,974 | 260 | 701 | 8.5 | 14.1 | 12.0 | 26 | 43 | 234 | 658 | 10.0 | 6.1 | 7.2 |
| 55～59歳 | 4,908 | 8,189 | 467 | 969 | 9.5 | 11.8 | 11.0 | 56 | 63 | 411 | 906 | 12.0 | 6.5 | 8.3 |
| 60～64歳 | 9,854 | 13,797 | 1,062 | 1,777 | 10.8 | 12.9 | 12.0 | 130 | 135 | 932 | 1,642 | 12.2 | 7.6 | 9.3 |
| 65～69歳 | 11,061 | 14,574 | 1,199 | 1,561 | 10.8 | 10.7 | 10.8 | 145 | 120 | 1,054 | 1,441 | 12.1 | 7.7 | 9.6 |
| 70～74歳 | 11,588 | 16,049 | 990 | 1,360 | 8.5 | 8.5 | 8.5 | 124 | 100 | 866 | 1,260 | 12.5 | 7.4 | 9.5 |
| 75～79歳 | 11,689 | 17,458 | 847 | 1,170 | 7.2 | 6.7 | 6.9 | 111 | 102 | 736 | 1,068 | 13.1 | 8.7 | 10.6 |
| 80歳以上 | 15,666 | 35,306 | 635 | 686 | 4.1 | 1.9 | 2.6 | 91 | 70 | 544 | 616 | 14.3 | 10.2 | 12.2 |
| 計 | 72,308 | 118,248 | 5,936 | 9,315 | 8.2 | 7.9 | 8.0 | 723 | 673 | 5,213 | 8,642 | 12.2 | 7.2 | 9.2 |
| 合 計 | 190,556 | | 15,251 | | 8.0 | | | 1,396 | | 13,855 | | 9.2 | | |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 精密検査 受診者数(人) | | 精密検査 受診率 (%) | | | 精密検査結果 | | | | | | | | 胃がん発見率 (%) | | | 陽性反応適中度(%) | | |
|--------|-----------------|-----|-----------------|------|------|--------------|-----|-------------|-----|------------|---|----------|---|------------|-------|-------|------------|-----|-----|
| | f | | g = f / d | | | 異 常 認 め ず | | その他の 疾 病 | | 胃がん 疑 い | | 胃がん h | | i = h / b | | | j = h / d | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 15 | 16 | 65.2 | 80.0 | 72.1 | 7 | 2 | 8 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 45～49歳 | 13 | 19 | 76.5 | 95.0 | 86.5 | 3 | 4 | 9 | 15 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0.495 | 0.000 | 0.146 | 5.9 | 0.0 | 2.7 |
| 50～54歳 | 22 | 36 | 84.6 | 83.7 | 84.1 | 8 | 6 | 13 | 29 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.385 | 0.143 | 0.208 | 3.8 | 2.3 | 2.9 |
| 55～59歳 | 43 | 55 | 76.8 | 87.3 | 82.4 | 8 | 11 | 35 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 60～64歳 | 95 | 122 | 73.1 | 90.4 | 81.9 | 17 | 24 | 72 | 96 | 0 | 0 | 6 | 2 | 0.565 | 0.113 | 0.282 | 4.6 | 1.5 | 3.0 |
| 65～69歳 | 114 | 107 | 78.6 | 89.2 | 83.4 | 19 | 25 | 89 | 80 | 0 | 0 | 6 | 2 | 0.500 | 0.128 | 0.290 | 4.1 | 1.7 | 3.0 |
| 70～74歳 | 94 | 91 | 75.8 | 91.0 | 82.6 | 20 | 21 | 73 | 68 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0.101 | 0.147 | 0.128 | 0.8 | 2.0 | 1.3 |
| 75～79歳 | 90 | 88 | 81.1 | 86.3 | 83.6 | 12 | 16 | 73 | 71 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0.590 | 0.085 | 0.297 | 4.5 | 1.0 | 2.8 |
| 80歳以上 | 83 | 63 | 91.2 | 90.0 | 90.7 | 11 | 12 | 67 | 51 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0.787 | 0.000 | 0.379 | 5.5 | 0.0 | 3.1 |
| 計 | 569 | 597 | 78.7 | 88.7 | 83.5 | 105 | 121 | 439 | 468 | 0 | 0 | 25 | 8 | 0.421 | 0.086 | 0.216 | 3.5 | 1.2 | 2.4 |
| 合 計 | 1,166 | | 83.5 | | | 226 | | 907 | | 0 | | 33 | | 0.216 | | | 2.4 | | |

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

| 一次検診機関 | 一次検診 受診者数 (人) | | 一次検診結果 | | | | 要精検率 (%) | | |
|-----------|------------------|-------|-------------|-----|--------|-------|--------------|------|------|
| | a' | | 要精検者数 b' | | 異常認めず | | c' = b' / a' | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 保 健 事 業 団 | 4,580 | 7,254 | 529 | 482 | 4,051 | 6,772 | 11.6 | 6.6 | 8.5 |
| 中国労働衛生協会 | 139 | 178 | 18 | 11 | 121 | 167 | 12.9 | 6.2 | 9.1 |
| 病 院 | 443 | 741 | 76 | 92 | 367 | 649 | 17.2 | 12.4 | 14.2 |
| 診 療 所 | 774 | 1,142 | 100 | 88 | 674 | 1,054 | 12.9 | 7.7 | 9.8 |
| 計 | 5,936 | 9,315 | 723 | 673 | 5,213 | 8,642 | 12.2 | 7.2 | 9.2 |
| 合 計 | 15,251 | | 1,396 | | 13,855 | | 9.2 | | |

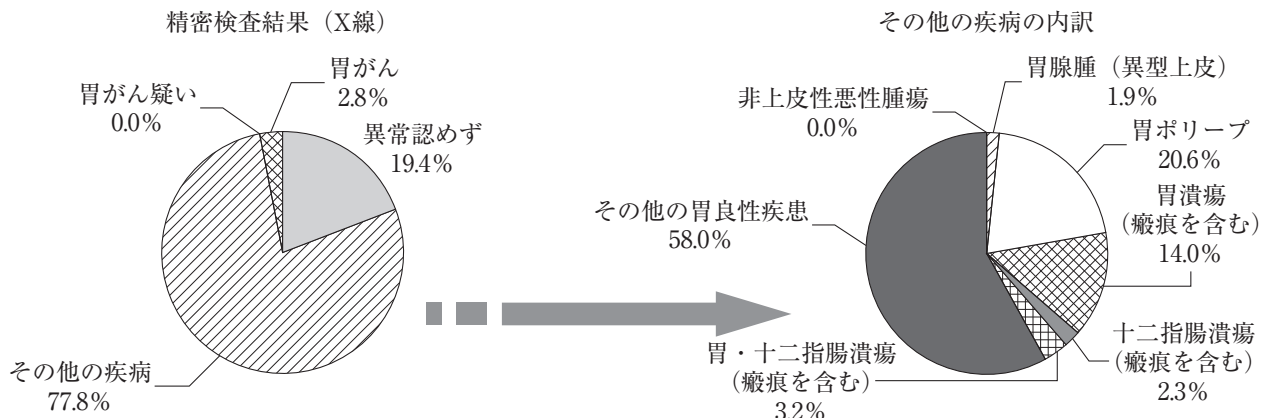
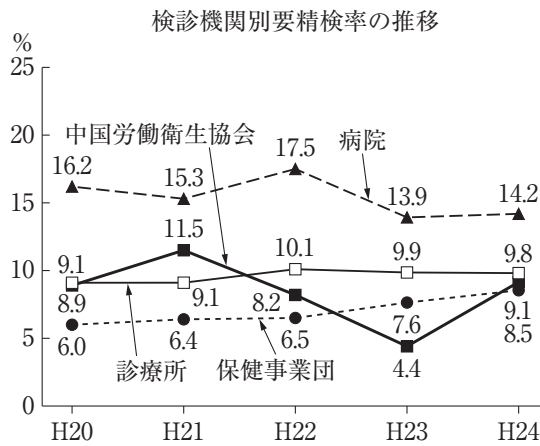
b. 精密検査結果

| 一次検診機関 | 精密検査受診者数(人) | | 精密検査受診率(%) | | | 精密検査結果 | | | | | | | | 胃がん発見率(%) | | | 陽性反応適中度(%) | | |
|-----------|-------------|-----|------------|-------|------|-----------|-----|--------|-----|--------|---|--------|---|------------|-------|-------|------------|-----|-----|
| | d' | | e' = d'/b' | | | 異 常 認 め ず | | その他の疾病 | | 胃がん 疑い | | 胃がん f' | | g' = f'/a' | | | h' = f'/b' | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 保健事業団 | 416 | 438 | 78.6 | 90.9 | 84.5 | 77 | 85 | 318 | 346 | 0 | 0 | 21 | 7 | 0.459 | 0.096 | 0.237 | 4.0 | 1.5 | 2.8 |
| 中国労働衛生協会 | 16 | 11 | 88.9 | 100.0 | 93.1 | 2 | 6 | 14 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 車 検 診 小 計 | 432 | 449 | 79.0 | 91.1 | 84.7 | 79 | 91 | 332 | 351 | 0 | 0 | 21 | 7 | 0.445 | 0.094 | 0.230 | 3.8 | 1.4 | 2.7 |
| 病 院 | 55 | 69 | 72.4 | 75.0 | 73.8 | 12 | 9 | 41 | 59 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0.451 | 0.135 | 0.253 | 2.6 | 1.1 | 1.8 |
| 診 療 所 | 82 | 79 | 82.0 | 89.8 | 85.6 | 14 | 21 | 66 | 58 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0.258 | 0.000 | 0.104 | 2.0 | 0.0 | 1.1 |
| 施設検診小計 | 137 | 148 | 77.8 | 82.2 | 80.1 | 26 | 30 | 107 | 117 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0.329 | 0.053 | 0.161 | 2.3 | 0.6 | 1.4 |
| 計 | 569 | 597 | 78.7 | 88.7 | 83.5 | 105 | 121 | 439 | 468 | 0 | 0 | 25 | 8 | 0.421 | 0.086 | 0.216 | 3.5 | 1.2 | 2.4 |
| 合 計 | 1,166 | | 83.5 | | | 226 | | 907 | | 0 | | 33 | | 0.216 | | | 2.4 | | |

※がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

・ 検診機関別要精検率の推移

| 一次検診機関 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|-----------|------|------|------|------|------|
| 保健事業団 | 6.0 | 6.4 | 6.5 | 7.6 | 8.5 |
| 中国労働衛生協会 | 8.9 | 11.5 | 8.2 | 4.4 | 9.1 |
| 車 検 診 小 計 | 6.1 | 6.5 | 6.5 | 7.6 | 8.6 |
| 病 院 | 16.2 | 15.3 | 17.5 | 13.9 | 14.2 |
| 診 療 所 | 9.1 | 9.1 | 10.1 | 9.9 | 9.8 |
| 施設検診小計 | 11.3 | 10.7 | 12.3 | 11.1 | 11.5 |
| 合 計 | 7.5 | 7.5 | 7.8 | 8.3 | 9.2 |



4) 平成24年度胃がんX線検診受診状況

| 市町村名 | 対象者数 (人) | | | 受診者数 | | | 要精検者数 | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | | | | |
|------|-------------|--------|-------|--------|------|------------|-------|-------|------|-------------|-----------|------------|-----------|------------|----------|-----|-------|--------------|-------------|--|
| | A | B | C | 施設検診 | 計 | 受診率 (%) | 車検診 | 施設検診 | 計 | 要精検率 (%) | 精 受診者数 | 精検 率(%) | 異常 認めず | その他 の疾病 | がん 疑い | がん | 有所見者 | がん発見 率(%) | 陽性反応 適中度 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鳥取市 | 57,433 | 2,188 | 1,503 | 3,691 | 6.4 | 192 | 181 | 373 | 10.1 | 315 | 84.5 | 32 | 276 | 0 | 7 | 283 | 0.190 | 1.9 | | |
| 米子市 | 42,442 | 755 | 995 | 1,750 | 4.1 | 42 | 104 | 146 | 8.3 | 126 | 86.3 | 31 | 94 | 0 | 1 | 95 | 0.057 | 0.7 | | |
| 倉吉市 | 17,700 | 1,196 | 63 | 1,259 | 7.1 | 124 | 19 | 143 | 11.4 | 115 | 80.4 | 29 | 83 | 0 | 3 | 86 | 0.238 | 2.1 | | |
| 境港市 | 11,307 | 91 | 150 | 241 | 2.1 | 6 | 11 | 17 | 7.1 | 14 | 82.4 | 5 | 9 | 0 | 0 | 9 | 0.000 | 0.0 | | |
| 岩美町 | 4,844 | 656 | 0 | 656 | 13.5 | 61 | 0 | 61 | 9.3 | 58 | 95.1 | 4 | 52 | 0 | 2 | 54 | 0.305 | 3.3 | | |
| 八頭町 | 6,534 | 1,294 | 54 | 1,348 | 20.6 | 110 | 6 | 116 | 8.6 | 95 | 81.9 | 14 | 78 | 0 | 3 | 81 | 0.223 | 2.6 | | |
| 若桜町 | 1,776 | 285 | 14 | 299 | 16.8 | 25 | 2 | 27 | 9.0 | 26 | 96.3 | 6 | 20 | 0 | 0 | 20 | 0.000 | 0.0 | | |
| 智頭町 | 3,263 | 154 | 125 | 279 | 8.6 | 19 | 17 | 36 | 12.9 | 31 | 86.1 | 3 | 26 | 0 | 2 | 28 | 0.717 | 5.6 | | |
| 湯梨浜町 | 5,964 | 729 | 5 | 734 | 12.3 | 72 | 0 | 72 | 9.8 | 58 | 80.6 | 19 | 38 | 0 | 1 | 39 | 0.136 | 1.4 | | |
| 三朝町 | 2,767 | 438 | 137 | 575 | 20.8 | 41 | 11 | 52 | 9.0 | 35 | 67.3 | 11 | 22 | 0 | 2 | 24 | 0.348 | 3.8 | | |
| 北栄町 | 5,729 | 703 | 7 | 710 | 12.4 | 69 | 2 | 71 | 10.0 | 68 | 95.8 | 20 | 46 | 0 | 2 | 48 | 0.282 | 2.8 | | |
| 琴浦町 | 7,221 | 951 | 3 | 954 | 13.2 | 94 | 1 | 95 | 10.0 | 75 | 78.9 | 18 | 55 | 0 | 2 | 57 | 0.210 | 2.1 | | |
| 南部町 | 4,221 | 400 | 43 | 443 | 10.5 | 22 | 1 | 23 | 5.2 | 16 | 69.6 | 5 | 9 | 0 | 2 | 11 | 0.451 | 8.7 | | |
| 伯耆町 | 4,533 | 703 | 0 | 703 | 15.5 | 39 | 0 | 39 | 5.5 | 30 | 76.9 | 7 | 21 | 0 | 2 | 23 | 0.284 | 5.1 | | |
| 日吉津村 | 995 | 203 | 0 | 203 | 20.4 | 11 | 0 | 11 | 5.4 | 11 | 100.0 | 5 | 4 | 0 | 2 | 6 | 0.985 | 18.2 | | |
| 大山町 | 7,503 | 536 | 0 | 536 | 7.1 | 30 | 0 | 30 | 5.6 | 22 | 73.3 | 4 | 17 | 0 | 1 | 18 | 0.187 | 3.3 | | |
| 日南町 | 2,966 | 333 | 0 | 333 | 11.2 | 40 | 0 | 40 | 12.0 | 32 | 80.0 | 3 | 28 | 0 | 1 | 29 | 0.300 | 2.5 | | |
| 日野町 | 1,783 | 284 | 0 | 284 | 15.9 | 19 | 0 | 19 | 6.7 | 17 | 89.5 | 3 | 14 | 0 | 0 | 14 | 0.000 | 0.0 | | |
| 江府町 | 1,575 | 252 | 1 | 253 | 16.1 | 24 | 1 | 25 | 9.9 | 22 | 88.0 | 7 | 15 | 0 | 0 | 15 | 0.000 | 0.0 | | |
| 合計 | 190,556 | 12,151 | 3,100 | 15,251 | 8.0 | 1,040 | 356 | 1,396 | 9.2 | 1,166 | 83.5 | 226 | 907 | 0 | 33 | 940 | 0.216 | 2.4 | | |
| 東部 | 73,850 | 4,577 | 1,696 | 6,273 | 8.5 | 407 | 206 | 613 | 9.8 | 525 | 85.6 | 59 | 452 | 0 | 14 | 466 | 0.223 | 2.3 | | |
| 中部 | 39,381 | 4,017 | 215 | 4,232 | 10.7 | 400 | 33 | 433 | 10.2 | 351 | 81.1 | 97 | 244 | 0 | 10 | 254 | 0.236 | 2.3 | | |
| 西部 | 77,325 | 3,557 | 1,189 | 4,746 | 6.1 | 233 | 117 | 350 | 7.4 | 290 | 82.9 | 70 | 211 | 0 | 9 | 220 | 0.190 | 2.6 | | |

※1 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上。

※2 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者を分母として算出

(3) 平成24年度胃がん内視鏡検診

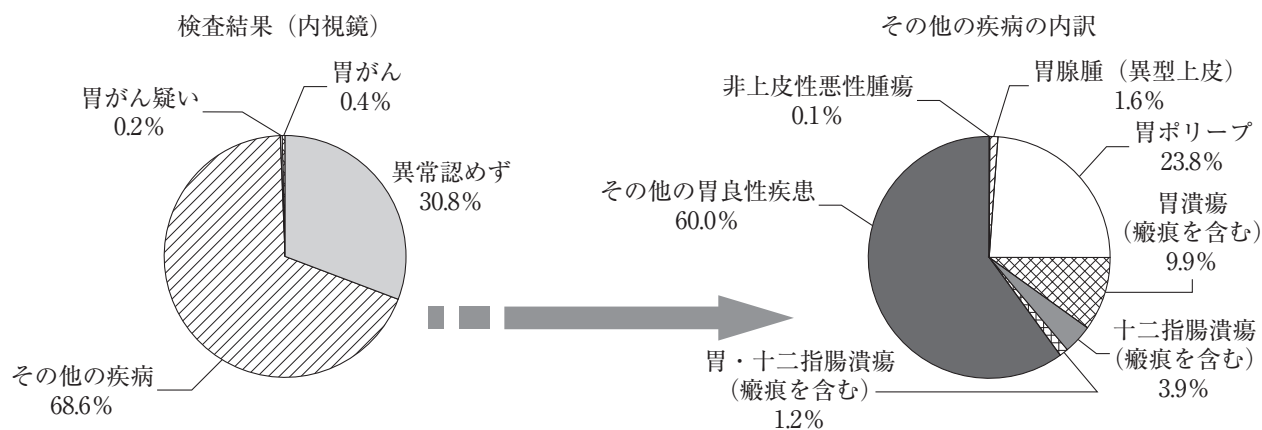
1) 年齢階級別

| 年 齢 | 一次検診 受診者数(人) a | | 検 査 結 果 | | | | | | | | 胃がん発見率 (%) c = b / a | | |
|--------|----------------------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|----|------------|----|-------------------------|-------|-------|
| | | | 異常認めず | | その他の疾病 | | 胃がん疑い | | 胃 が ん b | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 315 | 594 | 144 | 273 | 171 | 318 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0.000 | 0.168 | 0.110 |
| 45～49歳 | 307 | 653 | 88 | 287 | 217 | 364 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0.326 | 0.306 | 0.313 |
| 50～54歳 | 394 | 921 | 124 | 336 | 270 | 583 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.000 | 0.109 | 0.076 |
| 55～59歳 | 603 | 1,297 | 162 | 419 | 434 | 878 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0.498 | 0.000 | 0.158 |
| 60～64歳 | 1,898 | 2,897 | 507 | 942 | 1,380 | 1,945 | 4 | 3 | 7 | 7 | 0.369 | 0.242 | 0.292 |
| 65～69歳 | 2,532 | 3,480 | 654 | 1,136 | 1,856 | 2,333 | 9 | 8 | 13 | 3 | 0.513 | 0.086 | 0.266 |
| 70～74歳 | 2,586 | 3,494 | 640 | 1,139 | 1,923 | 2,337 | 10 | 9 | 13 | 9 | 0.503 | 0.258 | 0.362 |
| 75～79歳 | 2,040 | 3,038 | 521 | 1,021 | 1,492 | 2,004 | 9 | 4 | 18 | 9 | 0.882 | 0.296 | 0.532 |
| 80歳以上 | 1,863 | 2,799 | 474 | 888 | 1,361 | 1,888 | 8 | 6 | 20 | 17 | 1.074 | 0.607 | 0.794 |
| 計 | 12,538 | 19,173 | 3,314 | 6,441 | 9,104 | 12,650 | 45 | 33 | 75 | 49 | 0.598 | 0.256 | 0.391 |
| 合 計 | 31,711 | | 9,755 | | 21,754 | | 78 | | 124 | | 0.391 | | |

2) 検診機関別

| 一次検診機関 | 一次検診 受診者数(人) a' | | 検 査 結 果 | | | | | | | | 胃がん発見率 (%) c' = b' / a' | | |
|--------|-----------------------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|----|-------------|----|----------------------------|-------|-------|
| | | | 異常認めず | | その他の疾病 | | 胃がん疑い | | 胃 が ん b' | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 病 院 | 3,385 | 4,885 | 647 | 1,210 | 2,702 | 3,650 | 21 | 19 | 15 | 6 | 0.443 | 0.123 | 0.254 |
| 診療所 | 9,153 | 14,288 | 2,667 | 5,231 | 6,402 | 9,000 | 24 | 14 | 60 | 43 | 0.656 | 0.301 | 0.439 |
| 計 | 12,538 | 19,173 | 3,314 | 6,441 | 9,104 | 12,650 | 45 | 33 | 75 | 49 | 0.598 | 0.256 | 0.391 |
| 合計 | 31,711 | | 9,755 | | 21,754 | | 78 | | 124 | | 0.391 | | |

※がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上



3) 平成24年度胃がん内視鏡検診受診状況

| 市町村名 | 検査結果別人員 | | | | | | | | | |
|------|-----------|------------------|------------------------------|----------------|-----------------|---------------|---------|-----------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| | 受診者数 A | 組織診 実施者数 B | 組織診 実施率 (%) C = B/A | 異常 認めず D | その他 の疾病 E | がん 疑い F | がん G | 有所見者 H = E + F + G | がん 発見率 (%) I = G/A | 陽性反応 適中度 (%) J = G/B |
| 鳥取市 | 11,638 | 795 | 6.8 | 2,005 | 9,562 | 33 | 38 | 9,633 | 0.327 | 4.8 |
| 米子市 | 10,240 | 442 | 4.3 | 3,658 | 6,534 | 3 | 45 | 6,582 | 0.439 | 10.2 |
| 倉吉市 | 1,460 | 136 | 9.3 | 821 | 629 | 4 | 6 | 639 | 0.411 | 4.4 |
| 境港市 | 2,280 | 108 | 4.7 | 794 | 1,474 | 5 | 7 | 1,486 | 0.307 | 6.5 |
| 岩美町 | 245 | 42 | 17.1 | 10 | 235 | 0 | 0 | 235 | 0.000 | 0.0 |
| 八頭町 | 681 | 48 | 7.0 | 87 | 589 | 1 | 4 | 594 | 0.587 | 8.3 |
| 若桜町 | 229 | 13 | 5.7 | 25 | 200 | 3 | 1 | 204 | 0.437 | 7.7 |
| 智頭町 | 390 | 25 | 6.4 | 29 | 358 | 1 | 2 | 361 | 0.513 | 8.0 |
| 湯梨浜町 | 935 | 101 | 10.8 | 498 | 426 | 7 | 4 | 437 | 0.428 | 4.0 |
| 三朝町 | 82 | 0 | 0.0 | 55 | 27 | 0 | 0 | 27 | 0.000 | 0.0 |
| 北栄町 | 759 | 64 | 8.4 | 366 | 387 | 4 | 2 | 393 | 0.264 | 3.1 |
| 琴浦町 | 1,170 | 67 | 5.7 | 570 | 588 | 4 | 8 | 600 | 0.684 | 11.9 |
| 南部町 | 1,142 | 84 | 7.4 | 678 | 451 | 10 | 3 | 464 | 0.263 | 3.6 |
| 伯耆町 | 227 | 9 | 4.0 | 51 | 173 | 3 | 0 | 176 | 0.000 | 0.0 |
| 日吉津村 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 大山町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 日南町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 日野町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 江府町 | 233 | 17 | 7.3 | 108 | 121 | 0 | 4 | 125 | 1.717 | 23.5 |
| 合計 | 31,711 | 1,951 | 6.2 | 9,755 | 21,754 | 78 | 124 | 21,956 | 0.391 | 6.4 |
| 東部 | 13,183 | 923 | 7.0 | 2,156 | 10,944 | 38 | 45 | 11,027 | 0.341 | 4.9 |
| 中部 | 4,406 | 368 | 8.4 | 2,310 | 2,057 | 19 | 20 | 2,096 | 0.454 | 5.4 |
| 西部 | 14,122 | 660 | 4.7 | 5,289 | 8,753 | 21 | 59 | 8,833 | 0.418 | 8.9 |

※1 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

(4) 平成24年度胃がん検診受診状況（X線＋内視鏡）

| 市町村名 | 対象者数 (人) A | 受診者数 | | | | X線精密検査結果および内視鏡検査結果別人員 | | | | | | |
|------|------------------|----------------|-----------------|------------|---------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|-------------|-----------------------------|-----------------------|--|
| | | X線 受診者 B | 内視鏡 受診者 C | 計 D=B+C | 受診率 (%) E=D/A | 異常 認めず F | その他 の疾病 G | が ん 疑 い H | が ん I | 有 所 見 者 J=G+H+I | がん発見率 (%) K=I/D | |
| 鳥取市 | 57,433 | 3,691 | 11,638 | 15,329 | 26.7 | 2,037 | 9,838 | 33 | 45 | 9,916 | 0.294 | |
| 米子市 | 42,442 | 1,750 | 10,240 | 11,990 | 28.3 | 3,689 | 6,628 | 3 | 46 | 6,677 | 0.384 | |
| 倉吉市 | 17,700 | 1,259 | 1,460 | 2,719 | 15.4 | 850 | 712 | 4 | 9 | 725 | 0.331 | |
| 境港市 | 11,307 | 241 | 2,280 | 2,521 | 22.3 | 799 | 1,483 | 5 | 7 | 1,495 | 0.278 | |
| 岩美町 | 4,844 | 656 | 245 | 901 | 18.6 | 14 | 287 | 0 | 2 | 289 | 0.222 | |
| 八頭町 | 6,534 | 1,348 | 681 | 2,029 | 31.1 | 101 | 667 | 1 | 7 | 675 | 0.345 | |
| 若桜町 | 1,776 | 299 | 229 | 528 | 29.7 | 31 | 220 | 3 | 1 | 224 | 0.189 | |
| 智頭町 | 3,263 | 279 | 390 | 669 | 20.5 | 32 | 384 | 1 | 4 | 389 | 0.598 | |
| 湯梨浜町 | 5,964 | 734 | 935 | 1,669 | 28.0 | 517 | 464 | 7 | 5 | 476 | 0.300 | |
| 三朝町 | 2,767 | 575 | 82 | 657 | 23.7 | 66 | 49 | 0 | 2 | 51 | 0.304 | |
| 北栄町 | 5,729 | 710 | 759 | 1,469 | 25.6 | 386 | 433 | 4 | 4 | 441 | 0.272 | |
| 琴浦町 | 7,221 | 954 | 1,170 | 2,124 | 29.4 | 588 | 643 | 4 | 10 | 657 | 0.471 | |
| 南部町 | 4,221 | 443 | 1,142 | 1,585 | 37.6 | 683 | 460 | 10 | 5 | 475 | 0.315 | |
| 伯耆町 | 4,533 | 703 | 227 | 930 | 20.5 | 58 | 194 | 3 | 2 | 199 | 0.215 | |
| 日吉津村 | 995 | 203 | 0 | 203 | 20.4 | 5 | 4 | 0 | 2 | 6 | 0.985 | |
| 大山町 | 7,503 | 536 | 0 | 536 | 7.1 | 4 | 17 | 0 | 1 | 18 | 0.187 | |
| 日南町 | 2,966 | 333 | 0 | 333 | 11.2 | 3 | 28 | 0 | 1 | 29 | 0.300 | |
| 日野町 | 1,783 | 284 | 0 | 284 | 15.9 | 3 | 14 | 0 | 0 | 14 | 0.000 | |
| 江府町 | 1,575 | 253 | 233 | 486 | 30.9 | 115 | 136 | 0 | 4 | 140 | 0.823 | |
| 合計 | 190,556 | 15,251 | 31,711 | 46,962 | 24.6 | 9,981 | 22,661 | 78 | 157 | 22,896 | 0.334 | |
| 東部 | 73,850 | 6,273 | 13,183 | 19,456 | 26.3 | 2,215 | 11,396 | 38 | 59 | 11,493 | 0.303 | |
| 中部 | 39,381 | 4,232 | 4,406 | 8,638 | 21.9 | 2,407 | 2,301 | 19 | 30 | 2,350 | 0.347 | |
| 西部 | 77,325 | 4,746 | 14,122 | 18,868 | 24.4 | 5,359 | 8,964 | 21 | 68 | 9,053 | 0.360 | |

※ がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

(5) 平成24年度胃がん検診発見患者確定調査結果について

表1 報告胃癌追跡調査

| | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 計 |
|-------------|-------------|-------|------------|-------------|-------|------------|-------------|-------|------------|-------|
| | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | |
| 確 定 胃 癌 数 | 10 | 3 | 49 | 9 | 0 | 20 | 7 | 1 | 59 | 158 |
| 癌 発 見 率 % | 0.218 | 0.177 | 0.372 | 0.224 | 0.000 | 0.454 | 0.197 | 0.084 | 0.429 | |
| | 62 0.319 | | | 29 0.336 | | | 67 0.362 | | | 0.339 |
| 早 期 癌 数 | 4 | 2 | 41 | 6 | 0 | 14 | 5 | 1 | 51 | 124 |
| 早 期 癌 率 % | 75.8 | | | 69.0 | | | 85.1 | | | 78.5 |
| 進 行 癌 数 | 6 | 1 | 8 | 3 | 0 | 6 | 2 | 0 | 8 | 34 |
| 切 除 例 | 10 | 3 | 49 | 9 | 0 | 19 | 7 | 1 | 54 | 152 |
| 内 視 鏡 切 除 例 | 2 | 2 | 25 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 25 | 59 |
| 非 切 除 例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 6 |

手術拒否：1 手術不能：5

表2 性・年齢別

| | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70~79 | 80~ | 計 |
|---|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 男 | 2 | 3 | 39 | 39 | 18 | 101 |
| 女 | 3 | 2 | 14 | 20 | 18 | 57 |

表3 早期癌の肉眼分類

| | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 計 | |
|---------|-----|------|------------|-----|------|------------|-----|------|------------|-----|-------|
| | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | | |
| I | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 | 4.0% |
| IIa | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 9 | 21 | 16.9% |
| IIc | 1 | 2 | 20 | 5 | 0 | 8 | 3 | 0 | 33 | 72 | 58.1% |
| IIc+III | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2.4% |
| IIa+IIc | 1 | 0 | 7 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 14 | 11.3% |
| そ の 他 | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 | 7.3% |
| 不 明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 計 | 4 | 2 | 41 | 6 | 0 | 14 | 5 | 1 | 51 | 124 | |

表4 進行癌の肉眼分類

| | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 計 | |
|-----|-----|------|------------|-----|------|------------|-----|------|------------|----|-------|
| | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡 検 診 | | |
| 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 5 | 14.7% |
| 2 | 2 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 11 | 32.4% |
| 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 8 | 23.5% |
| 4 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5.9% |
| 5 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 8 | 23.5% |
| 不 明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 計 | 6 | 1 | 8 | 3 | 0 | 6 | 2 | 0 | 8 | 34 | |

表5 切除例の深達度

| | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 計 |
|-----|-----|------|-------|-----|------|-------|-----|------|-------|-----|
| | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡検診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡検診 | 車検診 | 施設検診 | 内視鏡検診 | |
| t1a | 3 | 2 | 23 | 3 | 0 | 9 | 2 | 1 | 39 | 82 |
| t1b | 1 | 0 | 18 | 3 | 0 | 5 | 3 | 0 | 12 | 42 |
| t2 | 2 | 0 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| t3 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 | 2 | 0 | 0 | 12 |
| t4a | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 7 |
| t4b | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 計 | 10 | 3 | 49 | 9 | 0 | 19 | 7 | 1 | 56 | 154 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 |

表6 切除例の大きさ

| mm | ～ 10 | 11 ～ 20 | 小計 (%) | | 21 ～ 50 | 51 ～ | 計 | 不明 |
|----|------|---------|--------|--------|---------|------|-----|----|
| 車 | 2 | 5 | 7 | 26.9% | 12 | 7 | 26 | 0 |
| 施 | 2 | 1 | 3 | 100.0% | 0 | 0 | 3 | 1 |
| 内 | 24 | 42 | 66 | 54.5% | 45 | 10 | 121 | 7 |
| 計 | 28 | 48 | 76 | 50.7% | 57 | 17 | 150 | 8 |

表7-1 早期癌の占拠部位

| | 車 検 診 | 施 設 検 診 | 内視鏡検診 |
|-----|-------|---------|-------|
| U | 0 | 0 | 12 |
| M | 12 | 1 | 52 |
| L | 3 | 2 | 41 |
| 全 体 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 15 | 3 | 105 |
| 不明 | 0 | 0 | 1 |

| | 車 検 診 | 施 設 検 診 | 内視鏡検診 |
|-----|-------|---------|-------|
| 小 弯 | 5 | 0 | 43 |
| 大 弯 | 2 | 1 | 18 |
| 前 壁 | 5 | 1 | 16 |
| 後 壁 | 3 | 1 | 26 |
| 全 周 | 0 | 0 | 2 |
| 計 | 15 | 3 | 105 |
| 不明 | 0 | 0 | 1 |

表7-2 進行癌の占拠部位

| | 車 検 診 | 施 設 検 診 | 内視鏡検診 |
|-----|-------|---------|-------|
| U | 1 | 0 | 5 |
| M | 7 | 0 | 9 |
| L | 3 | 0 | 6 |
| 全 体 | 0 | 1 | 0 |
| 計 | 11 | 1 | 20 |
| 不明 | 0 | 0 | 2 |

| | 車 検 診 | 施 設 検 診 | 内視鏡検診 |
|-----|-------|---------|-------|
| 小 弯 | 7 | 0 | 5 |
| 大 弯 | 2 | 0 | 3 |
| 前 壁 | 1 | 0 | 4 |
| 後 壁 | 1 | 0 | 6 |
| 全 周 | 0 | 1 | 2 |
| 計 | 11 | 1 | 20 |
| 不明 | 0 | 0 | 2 |

表8 発見胃癌の進行度

| stage | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 計 | | | 計 | | | |
|-------|---------|----------|-----------|---------|----------|-----------|---------|----------|-----------|---------|----------|-----------|-----|--------|-----|--------|
| | 車 検診 | 施設 検診 | 内視鏡 検診 | 車 検診 | 施設 検診 | 内視鏡 検診 | 車 検診 | 施設 検診 | 内視鏡 検診 | 車 検診 | 施設 検診 | 内視鏡 検診 | X 線 | | 内 | |
| I A | 4 | 2 | 38 | 6 | 0 | 14 | 3 | 0 | 51 | 13 | 2 | 103 | 15 | 50.0% | 103 | 83.06% |
| I B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 6.7% | 0 | 0.00% |
| II A | 4 | 0 | 5 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 | 6 | 20.0% | 6 | 4.84% |
| II B | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 2 | 6.7% | 4 | 3.23% |
| III A | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 | 2 | 6.7% | 4 | 3.23% |
| III B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | 0 | 0.00% |
| III C | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3.3% | 1 | 0.81% |
| IV | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 2 | 6 | 2 | 6.7% | 6 | 4.84% |
| 計 | 10 | 3 | 49 | 9 | 0 | 19 | 7 | 1 | 56 | 26 | 4 | 124 | 30 | 100.0% | 124 | 100.0% |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | | 4 | |

表9 前年度受診歴を有する進行胃癌症例

| 地区 | 検診 | 歳 | 性 | 型 | 深達度 | 組織型 | 大きさ (mm) | 占拠部位 | Stage | 前 年 受 診 歴 | |
|----|----|----|---|---|-----|------|-------------|----------|-------|-----------|-----------------------|
| | | | | | | | | | | 検診方法 | 結 果 |
| 東部 | 車 | 62 | 男 | 3 | T3 | muc | 40×40 | M 前壁 | II A | 車 | 要精検、精検査未受診 |
| | | 81 | 男 | 3 | T4a | por2 | 58×55 | L 小弯前後壁 | III C | 車 | 要精検、未把握 |
| | | 79 | 女 | 2 | T2 | sig | 30×30 | M 大弯 | II A | 車 | 異常認めず |
| | | 77 | 男 | 2 | T3 | tub2 | 27×25 | U 小弯 | II A | 車 | 異常認めず |
| | 内 | 81 | 女 | 5 | T2 | por2 | 35×30 | M 小弯 | II A | 内視鏡 | 異常認めず |
| | | 75 | 男 | 5 | T2 | por2 | 20×15 | L 後壁 | II A | 内視鏡 | 精検不要(慢性胃炎) |
| 中部 | 車 | 69 | 男 | 5 | T2 | tub1 | 30×20 | M 小弯 | II B | 車 | 要精検、精検査未受診 |
| | 内 | 70 | 女 | 5 | T3 | por1 | 35×30 | M 大弯 | II A | 内視鏡 | 異常認めず |
| 西部 | 車 | 78 | 女 | 5 | T3 | tub2 | 42×33 | M 後壁 | III A | 車 | 異常認めず |
| | 内 | 81 | 女 | 1 | T4a | por1 | 125×85 | UM 小弯前後壁 | IV | 内視鏡 | 異常認めず |
| | | 83 | 女 | 3 | | | | | IV | 内視鏡 | ポリープ(経過観察1年後) N3、手術不能 |

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成24年度の対象者数（20歳以上のうち職場等で受診機会のない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計数）135,485人のうち、受診者数29,307人で、受診率21.6%で、平成20年度以降受診者数、受診率共に増加傾向である。35歳～54歳の受診率は50%以上で目標値をクリアしている。過去3年間に検診を受診している経年受診者割合は71.1%で例年通りであった。

要精検者数364人（判定不能で再検未実施となった者18人を含む）、一次検査の結果判定不能で、再検査の結果、判定不能だった者が28人であった。要精検率は1.24%で、平成23年度に比べ、要精検者数190人、要精検率が0.62ポイント増加した。

そのうち、精検受診者数252人、精検受診率69.2%で、再検未実施者が多かったことから、平成23年度より精検受診率が11.3ポイント減となった。

精検結果は、がん53人、がん発見率（がん/受診者数）は0.18%、陽性反応適中度（がん/要精検者数）は14.6%で、過去5年間で最高値であった。異形成は112人（軽度64人、高度48人）であった。

要精検率は過去数年20～40歳代を中心に高めで推移。車検診0.58%に比べ施設検診の方が1.61%と高い。特に40歳未満の受診者割合が約4割を占める診療所の要精検率が高かった。

ベセスダシステム準拠細胞診報告様式の採択により増加した判定不能例の内、再検査未実施者を要精検者に含めたため、要精検率が増加、また再検未実施者が増加したことから精検受診率が目標値を大きく下回った。再検未実施者を含む精検未受診者の把握が重要である。

がん発見率は30歳～40歳代が高く推移している。車検診0.095%に比べ施設検診の方が0.229%と高い。陽性反応適中度は車検診16.4%に比べ、診療所13.1%、病院17.9%と施設検診の方が高い。

国の指標は要精検率許容値1.4%以下、精検受診率目標値90%以上、がん発見率許容値0.05%以上、陽性反応適中度許容値4.4%以上である。鳥取県実績は精検受診率以外は指標をクリアしている。

〈検診機関別結果〉

(1) 一次検診

| 区 分 | 受診者数（率） | 要精検者数 | 要精検率（%） | | | |
|---------------------|-------------------|-------|---------|------|------|------|
| | | | 計 | 東 部 | 中 部 | 西 部 |
| 車 検 診 （保健事業団） | 10,520 (35.9%) | 61 | 0.58 | 0.66 | 0.48 | 0.57 |
| 施 設 検 診 （病院・診療所） | 18,787 (64.1%) | 303 | 1.61 | 1.85 | 1.03 | 1.59 |
| 計 | 29,307 (100%) | 364 | 1.24 | 1.33 | 0.68 | 1.44 |

(2) 精密検査

| 区 分 | 精 検 受診者数 | 精 検 受診率 （%） | が ん | がん発見率（%） | | | |
|---------|-------------|-------------------|-----|----------|-------|-------|-------|
| | | | | 計 | 東 部 | 中 部 | 西 部 |
| 車 検 診 | 58 | 95.1 | 10 | 0.095 | 0.080 | 0.106 | 0.114 |
| 施 設 検 診 | 194 | 64.0 | 43 | 0.229 | 0.293 | 0.134 | 0.209 |
| 計 | 252 | 69.2 | 53 | 0.181 | 0.201 | 0.116 | 0.195 |

〈圏域別結果〉

(1) 車検診

| 区 分 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | 異形成 | が ん | がん発見率 |
|-----|--------|-------|------|--------|-------|-----|-----|-------|
| 東 部 | 4,980 | 33 | 0.66 | 33 | 100.0 | 18 | 4 | 0.080 |
| 中 部 | 3,788 | 18 | 0.48 | 16 | 88.9 | 5 | 4 | 0.106 |
| 西 部 | 1,752 | 10 | 0.57 | 9 | 90.0 | 4 | 2 | 0.114 |
| 計 | 10,520 | 61 | 0.58 | 58 | 95.1 | 27 | 10 | 0.095 |

(2) 施設検診

| 区 分 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | 異形成 | が ん | がん発見率 |
|-----|--------|-------|------|--------|-------|-----|-----|-------|
| 東 部 | 6,484 | 120 | 1.85 | 75 | 62.5 | 30 | 19 | 0.293 |
| 中 部 | 2,237 | 23 | 1.03 | 14 | 60.9 | 7 | 3 | 0.134 |
| 西 部 | 10,066 | 160 | 1.59 | 105 | 65.6 | 48 | 21 | 0.209 |
| 計 | 18,787 | 303 | 1.61 | 194 | 64.0 | 85 | 43 | 0.229 |

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者29,307人中、体部がん検診対象者数は833人、一次検診会場での受診者は672人であった。一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者は105人、受診者の合計は777人、受診率は93.3%であった。

一次検診の結果、要精検となった者2人、要精検率0.30%、精密検査受診者数は2人であった。精検の結果、子宮体部がんが1人、また医療機関での別途受診者から子宮体部がんが1人発見され、合わせると、がん発見率は0.26%であった。陽性反応適中度50.0%であった。

医療機関での別途受診者から子宮内膜増殖症が2件発見されている。

3. 子宮がん検診発見子宮がん確定調査結果

1) 子宮頸部癌

平成24年度は子宮頸部癌52名で、0期38例、I A期4例、I B期以上が10例であった。異形成は111例だった。なお、I B期以上10例の検診歴は、初回6例、前年受診1例、3年以上前受診2例、検診歴不明が1例であった。

2) 子宮体部癌

子宮体部癌は2例であった。

4. その他

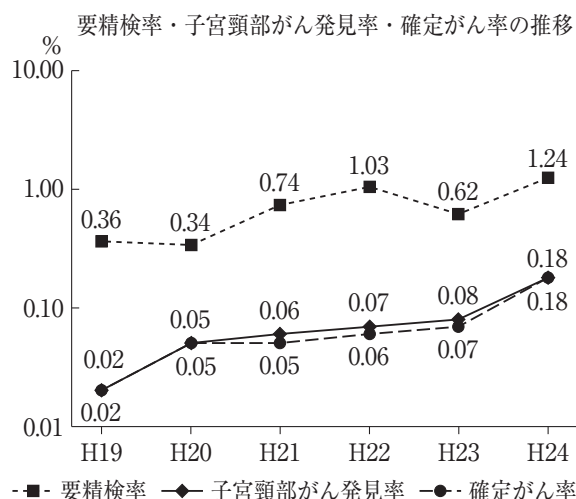
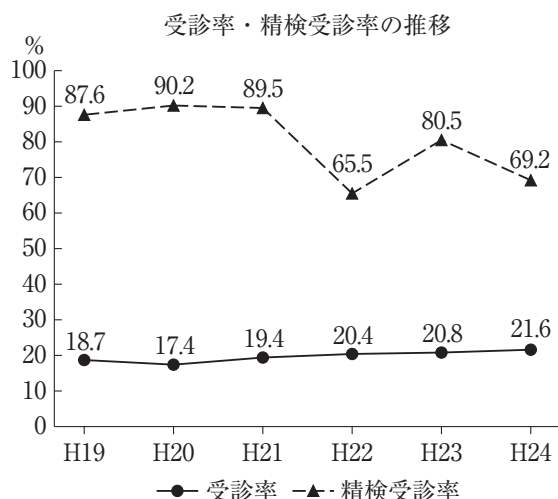
1) 平成24年度妊婦健康診査における子宮頸部がん検診受診状況について

平成24年度実績は、妊婦健康診査受診者4,807人中、子宮頸部がん検診受診者数4,725人、受診率98.3%で、要精検者数48人、要精検率1.0%、市町村が把握できた精検結果は38人で、そのうちがんが1人、異形成が22人が発見。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

| 区分 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|--------|-------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一次検診 | 対象者数(人) A | 130,796 | 139,232 | 139,232 | 139,232 | 135,485 | 135,485 |
| | 受診者数(人) B | 24,450 | 24,207 | 26,943 | 28,453 | 28,247 | 29,307 |
| | 受診率(%) C = B/A | 18.7 | 17.4 | 19.4 | 20.4 | 20.8 | 21.6 |
| 一次検診結果 | 異常認めず(人) D | 24,361 | 24,125 | 26,743 | 28,098 | 28,051 | 28,915 |
| | 要精検者数(人) E | 89 | 82 | 200 | 293 | 174 | 364 |
| | 判定不能(人) F | — | — | — | 62 | 22 | 28 |
| | 要精検率(%) G = E/B 指標：許容値1.4%以下 | 0.36 | 0.34 | 0.74 | 1.03 | 0.62 | 1.24 |
| 精密検査 | 精検受診者数(人) H | 78 | 74 | 179 | 192 | 140 | 252 |
| | 精検受診率(%) I = H/E 指標：目標値90%以上 | 87.6 | 90.2 | 89.5 | 65.5 | 80.5 | 69.2 |
| 精密検査結果 | 子宮がんの者(人) J | 5(35) | 11(32) | 15(100) | 20(105) | 23(76) | 53(112) |
| | 子宮がん発見率(%) K = J/B 指標：許容値0.05%以上 | 0.02 | 0.05 | 0.06 | 0.07 | 0.08 | 0.18 |
| | 陽性反応適中度(%) L = J/H 指標：許容値4.4%以上 | 5.6 | 13.4 | 7.5 | 6.8 | 13.2 | 14.6 |
| 確定調査結果 | 確定がん数(人) M | 4 | 11 | 14 | 18 | 21 | 52 |
| | 確定がん率(%) N = M/B | 0.02 | 0.05 | 0.05 | 0.06 | 0.07 | 0.18 |

- * 1 精密検査結果欄の()内の数値は、がん疑いの者の数を外数で計上
- * 2 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から【がん】の者のみを計上
- * 3 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者数を分母として算出
- * 4 確定がん数は、検診により発見された「がん」又は「がん疑い」の者を調査により計上



(2) 平成24年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

| 年齢 | 対象者数(人) a | 一次検診受診者数 b | 受診率(%) c = b/a | 経年受診者数(再掲) | 一次検診結果 | | | 要精検率(%) e = d/b |
|--------|--------------|---------------|-------------------|------------|------------|------|--------|--------------------|
| | | | | | 要精検者数 d | 判定不能 | 異常認めず | |
| 20~24歳 | 3,917 | 578 | 14.8 | 143 | 13 | 1 | 564 | 2.25 |
| 25~29歳 | 3,624 | 1,276 | 35.2 | 509 | 31 | 2 | 1,243 | 2.43 |
| 30~34歳 | 4,730 | 2,095 | 44.3 | 1,036 | 64 | 1 | 2,030 | 3.05 |
| 35~39歳 | 4,966 | 2,662 | 53.6 | 1,636 | 45 | 4 | 2,613 | 1.69 |
| 40~44歳 | 4,048 | 2,819 | 69.6 | 1,717 | 59 | 2 | 2,758 | 2.09 |
| 45~49歳 | 3,853 | 2,271 | 58.9 | 1,658 | 25 | 4 | 2,242 | 1.10 |
| 50~54歳 | 4,974 | 2,541 | 51.1 | 1,888 | 27 | 1 | 2,513 | 1.06 |
| 55~59歳 | 8,189 | 2,722 | 33.2 | 2,129 | 25 | 5 | 2,692 | 0.92 |
| 60~64歳 | 13,797 | 4,018 | 29.1 | 3,148 | 24 | 4 | 3,990 | 0.60 |
| 65~69歳 | 14,574 | 3,459 | 23.7 | 2,841 | 19 | 2 | 3,438 | 0.55 |
| 70~74歳 | 16,049 | 2,622 | 16.3 | 2,227 | 16 | 1 | 2,605 | 0.61 |
| 75~79歳 | 17,458 | 1,564 | 9.0 | 1,346 | 10 | 1 | 1,553 | 0.64 |
| 80歳以上 | 35,306 | 680 | 1.9 | 571 | 6 | 0 | 674 | 0.88 |
| 計 | 135,485 | 29,307 | 21.6 | 20,849 | 364 | 28 | 28,915 | 1.24 |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 精密検査受診者数 (人) f | 精密検査受診率 (%) g = f/d | 精 密 検 査 結 果 | | | | | | | 子宮がん発見率 (%) n = k/b | 陽性反応適中度 (%) o = k/d | |
|--------|-------------------|------------------------|-------------|--------|------------------|------------|------------|-------------------|------------|------------------------|------------------------|-----------|
| | | | 異常認めず | その他の疾病 | 異形成 h = i + j | 軽度異形成 i | 高度異形成 j | 子宮がん k = l + m | 上皮内がん l | | | 浸潤がん m |
| 20~24歳 | 6 | 46.2 | 2 | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0.173 | 7.7 |
| 25~29歳 | 20 | 64.5 | 5 | 2 | 12 | 10 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0.078 | 3.2 |
| 30~34歳 | 43 | 67.2 | 6 | 4 | 25 | 13 | 12(6) | 8 | 8 | 0 | 0.382 | 12.5 |
| 35~39歳 | 35 | 77.8 | 12 | 1 | 15 | 11 | 4 | 7 | 7 | 0 | 0.263 | 15.6 |
| 40~44歳 | 45 | 76.3 | 12 | 1 | 22 | 14 | 8(1) | 10 | 6 | 4 | 0.355 | 16.9 |
| 45~49歳 | 21 | 84.0 | 8 | 2 | 7 | 3 | 4(3) | 4 | 1 | 3 | 0.176 | 16.0 |
| 50~54歳 | 18 | 66.7 | 5 | 1 | 8 | 6 | 2(1) | 4 | 2 | 2 | 0.157 | 14.8 |
| 55~59歳 | 18 | 72.0 | 8 | 0 | 6 | 2 | 4(2) | 4 | 2 | 2 | 0.147 | 16.0 |
| 60~64歳 | 8 | 33.3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 4 | 3 | 1 | 0.100 | 16.7 |
| 65~69歳 | 12 | 63.2 | 3 | 3 | 3 | 0 | 3(3) | 3 | 3 | 0 | 0.087 | 15.8 |
| 70~74歳 | 14 | 87.5 | 4 | 2 | 4 | 1 | 3 | 4 | 4 | 0 | 0.153 | 25.0 |
| 75~79歳 | 8 | 80.0 | 2 | 1 | 4 | 0 | 4(1) | 1 | 0 | 1 | 0.064 | 10.0 |
| 80歳以上 | 4 | 66.7 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0.294 | 33.3 |
| 計 | 252 | 69.2 | 67 | 20 | 112 | 64 | 48(17) | 53 | 40 | 13 | 0.181 | 14.6 |

※ () 内は中等度異形成を内数で計上

3) 検診機関別

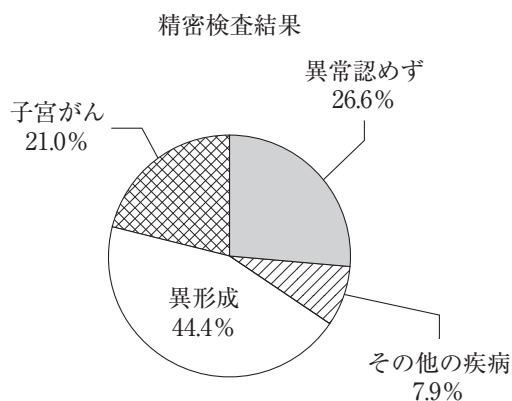
a. 一次検診結果

| 一次検診機関 | 一次検診受診者数 (人) a' | 一 次 検 診 結 果 | | | 要精検率 (%) c' = b'/a' |
|--------|--------------------|-------------|------|--------|------------------------|
| | | 要精検者数 b' | 判定不能 | 異常認めず | |
| 保健事業団 | 10,520 | 61 | 0 | 10,459 | 0.58 |
| 病 院 | 6,198 | 67 | 15 | 6,116 | 1.08 |
| 診 療 所 | 12,589 | 236 | 13 | 12,340 | 1.87 |
| 計 | 29,307 | 364 | 28 | 28,915 | 1.24 |

b. 精密検査結果

| 一次検診機関 | 精密検査受診者数 (人) d' | 精密検査受診率 (%) e' = d'/b' | 精 密 検 査 結 果 | | | | | | | 子宮頸部がん発見率 (%) l' = i'/a' | 陽性反応適中度 (%) m' = i'/b' | |
|--------|--------------------|---------------------------|-------------|--------|---------------------|-------------|-------------|----------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------|------------|
| | | | 異常認めず | その他の疾病 | 異形成 f' = g' + h' | 軽度異形成 g' | 高度異形成 h' | 子宮がん i' = j' + k' | 上皮内がん j' | | | 浸潤がん k' |
| 保健事業団 | 58 | 95.1 | 15 | 6 | 27 | 17 | 10 (5) | 10 | 6 | 4 | 0.095 | 16.4 |
| 病 院 | 36 | 53.7 | 11 | 4 | 9 | 4 | 5 (2) | 12 | 10 | 2 | 0.194 | 17.9 |
| 診 療 所 | 158 | 66.9 | 41 | 10 | 76 | 43 | 33(10) | 31 | 24 | 7 | 0.246 | 13.1 |
| 計 | 252 | 69.2 | 67 | 20 | 112 | 64 | 48(17) | 53 | 40 | 13 | 0.181 | 14.6 |

※ () 内は中等度異形成



4) 平成24年度子宮頸部がん検診受診状況

| 市町村名 | 対象者数 (人) | | | | 受診者数 | | | | 要精検者数 | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | | | |
|------|-------------|--------|--------|--------|------|-----|------------|---------|-------|-----|-----------|---------|-----------|---------|----|-----|-------|------|-----------|------------------------------|---------|
| | A | B | C | 計 | 施設検診 | 車検診 | 受診率 (%) | E = D/A | F | G | H = F + G | I = H/D | J | K = J/H | L | M | N | O | P = M+N+O | がん 発見 率 (%) Q = O/D | R = O/H |
| 鳥取市 | 42,481 | 2,686 | 5,872 | 8,558 | 20.1 | 21 | 113 | 134 | 1.57 | 90 | 67.2 | 26 | 5 | 38 | 21 | 64 | 0.245 | 15.7 | | | |
| 米子市 | 32,100 | 0 | 7,133 | 7,133 | 22.2 | 0 | 119 | 119 | 1.67 | 84 | 70.6 | 25 | 4 | 39 | 16 | 59 | 0.224 | 13.4 | | | |
| 倉吉市 | 12,310 | 841 | 1,250 | 2,091 | 17.0 | 4 | 11 | 15 | 0.72 | 9 | 60.0 | 1 | 2 | 4 | 2 | 8 | 0.096 | 13.3 | | | |
| 境港市 | 8,044 | 0 | 1,104 | 1,104 | 13.7 | 0 | 18 | 18 | 1.63 | 7 | 38.9 | 0 | 0 | 5 | 2 | 7 | 0.181 | 11.1 | | | |
| 岩美町 | 3,252 | 655 | 68 | 723 | 22.2 | 4 | 2 | 6 | 0.83 | 6 | 100.0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0.138 | 16.7 | | | |
| 八頭町 | 4,327 | 1,111 | 200 | 1,311 | 30.3 | 5 | 2 | 7 | 0.53 | 7 | 100.0 | 3 | 0 | 4 | 0 | 4 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 若桜町 | 1,139 | 330 | 47 | 377 | 33.1 | 1 | 2 | 3 | 0.80 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0.265 | 33.3 | | | |
| 智頭町 | 2,064 | 198 | 297 | 495 | 24.0 | 2 | 1 | 3 | 0.61 | 2 | 66.7 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 湯梨浜町 | 3,978 | 599 | 437 | 1,036 | 26.0 | 0 | 6 | 6 | 0.58 | 4 | 66.7 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 | 0.193 | 33.3 | | | |
| 三朝町 | 1,788 | 375 | 75 | 450 | 25.2 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 北栄町 | 3,773 | 842 | 218 | 1,060 | 28.1 | 6 | 2 | 8 | 0.75 | 8 | 100.0 | 2 | 1 | 2 | 3 | 6 | 0.283 | 37.5 | | | |
| 琴浦町 | 4,788 | 1,131 | 257 | 1,388 | 29.0 | 8 | 4 | 12 | 0.86 | 9 | 75.0 | 2 | 3 | 4 | 0 | 7 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 南部町 | 2,816 | 286 | 430 | 716 | 25.4 | 3 | 6 | 9 | 1.26 | 6 | 66.7 | 2 | 2 | 2 | 0 | 4 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 伯耆町 | 3,005 | 536 | 305 | 841 | 28.0 | 1 | 5 | 6 | 0.71 | 6 | 100.0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 5 | 0.238 | 33.3 | | | |
| 日吉津村 | 747 | 34 | 262 | 296 | 39.6 | 0 | 1 | 1 | 0.34 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 大山町 | 4,882 | 367 | 500 | 867 | 17.8 | 2 | 6 | 8 | 0.92 | 5 | 62.5 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 0.231 | 25.0 | | | |
| 日南町 | 1,837 | 276 | 17 | 293 | 15.9 | 2 | 0 | 2 | 0.68 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0.341 | 50.0 | | | |
| 日野町 | 1,148 | 253 | 10 | 263 | 22.9 | 2 | 0 | 2 | 0.76 | 2 | 100.0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 江府町 | 1,006 | 0 | 305 | 305 | 30.3 | 0 | 5 | 5 | 1.64 | 1 | 20.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.0 | | | |
| 合計 | 135,485 | 10,520 | 18,787 | 29,307 | 21.6 | 61 | 303 | 364 | 1.24 | 252 | 69.2 | 67 | 20 | 112 | 53 | 185 | 0.181 | 14.6 | | | |
| 東部 | 53,263 | 4,980 | 6,484 | 11,464 | 21.5 | 33 | 120 | 153 | 1.33 | 108 | 70.6 | 31 | 6 | 48 | 23 | 77 | 0.201 | 15.0 | | | |
| 中部 | 26,637 | 3,788 | 2,237 | 6,025 | 22.6 | 18 | 23 | 41 | 0.68 | 30 | 73.2 | 5 | 6 | 12 | 7 | 25 | 0.116 | 17.1 | | | |
| 西部 | 55,585 | 1,752 | 10,066 | 11,818 | 21.3 | 10 | 160 | 170 | 1.44 | 114 | 67.1 | 31 | 8 | 52 | 23 | 83 | 0.195 | 13.5 | | | |

(3) 子宮体部がん検診の受診者数及び受診率の推移

| 区 分 | | 19 年 度 | | | 20 年 度 | | | 21 年 度 | | |
|--------|----------------------------|---------|------|-------|---------|------|------|---------|------|------|
| | | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 |
| 一次検診 | 対 象 者 数(人) A | 732 | | 732 | 667 | | 667 | 715 | | 715 |
| | 受 診 者 数(人) B | 641 | 24 | 665 | 593 | 49 | 642 | 608 | 71 | 679 |
| | 受 診 率(%) C = B / A | 87.6 | | 90.9 | 88.9 | | 96.3 | 85.0 | | 95.0 |
| 一次検診結果 | 異 常 認 め ず(人) D | 624 | | | 580 | | | 601 | | |
| | 要 精 検 者 数(人) E | 17 | | | 13 | | | 7 | | |
| | 判 定 不 能(人) F | 0 | | | 0 | | | 0 | | |
| 精密検査 | 要 精 検 率(%) G = E / B | 2.65 | | | 2.19 | | | 1.15 | | |
| | 精 検 受 診 者 数(人) H | 17 | | | 12 | | | 4 | | |
| 精密検査結果 | 精 検 受 診 率(%) I = H / E | 100.0 | | | 92.3 | | | 57.1 | | |
| | 子 宮 が ん の 者(人) J | 0(7) | 0(3) | 0(10) | 5(1) | 0(3) | 5(4) | 3(0) | 2(4) | 5(4) |
| | 子 宮 が ん 発 見 率(%) K = J / B | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.84 | 0.00 | 0.78 | 0.49 | 2.82 | 0.74 |
| 確定調査結果 | 陽 性 反 応 適 中 度(%) L = J / E | 0.0 | | | 38.5 | | | 42.9 | | |
| | 確 定 が ん 数(人) M | | | 1 | | | 5 | | | 3 |
| | 確 定 が ん 率(%) N = M / B | | | 0.15 | | | 0.78 | | | 0.44 |

| 区 分 | | 22 年 度 | | | 23 年 度 | | | 24 年 度 | | |
|--------|----------------------------|---------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|
| | | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 | 保 健 事業分 | 医療分 | 計 |
| 一次検診 | 対 象 者 数(人) A | 707 | | 707 | 735 | | 735 | 833 | | 833 |
| | 受 診 者 数(人) B | 608 | 63 | 671 | 626 | 76 | 702 | 672 | 105 | 777 |
| | 受 診 率(%) C = B / A | 86.0 | | 94.9 | 85.2 | | 95.5 | 80.7 | | 93.3 |
| 一次検診結果 | 異 常 認 め ず(人) D | 605 | | | 618 | | | 670 | | |
| | 要 精 検 者 数(人) E | 2 | | | 8 | | | 2 | | |
| | 判 定 不 能(人) F | 1 | | | 0 | | | 0 | | |
| 精密検査 | 要 精 検 率(%) G = E / B | 0.33 | | | 1.28 | | | 0.30 | | |
| | 精 検 受 診 者 数(人) H | 1 | | | 7 | | | 2 | | |
| 精密検査結果 | 精 検 受 診 率(%) I = H / E | 50.0 | | | 87.5 | | | 100.0 | | |
| | 子 宮 が ん の 者(人) J | 1(0) | 1(0) | 2(0) | 4(2) | 2(3) | 6(5) | 1(0) | 1(2) | 2(2) |
| | 子 宮 が ん 発 見 率(%) K = J / B | 0.16 | 1.59 | 0.30 | 0.64 | 2.63 | 0.85 | 0.15 | 0.95 | 0.26 |
| 確定調査結果 | 陽 性 反 応 適 中 度(%) L = J / E | 50.0 | | | 50.0 | | | 50.0 | | |
| | 確 定 が ん 数(人) M | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 | 6 | 1 | 1 | 2 |
| | 確 定 が ん 率(%) N = M / B | | | 0.30 | | | 0.85 | | | 0.26 |

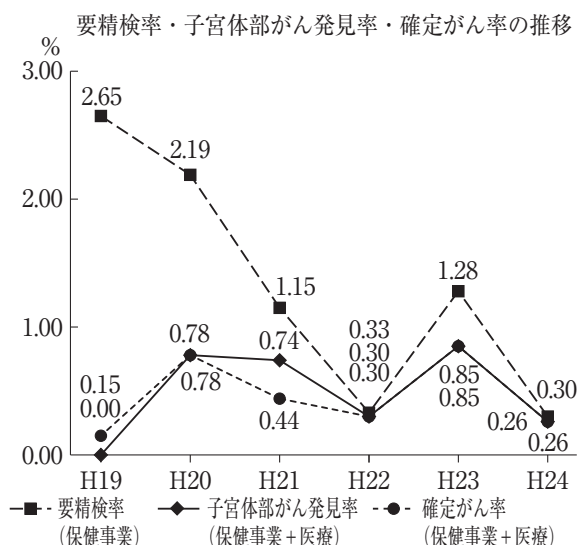
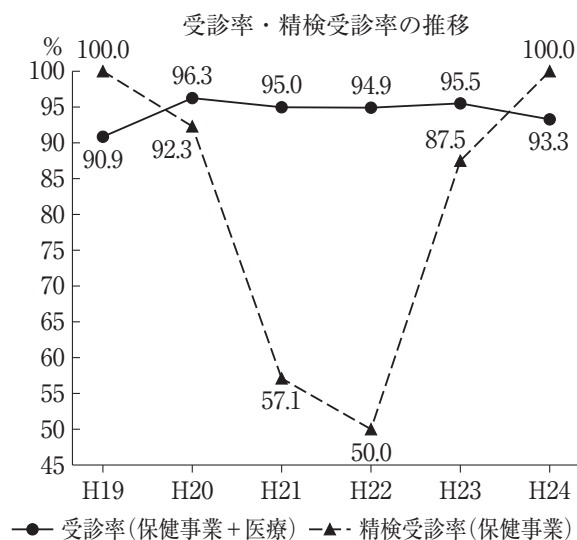
※ 1 「保健事業分」=集団検診及び医療機関検診により検診を受けた者、「医療分」=集団検診において当日体部がん検診を受診せず、後日医療機関において受診した者

※ 2 精密検査結果欄の()内の数値は、がん疑いの者の数を外数で計上

※ 3 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から【がん】の者のみを計上

※ 4 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者数を分母として算出

※ 5 確定がん数は、検診により発見された「がん」又は「がん疑い」の者を調査により計上



(4) 平成24年度子宮体部がん検診

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 体部がん検診 対象者数(人) a | 一次検診 受診者数 b | 受診率(%) c = b / a | 一次検診結果 | | | 要精検率(%) e = d / b |
|--------|------------------------|-------------------|---------------------|------------|------|-------|----------------------|
| | | | | 要精検者数 d | 判定不能 | 異常認めず | |
| 20～24歳 | 5 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 5 | 0.00 |
| 25～29歳 | 28 | 18 | 64.3 | 0 | 0 | 18 | 0.00 |
| 30～34歳 | 47 | 31 | 66.0 | 0 | 0 | 31 | 0.00 |
| 35～39歳 | 82 | 63 | 76.8 | 0 | 0 | 63 | 0.00 |
| 40～44歳 | 128 | 108 | 84.4 | 0 | 0 | 108 | 0.00 |
| 45～49歳 | 158 | 135 | 85.4 | 1 | 0 | 134 | 0.74 |
| 50～54歳 | 162 | 138 | 85.2 | 1 | 0 | 137 | 0.72 |
| 55～59歳 | 64 | 53 | 82.8 | 0 | 0 | 53 | 0.00 |
| 60～64歳 | 60 | 44 | 73.3 | 0 | 0 | 44 | 0.00 |
| 65～69歳 | 57 | 43 | 75.4 | 0 | 0 | 43 | 0.00 |
| 70～74歳 | 25 | 20 | 80.0 | 0 | 0 | 20 | 0.00 |
| 75～79歳 | 14 | 11 | 78.6 | 0 | 0 | 11 | 0.00 |
| 80歳以上 | 3 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 3 | 0.00 |
| 計 | 833 | 672 | 80.7 | 2 | 0 | 670 | 0.30 |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 精密検査 受診者数(人) f | 精検受診率 (%) g = f / d | 精 密 検 査 結 果 | | | | 子宮体部 がん発見率 (%) i = h / b | 陽性反応 適中度 (%) j = h / d |
|--------|----------------------|---------------------------|-------------|-------|-------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| | | | 異常認めず | その他疾病 | 子宮内膜 増殖症 | 子宮体部 がん h | | |
| 20～24歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 25～29歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 30～34歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 35～39歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 40～44歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 45～49歳 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 50～54歳 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.72 | 100.0 |
| 55～59歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 60～64歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 65～69歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 70～74歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 75～79歳 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 80歳以上 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 計 | 2 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.15 | 50.0 |

3) 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 受診者数(人) a' | 精 密 検 査 結 果 | | | | | 子宮体部がん発見率 (%) c' = b' / a' |
|--------|---------------|-------------|-------|---------|--------------|------|----------------------------------|
| | | 異常認めず | その他疾病 | 子宮内膜増殖症 | 子宮体部がん b' | 判定不能 | |
| 20～24歳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 25～29歳 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 30～34歳 | 13 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 35～39歳 | 14 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 40～44歳 | 12 | 10 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 45～49歳 | 13 | 12 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 50～54歳 | 11 | 10 | 0 | 0 | 1 | 0 | 9.091 |
| 55～59歳 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 60～64歳 | 11 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 65～69歳 | 8 | 7 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.000 |
| 70～74歳 | 4 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.000 |
| 75～79歳 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 80歳以上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 計 | 105 | 99 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0.952 |

4) 平成24年度子宮体部がん検診受診状況

| 市町村名 | 受診者数 | | | | 要精検者数 | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | | | |
|------|------|-----|-----------|-----------|---------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|--------|---------|----|---------------|-----------|-------------|
| | 対象者数 | 車検診 | 施設検診 | 計 | 受診率 (%) | 車検診 | 施設検診 | 計 | 要精検率 (%) | 精検受診率 (%) | 異常認めず | その他の疾病 | 子宮内膜増殖症 | がん | 有所見者 | がん発見率 (%) | 陽性反応適中度 (%) |
| A | B | C | D = B + C | E = D / A | F | G | H = F + G | I = H / D | J | K = J / H | L | M | N | O | P = M + N + O | Q = O / D | R = O / H |
| 鳥取市 | 0 | 238 | 238 | 65.4 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 米子市 | 0 | 233 | 233 | 100.0 | | 2 | 2 | 0.86 | 2 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.43 | 50.0 |
| 倉吉市 | 0 | 93 | 93 | 86.1 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 境港市 | 0 | 14 | 14 | 100.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 岩美町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 八頭町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 若桜町 | 0 | 2 | 2 | 25.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 智頭町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 湯梨浜町 | 0 | 28 | 28 | 84.8 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 三朝町 | 0 | 5 | 5 | 100.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 北栄町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 琴浦町 | 1 | 16 | 17 | 100.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 南部町 | 0 | 31 | 31 | 100.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 伯耆町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 日吉津村 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 大山町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 日南町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 日野町 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 江府町 | 0 | 11 | 11 | 100.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 合計 | 833 | 1 | 671 | 80.7 | | 2 | 2 | 0.30 | 2 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.15 | 50.0 |
| 東部 | 381 | 0 | 240 | 63.0 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 中部 | 163 | 1 | 142 | 87.7 | | 0 | 0 | 0.00 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 西部 | 289 | 0 | 289 | 100.0 | | 2 | 2 | 0.69 | 2 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.35 | 50.0 |

(5) 平成24年度子宮がん検診発見がん患者確定調査結果

表1 子宮がん検診確定調査結果（頸部）

| 最終診断 | 車検診 | | 施設検診 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
| 異形成 | 24 | 27 | 52 | 84 |
| 上皮内癌 | 2 | 6 | 13 | 32 |
| 頸癌ⅠA期 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 頸癌ⅠB期以上 | 1 | 2 | 5 | 8 |
| 合計 | 27 | 37 | 70 | 126 |

表2 子宮がん検診確定調査結果（体部）

| 最終診断 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|---------|--------|--------|
| 内膜増殖症 | 5 | 0 |
| 体癌ⅠA期 | 6 | 2 |
| 体癌ⅠB期以上 | 1 | 0 |
| 合計 | 12 | 0 |

表3 発見子宮がん症例（ⅠB期以上）のがん検診受診歴

| 受診歴 | 車検診 | 施設検診 | 計 |
|---------|-----|------|---|
| 前年受診 | 1 | 0 | 1 |
| 2年間隔 | 0 | 0 | 0 |
| 3年以上の間隔 | 0 | 2 | 2 |
| 初回受診 | 1 | 5 | 6 |

表4 治療機関

| | 上皮内癌 | 頸癌ⅠA期 | 頸癌ⅠB期以上 | 計 |
|------------|------|-------|---------|----|
| 鳥取大学医学附属病院 | 10 | 1 | 6 | 17 |
| 鳥取県立中央病院 | 13 | 1 | 2 | 16 |
| 鳥取市立病院 | 2 | 1 | 2 | 5 |
| 鳥取赤十字病院 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 鳥取県立厚生病院 | 4 | 1 | 0 | 5 |
| 博愛病院 | 6 | 0 | 0 | 6 |
| 他県医療機関 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 38 | 4 | 10 | 52 |

3. 肺 が ん 検 診

1. 肺がん検診実績

平成24年度対象者数（40歳以上のうち職場等で受診機会のない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計数）190,556人のうち、受診者数50,376人、受診率26.4%で前年度に比べ受診者数1,863人、受診率0.9ポイント増加した。

このうち要精検者は2,460人、要精検率4.88%で前年度より0.21ポイント減少した。精密検査受診者は2,201人、精検受診率89.5%であった。要精検率は平成20年度以降上昇傾向にあり、4.5～5.0の間を推移している。精検受診率は目標値90%に近い高率で推移している。精密検査の結果、肺がん35人、肺がん疑い58人であった。

要精検率は国の指標（許容値）である3.0%以下をいまだに大きく上回っているが、精検受診率は引き続き高く、肺がん発見率は0.07%で、国の指標（許容値）0.03%の約2倍と高率であった。また、陽性反応適中度は1.4%となり、これも国の指標（許容値）1.3%を上回っており、鳥取県の肺がん検診は要精検率が高く、肺がん発見率も高いという結果である。施設検診と車検診を比較すると、要精検率は施設検診6.5%、車検診3.7%と施設検診の方が2.8ポイント高いのに対して、がん発見率では施設検診0.083%、車検診0.059%と施設検診が0.024ポイント上回るのみである。施設検診の精度管理は今後も検討課題の一つである。

追跡調査の結果、確定肺がんは54人（原発性49人、転移性5人）で、確定がん率は0.11%となり、前年度よりも0.02ポイント減少した。肺がん疑いの症例は今後も定期的にフォローする方針である。

X線受診者総数50,376人のうち経年受診者は33,415人、経年受診率66.3%で平成23年度に比べ約6ポイント増加した。これは、米子市の医療機関検診が2年目となり経年受診者が増えたことによると考えられる。

喀痰検査の対象となる高危険群所属者は7,201人（14.3%）で、そのうち喀痰検査を受診した者は2,818人で、X線検査受診者の5.6%であった。そのうち要精検者は1人、要精検率0.04%で、がんが1名発見された。

経年受診者のがん発見率は0.045%で、非経年受診者のがん発見率0.118%で、非経年受診者の方が2.63倍高かった。また、高危険群所属者7,201人のうちがんが10人発見され、がん発見率0.139%、非高危険群所属者43,175人のうちがんが25人発見され、がん発見率0.058%で、高危険群所属者の方が2.4倍高かった。

西部の医療機関検診が2年目となり、西部の要精検率11.19%と高く、がん発見率も0.102%と高かった。

〈検診機関別結果〉

(1) 一次検診

| 区 分 | 受診者数（率） | 要精検者数 | 要精検率（％） | | | |
|---------------------------|-------------------|-------|---------|------|------|-------|
| | | | 計 | 東 部 | 中 部 | 西 部 |
| 車 検 診 (保健事業団・中国労働衛生協会) | 28,622 (56.8%) | 1,051 | 3.67 | 2.96 | 3.60 | 4.18 |
| 施 設 検 診 (病院・診療所) | 21,754 (43.2%) | 1,409 | 6.48 | 4.65 | 7.93 | 11.19 |
| 計 | 50,376 (100%) | 2,460 | 4.88 | 4.06 | 4.51 | 6.22 |

(2) 精密検査

| 区 分 | 精 検 受診者数 | 精 検 受診率 (%) | が ん | がん発見率 (%) | | | |
|---------|-------------|-------------------|-----|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | 計 | 東 部 | 中 部 | 西 部 |
| 車 検 診 | 908 | 86.4 | 17 | 0.059 | 0.103 | 0.034 | 0.050 |
| 施 設 検 診 | 1,293 | 91.8 | 18 | 0.083 | 0.069 | 0.129 | 0.102 |
| 計 | 2,201 | 89.5 | 35 | 0.069 | 0.081 | 0.054 | 0.065 |

〈圏域別結果〉

(1) 車検診

| 区 分 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | がん疑い | が ん | がん発見率 |
|-----|--------|-------|------|--------|-------|------|-----|-------|
| 東 部 | 7,762 | 230 | 2.96 | 205 | 89.1 | 9 | 8 | 0.103 |
| 中 部 | 8,877 | 320 | 3.60 | 274 | 85.6 | 16 | 3 | 0.034 |
| 西 部 | 11,983 | 501 | 4.18 | 429 | 85.6 | 13 | 6 | 0.050 |
| 計 | 28,622 | 1,051 | 3.67 | 908 | 86.4 | 38 | 17 | 0.059 |

(2) 施設検診

| 区 分 | 受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | がん疑い | が ん | がん発見率 |
|-----|--------|-------|-------|--------|-------|------|-----|-------|
| 東 部 | 14,514 | 675 | 4.65 | 630 | 93.3 | 11 | 10 | 0.069 |
| 中 部 | 2,332 | 185 | 7.93 | 174 | 94.1 | 4 | 3 | 0.129 |
| 西 部 | 4,908 | 549 | 11.19 | 489 | 89.1 | 5 | 5 | 0.102 |
| 計 | 21,754 | 1,409 | 6.48 | 1,293 | 91.8 | 20 | 18 | 0.083 |

〈経年受診者の状況〉

※経年受診者＝昨年度も肺がん検診を受診した者

(1) 受診者数の推移

| 年 度 | 全体 (X線受診者数) | | | 経年受診者数 (率) | | | | | |
|-----|-------------|--------|--------|------------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | | 女 | | 計 | |
| H22 | 17,004 | 28,478 | 45,482 | 11,670 | (68.6%) | 20,419 | (71.7%) | 32,089 | (70.6%) |
| H23 | 18,618 | 29,895 | 48,513 | 11,047 | (59.3%) | 18,402 | (61.6%) | 29,449 | (60.7%) |
| H24 | 19,597 | 30,779 | 50,376 | 12,945 | (66.1%) | 20,470 | (66.5%) | 33,415 | (66.3%) |

(2) がん発見率の推移

| 年度 | 経 年 受 診 者 | | | 非 経 年 受 診 者 | | | 発見率倍率 (非経年/経年) |
|-----|-----------|-----|-------|-------------|-----|-------|-------------------|
| | 受診者数 | が ん | がん発見率 | 受診者数 | が ん | がん発見率 | |
| H22 | 32,089 | 27 | 0.084 | 13,393 | 23 | 0.172 | 2.04 |
| H23 | 29,449 | 20 | 0.068 | 19,064 | 24 | 0.126 | 1.85 |
| H24 | 33,415 | 15 | 0.045 | 16,961 | 20 | 0.118 | 2.63 |

〈高危険群所属者の状況〉

※高危険群所属者＝肺がんX線検査対象者のうち、問診の結果、原則として次のいずれかの条件に該当する者

- ①年齢50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上の者
- ②6か月以内に血痰のあった者

(1) 受診者数の推移

| 年度 | 全体（X線受診者数） | | | 高危険群所属者数（率） | | | | | |
|-----|------------|--------|--------|-------------|---------|-----|--------|-------|---------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | | 女 | | 計 | |
| H22 | 17,004 | 28,478 | 45,482 | 5,045 | (29.7%) | 296 | (1.0%) | 5,341 | (11.7%) |
| H23 | 18,618 | 29,895 | 48,513 | 6,226 | (33.4%) | 396 | (1.3%) | 6,622 | (13.6%) |
| H24 | 19,597 | 30,779 | 50,376 | 6,823 | (34.8%) | 378 | (1.2%) | 7,201 | (14.3%) |

(2) がん発見率の推移

| 年度 | 高危険群所属者 | | | 非高危険群所属者 | | | 発見率倍率 (高危険/非高危険) |
|-----|---------|-----|-------|----------|-----|-------|---------------------|
| | 受診者数 | が ん | がん発見率 | 受診者数 | が ん | がん発見率 | |
| H22 | 5,341 | 13 | 0.243 | 40,141 | 37 | 0.092 | 2.64 |
| H23 | 6,622 | 10 | 0.151 | 41,891 | 34 | 0.081 | 1.86 |
| H24 | 7,201 | 10 | 0.139 | 43,175 | 25 | 0.058 | 2.40 |

〈喀痰細胞診の実施状況〉

※喀痰細胞診対象者＝X線検査受診者における高危険群所属者

(1) 結果の推移

| 年度 | X線検査受診者中 高危険群所属者 | 喀痰検査受診者数 | 要精検者数 | 要精検率 | 精検受診者数 | が ん | がん発見率 |
|-----|---------------------|----------|-------|------|--------|-----|-------|
| H22 | 5,341 | 2,668 | 1 | 0.04 | 1 | 0 | 0.00 |
| H23 | 6,622 | 2,750 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 |
| H24 | 7,201 | 2,818 | 1 | 0.04 | 1 | 1 | 0.04 |

発見がん患者の状況

(2) 要精検カテゴリー別患者数（人）

| 年 度 | 全 体 | X線のみ要精検 | 喀痰のみ要精検 | ともに要精検 |
|-----|-----|---------|---------|--------|
| H22 | 31 | 31 | 0 | 0 |
| H23 | 44 | 44 | 0 | 0 |
| H24 | 35 | 34 | 1 | 0 |

2. 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

1) 昭和62年から平成24年までに発見された肺がん又は肺がん疑いについて予後調査した結果、肺がん確定診断1,217例、内訳は原発性肺癌1,088例（発見率10万対74人）、転移性肺腫瘍129例であった。発見方法は胸部X線989人（90.9%）、喀痰細胞診53人、両者44人、不明2人で、近年、喀痰細胞診から発見される肺がんの割合は激減している。平均年齢は71.8歳、男性645人、女性443人で、近年

の傾向として女性肺がんの増加が著しい。臨床病期はⅠ期が617人（56.7%）で過半数を占め、670人（61.6%）に手術が行われた。予後調査では全例（1,088人）の累積生存率は5生率47.9%、10生率31.8%であり、手術例では5生率66.7%、10生率46.7%であった。臨床病期ⅠA期の5生率は74.0%、10生率は54.2%と良好な結果を示した。

2) 平成24年度調査結果

(1) 予後調査では原発性肺がん49例、転移性肺腫瘍5例、合計54例の確定肺癌。

最終報告で58例あった肺がん疑いは、その後の予後調査により肺がんが14例発見され、肺がんを否定が13例、肺がん疑いのままが26例という結果であった。肺がん疑いの26例は今後3年間フォローを続ける予定である。

(2) 発見された原発性肺がんの49例中48例（98%）が胸部X線のみで発見され、喀痰細胞診により1例発見された。喀痰細胞診から発見された1例はX線D2で、stageⅣの肺がんで2か月後に死亡された。

(3) 原発性肺がんの平均年齢は69.9歳、女性肺がんは23例（46.9%）、臨床病期はⅠ期31例（63.3%）、腺癌は34例（69.4%）と引き続き高率であった。

(4) 手術症例の割合は34例（69.4%）と多く、術後病期Ⅰ期の肺がんが28例（82.4%）、腺癌が27例（79.4%）と多数を占めた。

(5) 腫瘍径は平均28.4mmと小さくなったが、最大100mmの腫瘍も発見されている。20mm以下は18例（36.7%）で、平成23年度より5.8ポイント増加した。

(6) 転移性肺腫瘍は5例で、原発巣は肝臓癌2例、膵臓癌2例、膀胱癌1例であった。

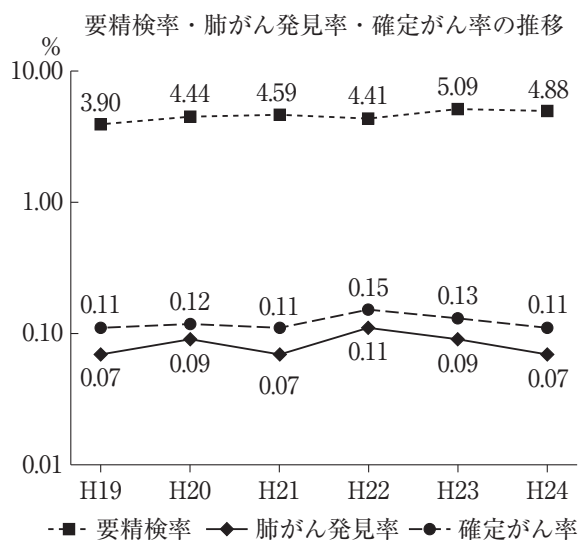
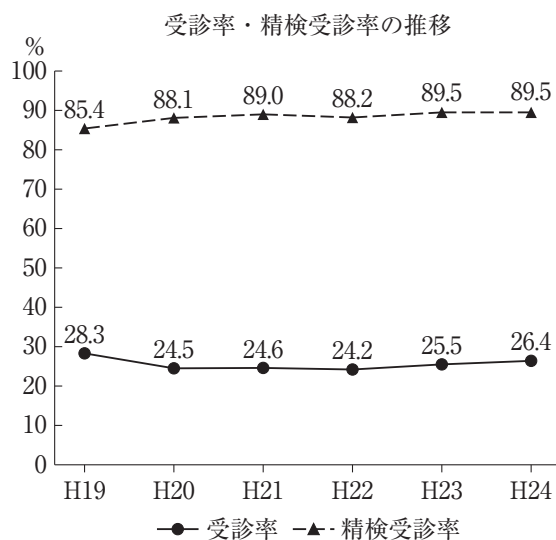
(7) 施設検診と車検診との比較を行い、要精検率は施設検診6.5%、車検診3.7%と施設が高く、特に西部地区が11.2%と高かった。原発性肺がん49例のうち、車検診で26例（発見率0.091%）、施設検診23例（0.106%）であった。

施設検診から臨床病期Ⅳが5例発見されており、例年に比べ進行癌が多く、腫瘍径が大きいものが発見され、手術症例が少なかった。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

| 区 分 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|--------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一次検診 | 対象者数(人) A | 175,897 | 188,186 | 188,186 | 188,186 | 190,556 | 190,556 |
| | 受診者数(人) B | 49,806 | 46,015 | 46,247 | 45,482 | 48,513 | 50,376 |
| | 受診率(%) C = B/A | 28.3 | 24.5 | 24.6 | 24.2 | 25.5 | 26.4 |
| 一次検診結果 | 異常認めず(人) D | 47,866 | 43,974 | 44,125 | 43,478 | 46,046 | 47,916 |
| | 要精検者数(人) E | 1,940 | 2,041 | 2,122 | 2,004 | 2,467 | 2,460 |
| | 要精検率(%) F = E/B <small>指標：許容値3.0%以下</small> | 3.90 | 4.44 | 4.59 | 4.41 | 5.09 | 4.88 |
| 精密検査 | 精検受診者数(人) G | 1,656 | 1,799 | 1,888 | 1,767 | 2,208 | 2,201 |
| | 精検受診率(%) H = G/E <small>指標：目標値90%以上</small> | 85.4 | 88.1 | 89.0 | 88.2 | 89.5 | 89.5 |
| | 肺がんの者(人) I | 35(88) | 41(94) | 31(87) | 50(67) | 44(70) | 35(58) |
| | 肺がん発見率(%) J = I/B <small>指標：許容値0.03%以上</small> | 0.07 | 0.09 | 0.07 | 0.11 | 0.09 | 0.07 |
| | 陽性反応適中度(%) K = I/E <small>指標：許容値1.3%以上</small> | 1.8 | 2.0 | 1.5 | 2.5 | 1.8 | 1.4 |
| 確定調査結果 | 確定がん数(人) L | 55 | 55 | 49 | 69 | 61 | 54 |
| | 上記のうち原発性肺がん数(人) M | 48 | 52 | 41 | 65 | 55 | 49 |
| | 確定がん率(%) N = L/B | 0.11 | 0.12 | 0.11 | 0.15 | 0.13 | 0.11 |

- * 1 精密検査結果中の () 内の数値はがん疑いの者の数を外数で計上
- * 2 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から【がん】の者のみを計上
- * 3 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者数を分母として算出
- * 4 確定がん数は、確定調査結果、がんと確定された数を計上
- * 5 要精検者数 (E)、精検受診者数 (G)、肺がんの者 (I)、確定がん数 (L) については、E判定者を計上 (なお、19年度まではD判定から肺がん・肺がん疑いとなった者も追加して計上)



(2) 平成24年度肺がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

a. X線検査結果

| 年 齢 | 対象者数 (人) a | | 胸 部 エ ッ ク ス 線 検 査 | | | | | | | | | エックス線フィルム読影結果 | | | | | | |
|--------|------------------|---------|-------------------|--------|-------------------------|------|------|--------------------|--------|-----------------------------------|------|---------------|-------|--------|--------|--------------------------|------|------|
| | | | 一次検診 受診者数 b | | 受診率 (%) c = b / a | | | 経年受診 者数再掲※ d | | 経年受診 者 割 合 (%) e = d / b | | 要精検者数 f | | 異常認めず | | 要精検率 (%) g = f / b | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 2,158 | 4,048 | 491 | 979 | 22.8 | 24.2 | 23.7 | 147 | 309 | 29.9 | 31.6 | 15 | 25 | 476 | 954 | 3.05 | 2.55 | 2.72 |
| 45～49歳 | 2,326 | 3,853 | 450 | 896 | 19.3 | 23.3 | 21.8 | 213 | 461 | 47.3 | 51.5 | 12 | 28 | 438 | 868 | 2.67 | 3.13 | 2.97 |
| 50～54歳 | 3,058 | 4,974 | 583 | 1,305 | 19.1 | 26.2 | 23.5 | 303 | 691 | 52.0 | 53.0 | 19 | 43 | 564 | 1,262 | 3.26 | 3.30 | 3.28 |
| 55～59歳 | 4,908 | 8,189 | 986 | 2,162 | 20.1 | 26.4 | 24.0 | 523 | 1,246 | 53.0 | 57.6 | 54 | 92 | 932 | 2,070 | 5.48 | 4.26 | 4.64 |
| 60～64歳 | 9,854 | 13,797 | 2,940 | 4,937 | 29.8 | 35.8 | 33.3 | 1,706 | 3,084 | 58.0 | 62.5 | 163 | 181 | 2,777 | 4,756 | 5.54 | 3.67 | 4.37 |
| 65～69歳 | 11,061 | 14,574 | 3,900 | 5,499 | 35.3 | 37.7 | 36.7 | 2,507 | 3,741 | 64.3 | 68.0 | 188 | 217 | 3,712 | 5,282 | 4.82 | 3.95 | 4.31 |
| 70～74歳 | 11,588 | 16,049 | 3,845 | 5,625 | 33.2 | 35.0 | 34.3 | 2,776 | 4,041 | 72.2 | 71.8 | 255 | 242 | 3,590 | 5,383 | 6.63 | 4.30 | 5.25 |
| 75～79歳 | 11,689 | 17,458 | 3,349 | 4,880 | 28.7 | 28.0 | 28.2 | 2,468 | 3,613 | 73.7 | 74.0 | 211 | 279 | 3,138 | 4,601 | 6.30 | 5.72 | 5.95 |
| 80歳以上 | 15,666 | 35,306 | 3,053 | 4,496 | 19.5 | 12.7 | 14.8 | 2,302 | 3,284 | 75.4 | 73.0 | 191 | 244 | 2,862 | 4,252 | 6.26 | 5.43 | 5.76 |
| 計 | 72,308 | 118,248 | 19,597 | 30,779 | 27.1 | 26.0 | 26.4 | 12,945 | 20,470 | 66.1 | 66.5 | 1,108 | 1,351 | 18,489 | 29,428 | 5.65 | 4.39 | 4.88 |
| 合計 | 190,556 | | 50,376 | | 26.4 | | | 33,415 | | 66.3 | | 2,459 | | 47,917 | | 4.88 | | |

※経年受診者：昨年度も肺がん検診を受診した者

b. 喀痰細胞診結果

| 年 齢 | X線検査受診者中 高危険群所属者※ (人) | | 喀痰細胞診 受診者数 h | | 喀 痰 細 胞 診 結 果 | | | | 要精検率 (%) j = i / h | |
|--------|-----------------------------|-----|--------------------|-----|---------------|---|---------|-----|--------------------------|------|
| | | | | | 要精検者数 i | | 精 検 不 要 | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 40～44歳 | 11 | 10 | 19 | 7 | 0 | 0 | 19 | 7 | 0.00 | 0.00 |
| 45～49歳 | 21 | 5 | 28 | 6 | 0 | 0 | 28 | 6 | 0.00 | 0.00 |
| 50～54歳 | 196 | 30 | 76 | 10 | 0 | 0 | 76 | 10 | 0.00 | 0.00 |
| 55～59歳 | 396 | 29 | 140 | 16 | 0 | 0 | 140 | 16 | 0.00 | 0.00 |
| 60～64歳 | 1,301 | 84 | 500 | 37 | 0 | 0 | 500 | 37 | 0.00 | 0.00 |
| 65～69歳 | 1,665 | 88 | 632 | 56 | 0 | 0 | 632 | 56 | 0.00 | 0.00 |
| 70～74歳 | 1,391 | 73 | 558 | 39 | 1 | 0 | 557 | 39 | 0.18 | 0.00 |
| 75～79歳 | 995 | 35 | 382 | 24 | 0 | 0 | 382 | 24 | 0.00 | 0.00 |
| 80歳以上 | 847 | 24 | 272 | 16 | 0 | 0 | 272 | 16 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 6,823 | 378 | 2,607 | 211 | 1 | 0 | 2,606 | 211 | 0.04 | 0.00 |
| 合 計 | 7,201 | | 2,818 | | 1 | | 2,817 | | 0.04 | |

※高危険群所属者＝肺がんX線検査対象者のうち、問診の結果、原則として次のいずれかの条件に該当する者

- ①年齢50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上の者
- ②6か月以内に血痰のあった者

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 要精検者数 (人) | | 精密検査 受診者数 | | 精密検査受診率 (%) | | | 精 密 検 査 結 果 | | | | | | | | 肺がん発見率 (%) | | | 陽性反応適中度 (%) | | |
|----------|--------------|-------|--------------|-------|----------------|------|------|-------------|-----|-------|-----|-------|----|-----|----|---------------|-------|-------|----------------|-----|-----|
| | k | | l | | m = l / k | | | 異常認めず | | その他疾病 | | 肺がん疑い | | 肺がん | | o = n / b | | | p = n / k | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 15 | 25 | 14 | 21 | 93.3 | 84.0 | 87.5 | 7 | 14 | 7 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 45～49歳 | 12 | 28 | 10 | 24 | 83.3 | 85.7 | 85.0 | 6 | 15 | 4 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 50～54歳 | 19 | 43 | 16 | 41 | 84.2 | 95.3 | 91.9 | 11 | 27 | 5 | 11 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0.000 | 0.077 | 0.053 | 0.0 | 2.3 | 1.6 |
| 55～59歳 | 54 | 92 | 46 | 84 | 85.2 | 91.3 | 89.0 | 25 | 39 | 20 | 44 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 60～64歳 | 163 | 181 | 142 | 164 | 87.1 | 90.6 | 89.0 | 79 | 71 | 57 | 81 | 3 | 4 | 3 | 8 | 0.102 | 0.162 | 0.140 | 1.8 | 4.4 | 3.2 |
| 65～69歳 | 188 | 217 | 159 | 204 | 84.6 | 94.0 | 89.6 | 78 | 96 | 76 | 103 | 3 | 5 | 2 | 0 | 0.051 | 0.000 | 0.021 | 1.1 | 0.0 | 0.5 |
| 70～74歳 | 256 | 242 | 232 | 225 | 90.6 | 93.0 | 91.8 | 96 | 108 | 125 | 109 | 4 | 6 | 7 | 2 | 0.182 | 0.036 | 0.095 | 2.7 | 0.8 | 1.8 |
| 75～79歳 | 211 | 279 | 190 | 248 | 90.0 | 88.9 | 89.4 | 91 | 110 | 85 | 128 | 8 | 7 | 6 | 3 | 0.179 | 0.061 | 0.109 | 2.8 | 1.1 | 1.8 |
| 80歳以上 | 191 | 244 | 167 | 214 | 87.4 | 87.7 | 87.6 | 62 | 99 | 96 | 108 | 6 | 7 | 3 | 0 | 0.098 | 0.000 | 0.040 | 1.6 | 0.0 | 0.7 |
| 計 | 1,109 | 1,351 | 976 | 1,225 | 88.0 | 90.7 | 89.5 | 455 | 579 | 475 | 599 | 25 | 33 | 21 | 14 | 0.107 | 0.045 | 0.069 | 1.9 | 1.0 | 1.4 |
| 合計 | 2,460 | | 2,201 | | 89.5 | | | 1,034 | | 1,074 | | 58 | | 35 | | 0.069 | | | 1.4 | | |
| X線のみ要精検 | 2,459 | | 2,200 | | 89.5 | | | 1,034 | | 1,074 | | 58 | | 34 | | / | | | 1.4 | | |
| 喀痰のみ要精検 | 1 | | 1 | | 100.0 | | | 0 | | 0 | | 0 | | 1 | | | | | 100.0 | | |
| X線+喀痰要精検 | 0 | | 0 | | 0.0 | | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | | 0.0 | | |

3) 検診機関別

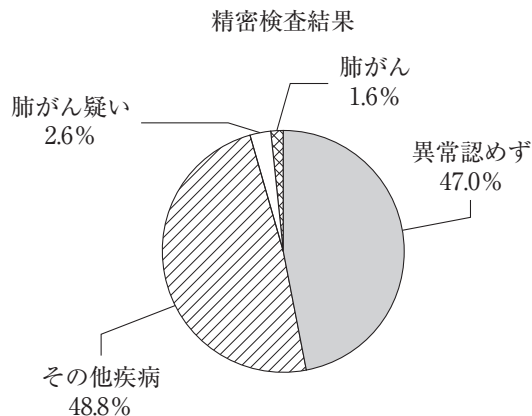
a. 一次検診結果 (X線検査)

| 一 次 検 診 機 関 | 胸部エックス線検査 | | | | エックス線フィルム読影結果 | | | | | | | X線検査受診 者中高危険群 所 属 者 数 | |
|-------------|-----------|--------|----------|--------|---------------|-------|--------|--------|--------------|------|------|-----------------------------|-----|
| | 受診者数(人) | | 経年受診者数再掲 | | 要精検者数 | | 異常認めず | | 要精検率 (%) | | | | |
| | a' | | | | b' | | | | c' = b' / a' | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| 保 健 事 業 団 | 10,267 | 17,544 | 6,675 | 11,400 | 426 | 578 | 9,841 | 16,966 | 4.15 | 3.29 | 3.61 | 3,535 | 137 |
| 中国労働衛生協会 | 323 | 488 | 237 | 382 | 21 | 26 | 302 | 462 | 6.50 | 5.33 | 5.80 | 39 | 1 |
| 病 院 | 2,919 | 4,156 | 1,846 | 2,623 | 207 | 226 | 2,712 | 3,930 | 7.09 | 5.44 | 6.12 | 1,061 | 86 |
| 診 療 所 | 6,088 | 8,591 | 4,187 | 6,065 | 454 | 521 | 5,634 | 8,070 | 7.46 | 6.06 | 6.64 | 2,188 | 154 |
| 計 | 19,597 | 30,779 | 12,945 | 20,470 | 1,108 | 1,351 | 18,489 | 29,428 | 5.65 | 4.39 | 4.88 | 6,823 | 378 |
| 合 計 | 50,376 | | 33,415 | | 2,459 | | 47,917 | | 4.88 | | | 7,201 | |

| 一次検診機関 | 喀痰容器提出者数(人) d' | | 喀痰細胞診結果 | | | | | | X線・喀痰細胞診とも必要精検者数 g' | | 一次検診結果 | | | | |
|----------|-------------------|-----|-------------|---|-------|-----|-------------------------|------|------------------------|---|------------------------------|-------|-------------------------|------|------|
| | | | 要精検者数 e' | | 精検不要 | | 要精検率(%) f' = e' / d' | | | | 要精検者数 h' = (b' + e') - g' | | 要精検率(%) i' = h' / a' | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | | |
| 保健事業団 | 1,082 | 117 | 0 | 0 | 1,082 | 117 | 0.00 | 0.00 | 0 | 0 | 426 | 578 | 4.15 | 3.29 | 3.61 |
| 中国労働衛生協会 | 37 | 1 | 0 | 0 | 37 | 1 | 0.00 | 0.00 | 0 | 0 | 21 | 26 | 6.50 | 5.33 | 5.80 |
| 病院 | 484 | 34 | 0 | 0 | 484 | 34 | 0.00 | 0.00 | 0 | 0 | 207 | 226 | 7.09 | 5.44 | 6.12 |
| 診療所 | 1,004 | 59 | 1 | 0 | 1,003 | 59 | 0.10 | 0.00 | 0 | 0 | 455 | 521 | 7.47 | 6.06 | 6.65 |
| 計 | 2,607 | 211 | 1 | 0 | 2,606 | 211 | 0.04 | 0.00 | 0 | 0 | 1,109 | 1,351 | 5.66 | 4.39 | 4.88 |
| 合計 | 2,818 | | 1 | | 2,817 | | 0.04 | | 0 | | 2,460 | | 4.88 | | |

b. 精密検査結果

| 一次検診機関 | 要精検者数(人) h' | | 精密検査受診者数 j' | | 精密検査受診率(%) k' = j' / h' | | | 精密検査結果 | | | | | | | | 肺がん発見率(%) m' = l' / a' | | | 陽性反応適中度(%) n' = l' / h' | | |
|----------|----------------|-------|----------------|-------|----------------------------|------|------|--------|-----|-------|-----|-------|----|-----------|----|---------------------------|-------|-------|----------------------------|-----|-----|
| | | | | | | | | 異常認めず | | その他疾病 | | 肺がん疑い | | 肺がん l' | | | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 保健事業団 | 426 | 578 | 352 | 515 | 82.6 | 89.1 | 86.4 | 144 | 229 | 183 | 259 | 16 | 20 | 9 | 7 | 0.088 | 0.040 | 0.058 | 2.1 | 1.2 | 1.6 |
| 中国労働衛生協会 | 21 | 26 | 19 | 22 | 90.5 | 84.6 | 87.2 | 12 | 16 | 5 | 5 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0.310 | 0.000 | 0.123 | 4.8 | 0.0 | 2.1 |
| 病院 | 207 | 226 | 184 | 204 | 88.9 | 90.3 | 89.6 | 87 | 96 | 90 | 103 | 5 | 3 | 2 | 2 | 0.069 | 0.048 | 0.057 | 1.0 | 0.9 | 0.9 |
| 診療所 | 455 | 521 | 421 | 484 | 92.5 | 92.9 | 92.7 | 212 | 238 | 197 | 232 | 3 | 9 | 9 | 5 | 0.148 | 0.058 | 0.095 | 2.0 | 1.0 | 1.4 |
| 計 | 1,109 | 1,351 | 976 | 1,225 | 88.0 | 90.7 | 89.5 | 455 | 579 | 475 | 599 | 25 | 33 | 21 | 14 | 0.107 | 0.045 | 0.069 | 1.9 | 1.0 | 1.4 |
| 合計 | 2,460 | | 2,201 | | 89.5 | | | 1,034 | | 1,074 | | 58 | | 35 | | 0.069 | | | 1.4 | | |



4) 平成24年度肺がん検診受診状況

| 市町村名 | 受診者数 | | | | 要精検者数 | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | | | | | |
|------|---------|--------|-----------|-----------|---------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|--------|------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| | 対象者数 | 車検診 | 施設検診 | 計 | 受診率 (%) | 車検診 | 施設検診 | 計 | 要精検率 (%) | 精検受診者数 | 精検受診率 (%) | 異認めず | 常その他の病 | がん疑い | が | 人 | 有所見者 | がん発見率 (%) | 陽性反応適中度 (%) |
| A | B | C | D = B + C | E = D / A | F | G | H = F + G | I = H / D | J | K = J / H | L | M | N | O | P = M + N + O | Q = O / D | R = O / H | | |
| 鳥取市 | 57,433 | 3,270 | 13,647 | 16,917 | 29.5 | 109 | 637 | 746 | 4.41 | 691 | 92.6 | 317 | 347 | 15 | 12 | 374 | 0.071 | 1.6 | |
| 米子市 | 42,442 | 4,574 | 4,186 | 8,760 | 20.6 | 215 | 432 | 647 | 7.39 | 604 | 93.4 | 308 | 280 | 9 | 7 | 296 | 0.080 | 1.1 | |
| 倉吉市 | 17,700 | 1,688 | 1,223 | 2,911 | 16.4 | 75 | 92 | 167 | 5.74 | 151 | 90.4 | 66 | 79 | 5 | 1 | 85 | 0.034 | 0.6 | |
| 境港市 | 11,307 | 1,119 | 0 | 1,119 | 9.9 | 43 | 0 | 43 | 3.84 | 39 | 90.7 | 12 | 27 | 0 | 0 | 27 | 0.000 | 0.0 | |
| 岩美町 | 4,844 | 990 | 0 | 990 | 20.4 | 24 | 0 | 24 | 2.42 | 22 | 91.7 | 10 | 9 | 1 | 2 | 12 | 0.202 | 8.3 | |
| 八頭町 | 6,534 | 2,640 | 296 | 2,936 | 44.9 | 65 | 14 | 79 | 2.69 | 71 | 89.9 | 28 | 41 | 1 | 1 | 43 | 0.034 | 1.3 | |
| 若桜町 | 1,776 | 412 | 200 | 612 | 34.5 | 14 | 6 | 20 | 3.27 | 19 | 95.0 | 6 | 12 | 0 | 1 | 13 | 0.163 | 5.0 | |
| 智頭町 | 3,263 | 450 | 371 | 821 | 25.2 | 18 | 18 | 36 | 4.38 | 32 | 88.9 | 12 | 15 | 3 | 2 | 20 | 0.244 | 5.6 | |
| 湯梨浜町 | 5,964 | 1,645 | 683 | 2,328 | 39.0 | 53 | 59 | 112 | 4.81 | 105 | 93.8 | 58 | 39 | 6 | 2 | 47 | 0.086 | 1.8 | |
| 三朝町 | 2,767 | 1,087 | 91 | 1,178 | 42.6 | 73 | 6 | 79 | 6.71 | 70 | 88.6 | 20 | 45 | 4 | 1 | 50 | 0.085 | 1.3 | |
| 北栄町 | 5,729 | 1,919 | 213 | 2,132 | 37.2 | 56 | 13 | 69 | 3.24 | 58 | 84.1 | 23 | 32 | 3 | 0 | 35 | 0.000 | 0.0 | |
| 琴浦町 | 7,221 | 2,538 | 122 | 2,660 | 36.8 | 63 | 15 | 78 | 2.93 | 64 | 82.1 | 26 | 34 | 2 | 2 | 38 | 0.075 | 2.6 | |
| 南部町 | 4,221 | 950 | 722 | 1,672 | 39.6 | 58 | 117 | 175 | 10.47 | 124 | 70.9 | 62 | 60 | 2 | 0 | 62 | 0.000 | 0.0 | |
| 伯耆町 | 4,533 | 1,538 | 0 | 1,538 | 33.9 | 48 | 0 | 48 | 3.12 | 41 | 85.4 | 27 | 13 | 0 | 1 | 14 | 0.065 | 2.1 | |
| 日吉津村 | 995 | 256 | 0 | 256 | 25.7 | 6 | 0 | 6 | 2.34 | 5 | 83.3 | 1 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0.000 | 0.0 | |
| 大山町 | 7,503 | 1,920 | 0 | 1,920 | 25.6 | 56 | 0 | 56 | 2.92 | 45 | 80.4 | 25 | 17 | 2 | 1 | 20 | 0.052 | 1.8 | |
| 日南町 | 2,966 | 502 | 0 | 502 | 16.9 | 13 | 0 | 13 | 2.59 | 8 | 61.5 | 5 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0.000 | 0.0 | |
| 日野町 | 1,783 | 377 | 0 | 377 | 21.1 | 21 | 0 | 21 | 5.57 | 15 | 71.4 | 3 | 8 | 3 | 1 | 12 | 0.265 | 4.8 | |
| 江府町 | 1,575 | 747 | 0 | 747 | 47.4 | 41 | 0 | 41 | 5.49 | 37 | 90.2 | 25 | 9 | 2 | 1 | 12 | 0.134 | 2.4 | |
| 合計 | 190,556 | 28,622 | 21,754 | 50,376 | 26.4 | 1,051 | 1,409 | 2,460 | 4.88 | 2,201 | 89.5 | 1,034 | 1,074 | 58 | 35 | 1,167 | 0.069 | 1.4 | |
| 東部 | 73,850 | 7,762 | 14,514 | 22,276 | 30.2 | 230 | 675 | 905 | 4.06 | 835 | 92.3 | 373 | 424 | 20 | 18 | 462 | 0.081 | 2.0 | |
| 中部 | 39,381 | 8,877 | 2,332 | 11,209 | 28.5 | 320 | 185 | 505 | 4.51 | 448 | 88.7 | 193 | 229 | 20 | 6 | 255 | 0.054 | 1.2 | |
| 西部 | 77,325 | 11,983 | 4,908 | 16,891 | 21.8 | 501 | 549 | 1,050 | 6.22 | 918 | 87.4 | 468 | 421 | 18 | 11 | 450 | 0.065 | 1.0 | |

(3) 平成24年度肺がん検診発見がん患者の予後調査の確定について

肺がん確定診断（原発性1088、転移性129） 1,217例
 他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、悪性中皮腫1、その他5） 12例

総 計 1,229例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

| | 62年 | 63年 | 平成元年 | 平成2年 | 平成3年 | 平成4年 | 平成5年 | 平成6年 | 平成7年 |
|--------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 原発性肺癌 | 6 | 22 | 18 | 32 | 36 | 37 | 41 | 22 | 38 |
| 転移性肺腫瘍 | 0 | 4 | 4 | 4 | 7 | 9 | 3 | 5 | 5 |
| 合 計 | 6 | 26 | 22 | 36 | 43 | 46 | 44 | 27 | 43 |

| | 平成8年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 |
|--------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原発性肺癌 | 38 | 53 | 40 | 41 | 42 | 30 | 48 | 65 | 50 |
| 転移性肺腫瘍 | 4 | 2 | 7 | 7 | 6 | 7 | 6 | 3 | 2 |
| 合 計 | 42 | 55 | 47 | 48 | 48 | 37 | 54 | 68 | 52 |

| | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原発性肺癌 | 57 | 62 | 48 | 52 | 41 | 65 | 55 | 49 | 1,088 |
| 転移性肺腫瘍 | 5 | 6 | 7 | 3 | 8 | 4 | 6 | 5 | 129 |
| 合 計 | 62 | 68 | 55 | 55 | 49 | 69 | 61 | 54 | 1,217 |

2) 原発性肺がん診断方法

| | | | | 〔H24年度集計〕 | | |
|----------------|-------|------|---------------|-----------|-----|--------------|
| 胸 X 間 接 | Dのみ | 245例 | } 989例(90.9%) | Dのみ | 0例 | } 48例(98.0%) |
| | Eのみ | 744例 | | Eのみ | 48例 | |
| (E1：40例、E2：8例) | | | | | | |
| 細 胞 診 | Dのみ | 19例 | } 53例(4.9%) | Dのみ | 0例 | } 0例(0.0%) |
| | Eのみ | 34例 | | Eのみ | 0例 | |
| 胸X線間接と細胞診 | D + D | 10例 | } 44例(4.0%) | D + D | 0例 | } 1例(2.0%) |
| | D + E | 9例 | | D + E | 1例 | |
| | E + D | 6例 | | E + D | 0例 | |
| | E + E | 19例 | | E + E | 0例 | |
| | 不明 | 2例 | | 2例(0.2%) | 不明 | |
| 計 1,088例 | | | 計 49例 | | | |

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

| 年 | 受診者 (人) | 要精検者 (人) | 精検受診者 (人) | 肺癌発見者 (人) | 発見者 (対人口10万) |
|------|------------|---------------|---------------|--------------|-----------------|
| S 62 | 16,420 | 745(4.54%) | 652(87.5%) | 6 | 37 |
| S 63 | 38,445 | 65(0.17%) | 60(92.3%) | 22 | 57 |
| H 1 | 52,473 | 117(0.22%) | 107(91.5%) | 18 | 34 |
| H 2 | 68,374 | 153(0.22%) | 132(86.3%) | 32 | 49 |
| H 3 | 70,189 | 95(0.14%) | 89(93.7%) | 36 | 51 |
| H 4 | 69,909 | 133(0.19%) | 111(83.5%) | 37 | 53 |
| H 5 | 69,027 | 133(0.19%) | 98(72.9%) | 41 | 59 |
| H 6 | 66,316 | 103(0.16%) | 89(86.4%) | 22 | 33 |
| H 7 | 65,226 | 162(0.25%) | 135(83.3%) | 38 | 58 |
| H 8 | 64,169 | 114(0.18%) | 91(79.8%) | 38 | 59 |
| H 9 | 67,092 | 152(0.23%) | 123(80.9%) | 53 | 79 |
| H10 | 64,540 | 137(0.21%) | 111(81.0%) | 40 | 62 |
| H11 | 64,845 | 169(0.26%) | 142(84.0%) | 41 | 64 |
| H12 | 62,837 | 311(0.49%) | 242(77.8%) | 42 | 67 |
| H13 | 62,631 | 216(0.34%) | 152(70.4%) | 30 | 48 |
| H14 | 63,616 | 343(0.54%) | 271(79.0%) | 48 | 75 |
| H15 | 63,649 | 640(1.01%) | 489(76.4%) | 65 | 102 |
| H16 | 60,113 | 1,791(2.98%) | 1,433(80.0%) | 50 | 83 |
| H17 | 51,020 | 1,659(3.25%) | 1,409(84.9%) | 57 | 112 |
| H18 | 49,296 | 1,780(3.61%) | 1,505(84.6%) | 62 | 126 |
| H19 | 49,806 | 1,940(3.90%) | 1,656(85.4%) | 48 | 96 |
| H20 | 46,015 | 2,041(4.44%) | 1,799(88.1%) | 52 | 113 |
| H21 | 46,247 | 2,122(4.59%) | 1,888(89.0%) | 41 | 89 |
| H22 | 45,482 | 2,004(4.41%) | 1,767(88.2%) | 65 | 142 |
| H23 | 48,513 | 2,467(5.09%) | 2,208(89.5%) | 55 | 113 |
| H24 | 50,376 | 2,460(4.88%) | 2,201(89.5%) | 49 | 97 |
| 計 | 1,476,626 | 22,052(1.49%) | 18,960(86.0%) | 1,088 | 74 |

4) 原発性肺癌 (1,088例)

(1) 年齢・性別

[H24年度集計]

| 区分 | 原発性肺癌 | 比率 (%) |
|--------|-------|--------|
| ～59歳 | 73例 | 6.7 |
| 60～69歳 | 332 | 30.5 |
| 70～79歳 | 500 | 46.0 |
| 80～ | 183 | 16.8 |
| 計 | 1,088 | 100.0 |

平均年齢 = 71.8
男 : 女 = 645例 : 443例

| 区分 | 原発性肺癌 | 比率 (%) |
|--------|-------|--------|
| ～59歳 | 4例 | 8.2 |
| 60～69歳 | 16 | 32.7 |
| 70～79歳 | 24 | 48.9 |
| 80～ | 5 | 10.2 |
| 計 | 49 | 100.0 |

平均年齢 = 69.9
男 : 女 = 26例 : 23例

(2) 原発性肺癌の臨床病期と組織型

a. 病期分類

[H24年度集計]

| 臨床病期 | (%) |
|--------|-----------|
| Occult | 2例 |
| I A | 442(40.6) |
| I B | 173 |
| II A | 36 |
| II B | 65 |
| III A | 142 |
| III B | 71 |
| IV | 129 |
| 不明 | 28 |
| 計 | 1,088 |

| 臨床病期 | (%) |
|--------|----------|
| Occult | 0 |
| I A | 26(53.1) |
| I B | 5 |
| II A | 2 |
| II B | 3 |
| III A | 4 |
| III B | 1 |
| IV | 7 |
| 不明 | 1 |
| 計 | 49 |

} 31
(63.3%)

b. 組織型

〔H24年度集計〕

| 組織型 | (%) |
|--------|-----------|
| 扁平上皮癌 | 258例 |
| 腺癌 | 653(59.9) |
| 大細胞癌 | 15 |
| 小細胞癌 | 63 |
| 腺扁平上皮癌 | 11 |
| 腺様嚢胞癌 | 1 |
| 不明 | 89 |
| 計 | 1,090* |

| 組織型 | (%) |
|--------|----------|
| 扁平上皮癌 | 7例 |
| 腺癌 | 34(69.4) |
| 大細胞癌 | 0 |
| 小細胞癌 | 3 |
| 腺扁平上皮癌 | 1 |
| 腺様嚢胞癌 | 0 |
| 不明 | 4 |
| 計 | 49 |

* 2例：扁平上皮癌と腺癌、腺癌と大細胞癌の同時多発癌を含む

(3) 原発性肺癌の手術症例

〔H24年度集計〕

(670例、手術率：61.6%)

原発性肺癌の手術症例

a. 臨床病期、術後病期

(34例、手術率：69.4%)

| 臨床病期 (%) | | 術後病期 (%) | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| Occult | 2例 | Occult | 2例 |
| I A | 382(57.0) | I A | 336(50.1) |
| I B | 137 | I B | 152 |
| II A | 21 | II A | 25 |
| II B | 39 | II B | 43 |
| III A | 68 | III A | 72 |
| III B | 14 | III B | 23 |
| IV | 7 | IV | 17 |
| 計 | 670 | 計 | 670 |

| 臨床病期 (%) | | 術後病期 (%) | |
|----------|----------|----------|----------|
| Occult | 0例 | Occult | 0例 |
| I A | 24(70.6) | I A | 23(67.6) |
| I B | 5 | I B | 5 |
| II A | 1 | II A | 1 |
| II B | 3 | II B | 2 |
| III A | 1 | III A | 3 |
| III B | 0 | III B | 0 |
| IV | 0 | IV | 0 |
| 計 | 34 | 計 | 34 |

} 28
(82.4%)

b. 組織型分類

〔24年度集計〕

| 組織型 | (%) |
|--------|-----------|
| 扁平上皮癌 | 142例 |
| 腺癌 | 482(71.9) |
| 大細胞癌 | 12 |
| 小細胞癌 | 7 |
| 腺扁平上皮癌 | 12 |
| 腺様嚢胞癌 | 1 |
| 不明 | 14 |
| 計 | 670 |

| 組織型 | (%) |
|--------|----------|
| 扁平上皮癌 | 4例 |
| 腺癌 | 27(79.4) |
| 大細胞癌 | 0 |
| 小細胞癌 | 0 |
| 腺扁平上皮癌 | 1 |
| 腺様嚢胞癌 | 0 |
| 不明 | 2 |
| 計 | 34 |

(4) 腫瘍径

| 腫瘍径 (mm) | H10年度 (%) | H11年度 (%) | H12年度 (%) | H13年度 (%) | H14年度 (%) | H15年度 (%) | H16年度 (%) | H17年度 (%) | H18年度 (%) | H19年度 (%) |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 0～10 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 4 | 2 | 4 |
| 11～20 | 9 (22.5) | 10 | 15(35.7) | 11(36.7) | 17(35.4) | 11 | 17(34.7) | 11 | 26(41.9) | 14(31.8) |
| 21～30 | 6 | 15(36.6) | 7 | 6 | 13 | 13 | 10 | 16(28.6) | 15 | 18 |
| 31～40 | 6 | 9 | 8 | 9 | 8 | 17(26.2) | 12 | 11 | 10 | 5 |
| 41～50 | 7 | 1 | 3 | 1 | 3 | 8 | 4 | 4 | 2 | 3 |
| 51～ | 7 | 2 | 6 | 3 | 3 | 13 | 5 | 6 | 4 | 1 |
| 不明 | 4 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 5 | 3 | 3 |
| 計 | 40 | 41 | 42 | 30 | 48 | 65 | 50 | 57 | 62 | 48 |
| 平均 | 37.1mm | 27.9mm | 32.2mm | 33.5mm | 28.8mm | 38.7mm | 29.6mm | 30.6mm | 26.0mm | 24.6mm |
| | 最高90mm | 70mm | 80mm | 100mm | 85mm | 145mm | 70mm | 85mm | 59mm | 57mm |

| 腫瘍径 (mm) | H20年度 (%) | H21年度 (%) | H22年度 (%) | H23年度 (%) | H24年度 (%) |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 0～10 | 3 | 2 | 2 | 1 | 4 |
| 11～20 | 21(40.4) | 10 | 13 | 16(29.1) | 14(28.6) |
| 21～30 | 6 | 13(31.7) | 26(40) | 16(29.1) | 13 |
| 31～40 | 14 | 8 | 15 | 6 | 8 |
| 41～50 | 5 | 6 | 6 | 4 | 6 |
| 51～ | 1 | 2 | 2 | 11 | 2 |
| 不明 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 計 | 52 | 41 | 65 | 55 | 49 |
| 平均 | 26.1mm | 25.9mm | 29.4mm | 33.2mm | 28.4 |
| | 最高71mm | 68mm | 80mm | 90mm | 100mm |

5) 転移性肺腫瘍 (129例)

大腸癌：30例 甲状腺癌：10例 腎臓癌：11例 乳癌：13例 前立腺癌：12例
 肝臓癌：9例 胃癌：5例 尿管癌：4例 胆管癌：4例 膵臓癌：4例
 子宮癌：3例 胆のう癌：3例 肺癌：2例 食道癌：2例 卵巣癌：2例
 膀胱癌：2例 子宮肉腫：1例 胸腺癌：1例 肛門癌：1例 顎下腺：1例
 咽頭癌：1例 後腹膜腫瘍：1例 不明：7例

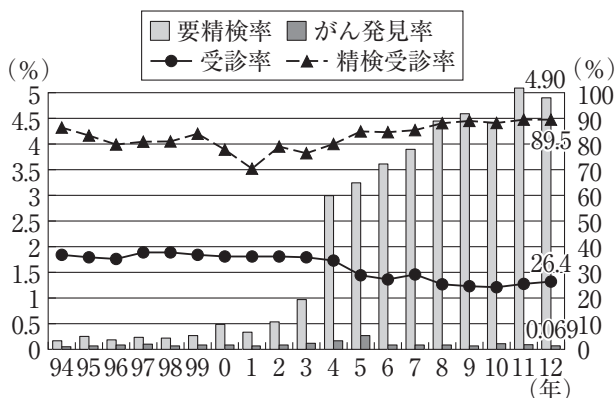
平成24年度集計 (5例)

肝臓癌：2例 膵臓癌：2例 膀胱癌：1例

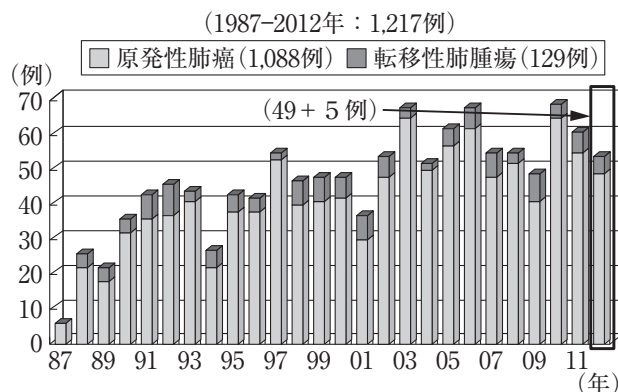
6) 平成24年度原発性肺がん確定者の施設検診と車検診の比較

| | 施設検診 | 車検診 |
|------|---|--|
| 受診者数 | 21,754 | 28,622 |
| 要精検数 | 1,409 (6.5%) 東部: 675 (4.7%) 中部: 185 (7.9%) 西部: 549 (11.2%) | 1,051 (3.7%) 東部: 230 (3.0%) 中部: 320 (3.6%) 西部: 501 (4.2%) |
| 確定者数 | 23名 (0.106%) (東部14、中部3、西部6) | 26名 (0.091%) (東部9、中部8、西部9) |
| 発見方法 | E1判定 18名 E2判定 4名 喀痰E判定 1名 | E1判定 22名 E2判定 4名 |
| 年齢 | 70.2歳 | 69.7歳 |
| 性差 | 男13名、女10名 | 男13名、女13名 |
| 臨床病期 | I A 14名、I B 1名 II A 0名、II B 0名 III A 2名、III B 1名 IV 5名 | I A 12名、I B 4名 II A 2名、II B 3名 III A 2名、III B 0名 IV 2名、不明1名 |
| 組織型 | 扁平上皮3名、腺癌16名 大細胞癌0名、小細胞癌2名、 不明2名 | 扁平上皮癌4名、腺癌18名 腺扁平上皮癌1名、大細胞癌0名、 小細胞癌1名、不明2名 |
| 手術 | あり13名、なし10名 | あり21名、なし5名 |
| 腫瘍径 | 29.0mm | 27.8mm |

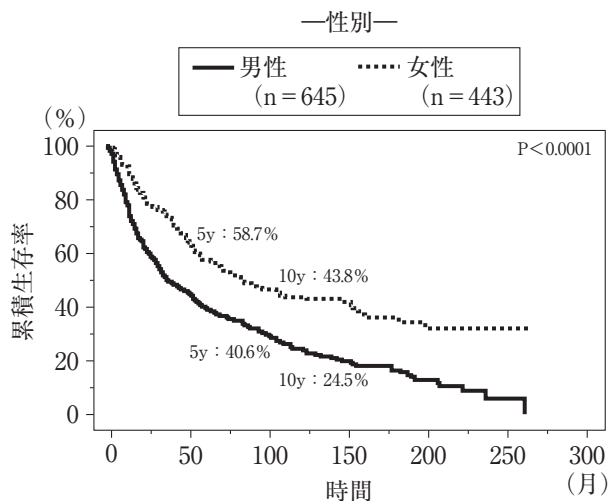
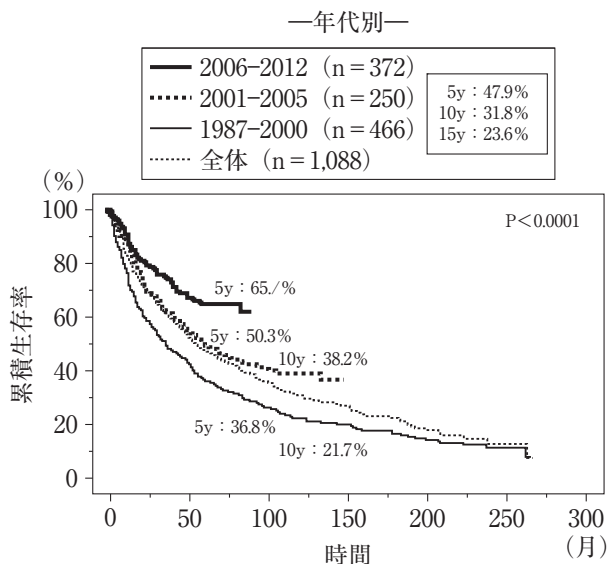
7) 肺癌検診の受診率・精検率・がん発見率の推移



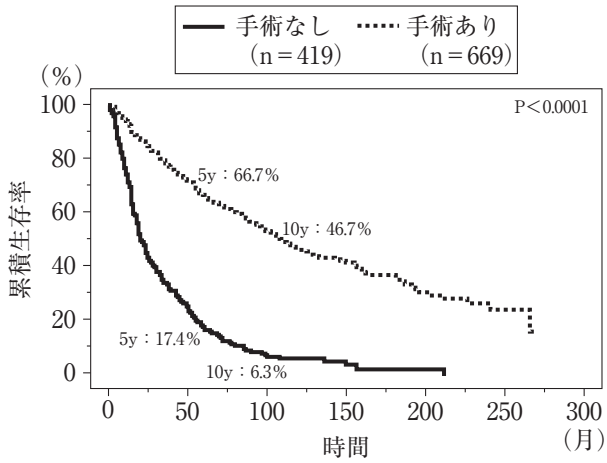
8) 検診で発見された肺癌の推移



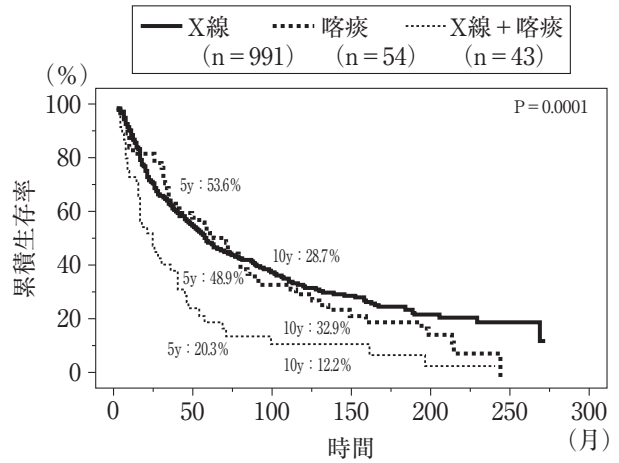
9) 検診発見肺癌の予後



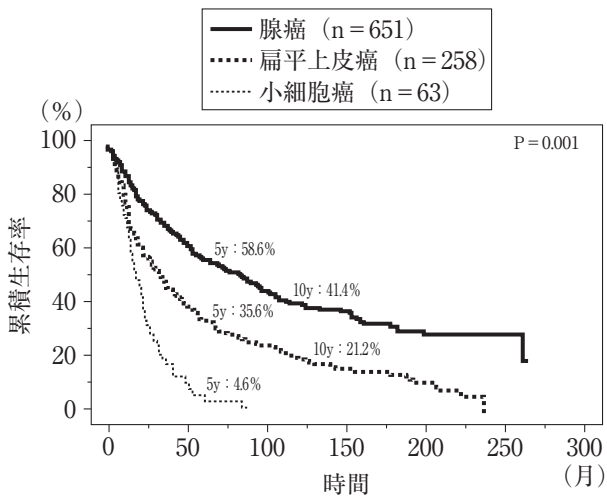
—手術の有無別—



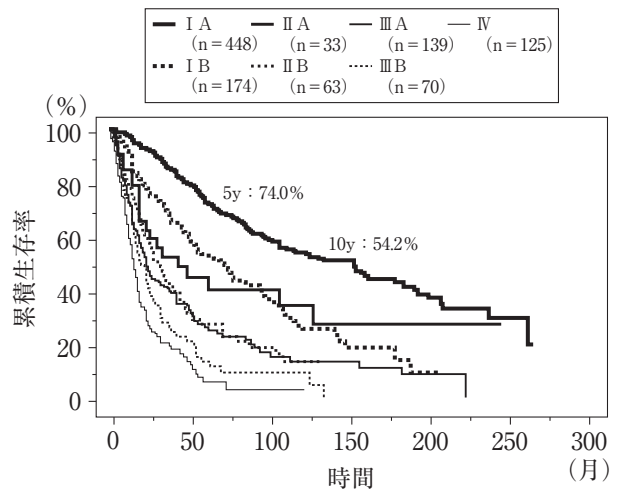
—発見方法別—



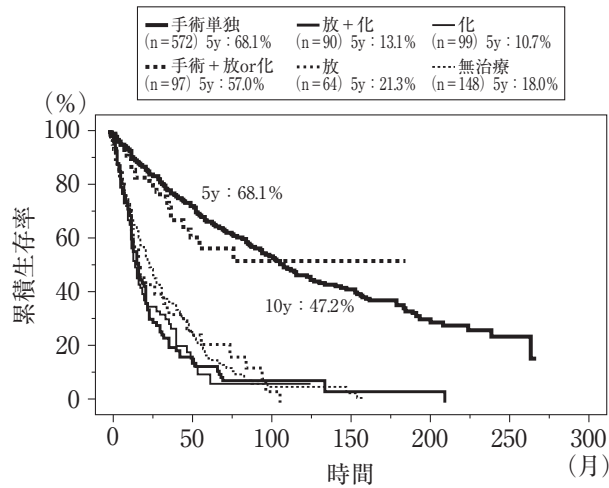
—組織型別—



—臨床病期別—



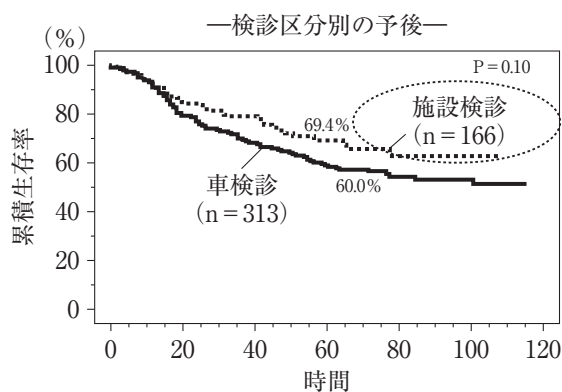
—治療法別—



10) 原発性肺がん確定者の施設検診と車検診の比較 (平成16年度～平成24年度)

| | 車 検 診 | 施 設 検 診 | P 値 |
|-------|--|---|--------|
| 症 例 数 | 313 | 166 | |
| 年 齢 | 72.9(52-92)歳 | 71.5(42-87)歳 | 0.089 |
| 性 差 | 男性；183；女性；130 | 男性；71；女性；95 | 0.0015 |
| 組 織 型 | 腺癌；219, 扁平上皮癌；47, 小細胞癌；15, その他；32 | 腺癌；122, 扁平上皮癌；14, 小細胞癌；10, その他；20 | 0.21 |
| 腫 瘍 径 | 29.2(5-85)mm | 27.9(3-100)mm | 0.47 |
| 臨床病期 | IA；142, IB；49, IIA；10, IIB；14, IIIA；36, IIIB；25, IV；34, 不明；3 | IA；88, IB；28, IIA；4, IIB；6, IIIA13, IIIB；6, IV；20, 不明；1 | 0.45 |
| 手術有無 | あり；209, なし；104 | あり；117, なし；48, 不明；1 | 0.25 |

11) 原発性肺がん確定者の施設検診と車検診の比較 (平成16年度～平成24年度)



4. 乳 が ん 検 診

1. 乳がん検診実績

平成24年度の対象者数（40歳以上のうち職場等で受診機会のない者として市町村が把握している人数）は118,248人で、受診者数は17,818人、受診率15.1%で前年度より0.3ポイント減少した。2年合わせた平成24年度の最終受診率は28.1%であった。

要精検者数1,314人、要精検率7.37%で前年度より0.12ポイント減少した。精検受診者数1,211人、精検受診率は92.2%で、前年度より1.4ポイント減少した。

精検の結果、乳がん78人、がん発見率（がん/受診者数）0.44%、陽性反応適中度（がん/要精検者数）5.94%であった。がん疑いは1人発見された。平成23年度に比べ、がん発見率は0.04ポイント、陽性反応適中度は0.65ポイント増加した。

国の目標値は検診受診率を50%に設定しており、この数値には到達しないものの、鳥取県の実績は、国の定めた要精検率の許容値11.0%以下、精検受診率90%以上、検診発見がん率0.23%以上、陽性反応適中度2.4%以上を凌駕するものであった。

検診機関別に見てみると、受診者数は車検診約4割、施設検診が約6割で、要精検率は車検診5.76%、施設検診8.79%で施設検診が高い傾向である。圏域別の要精検率は東部6.82%、中部8.57%、西部7.29%と中部が高い傾向である。がん発見率は東部0.34%、中部0.50%、西部0.51%で、中西部が高い傾向であった。また、陽性反応適中度は東部5.0%、中部5.8%、西部7.0%であったが、問題となる差ではなかった。平成17年度より始まったマンモグラフィ検診の精度管理も安定してきたものと思われる。

視触診検診のみ受診者数は15人で、そのうち要精検者数1人であった。

〈検診機関別結果〉

(1) 一次検診

| 区 分 | 受診者数（率） | 要精検者数 | | （参考） | | 要精検率（%） | | （参考） | |
|--------------------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|------|------|
| | | マンモ併用 | 視触診のみ | マンモのみ | マンモ併用 | 視触診のみ | マンモのみ | | |
| 車 検 診 (医師雇上、保健事業団、中国労働衛生協会) | 8,332 (46.8%) | 480 | 480 | 0 | 0 | 5.76 | 5.76 | 0.00 | 0.00 |
| 施 設 検 診 (病院、診療所) | 9,486 (53.2%) | 834 | 834 | 1 | 0 | 8.79 | 8.79 | 6.67 | 0.00 |
| 計 | 17,818 (100%) | 1,314 | 1,314 | 1 | 0 | 7.37 | 7.37 | 6.67 | 0.00 |

(2) 精密検査

| 区 分 | 精 検 受診者数 | 精 検 受診率 (%) | が ん | | （参考） | | がん発見率(%) | | （参考） | |
|---------|-------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|------|------|
| | | | マンモ併用 | 視触診のみ | マンモのみ | マンモ併用 | 視触診のみ | マンモのみ | | |
| 車 検 診 | 444 | 92.5 | 26 | 26 | 0 | 0 | 0.31 | 0.31 | 0.00 | 0.00 |
| 施 設 検 診 | 767 | 92.0 | 52 | 52 | 0 | 0 | 0.55 | 0.55 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 1,211 | 92.2 | 78 | 78 | 0 | 0 | 0.44 | 0.44 | 0.00 | 0.00 |

〈圏域別結果〉

(1) 視触診・マンモグラフィ併用

| 区 分 | 対象者数 | 受診者数 | 受診率 (%) | 要精検 者 数 | 要精検率 (%) | 精 検 受診者数 | 精検受診率 (%) | が ん | がん発見率 (%) |
|-----|---------|--------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-----|--------------|
| 東 部 | 45,833 | 7,100 | 15.49 | 484 | 6.82 | 444 | 91.7 | 24 | 0.34 |
| 中 部 | 23,902 | 3,816 | 15.97 | 327 | 8.57 | 300 | 91.7 | 19 | 0.50 |
| 西 部 | 48,513 | 6,902 | 14.23 | 503 | 7.29 | 467 | 92.8 | 35 | 0.51 |
| 計 | 118,248 | 17,818 | 15.07 | 1,314 | 7.37 | 1,211 | 92.2 | 78 | 0.44 |

(2) 視触診のみ (参考)

| 区 分 | 対象者数 | 受診者数 | 受診率 (%) | 要精検 者 数 | 要精検率 (%) | 精 検 受診者数 | 精検受診率 (%) | が ん | がん発見率 (%) |
|-----|---------|------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-----|--------------|
| 東 部 | 45,833 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 中 部 | 23,902 | 9 | 0.04 | 1 | 11.11 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 西 部 | 48,513 | 6 | 0.01 | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 計 | 118,248 | 15 | 0.01 | 1 | 6.67 | 0 | 0.0 | 0 | 0.00 |

2. 乳がん検診発見乳がん確定調査結果

平成24年度に発見された乳がんまたは乳がん疑い79例について確定調査を行った結果、確定乳癌73例（両側2例）、良性・経過観察2例、その他1例、調査中3例であった。

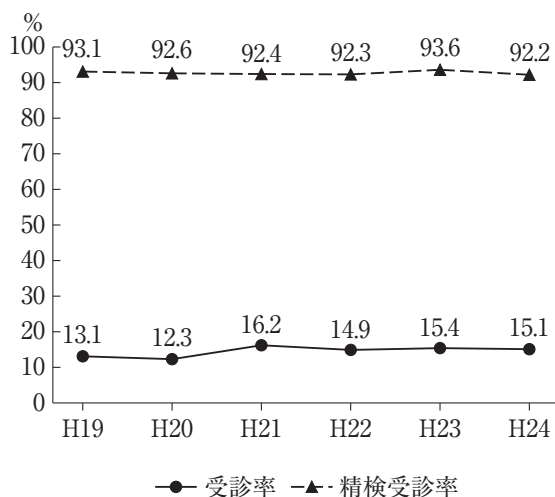
- (1) 平均年齢60.6歳。40歳代の増加が認められた。MMGでの発見は34例で、50歳以上はMMGでの発見率が高い。
- (2) MMGで所見なしで触診で発見されたものが8例あり、そのうち4例は40歳代であった。
- (3) 2年以内の繰り返し検診は早期癌が90%以上あり、非浸潤癌が30%であった。繰り返し検診が早期発見に繋がったものと思われる。
- (4) 術式、リンパ節郭清については触知乳癌とMMG発見乳癌で差はなかった。
- (5) 検診発見癌の90%以上が内分泌療法を受けており、化学療法は昨年に比べ減少していた。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

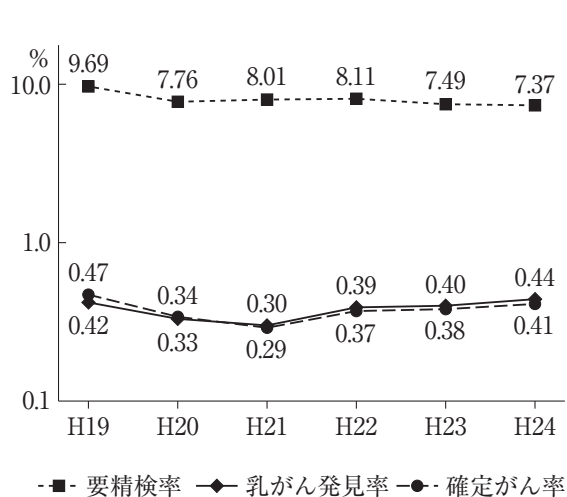
| 区分 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|--------|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一次検診 | 対象者数(人) A | 108,292 | 118,676 | 118,676 | 118,676 | 118,248 | 118,248 |
| | 受診者数(人) B | 14,134 | 14,624 | 19,278 | 17,726 | 18,194 | 17,818 |
| | 受診率(%) C = B/A | 13.1 | 12.3 | 16.2 | 14.9 | 15.4 | 15.1 |
| 一次検診結果 | 異常認めず(人) D | 12,765 | 13,489 | 17,734 | 16,288 | 16,832 | 16,504 |
| | 要精検者数(人) E | 1,369 | 1,135 | 1,544 | 1,438 | 1,362 | 1,314 |
| | 要精検率(%) F = E/B 指標 11.0%以下 | 9.69 | 7.76 | 8.01 | 8.11 | 7.49 | 7.37 |
| 精密検査 | 精検受診者数(人) G | 1,275 | 1,051 | 1,427 | 1,327 | 1,275 | 1,211 |
| | 精検受診率(%) H = G/E | 93.1 | 92.6 | 92.4 | 92.3 | 93.6 | 92.2 |
| 精密検査結果 | 乳がんの者(人) I | 59(8) | 48(4) | 57(1) | 70(2) | 72(3) | 78(1) |
| | 乳がん発見率(%) J = I/B 指標 0.23%以上 | 0.42 | 0.33 | 0.30 | 0.39 | 0.40 | 0.44 |
| | 陽性反応適中度(%) K = I/E 指標 2.4%以上 | 4.31 | 4.23 | 3.69 | 4.87 | 5.29 | 5.94 |
| 確定調査結果 | 確定がん数(人) L | 67 | 49(52) | 56 | 65 | 69(70) | 73 |
| | 確定がん率(%) M = L/B | 0.47 | 0.34 | 0.29 | 0.37 | 0.38 | 0.41 |

- * 1 精密検査結果欄の()内の数値はがん疑いの者の数を外数で計上
- * 2 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上
- * 3 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者数を分母として算出
- * 4 平成19年度報告より、視触診のみの受診者数を除く受診結果を計上
- * 5 確定がん数は、検診により発見された「がん」又は「がん疑い」の者を調査により計上。平成20年度報告より、視・マンモ併用検診で発見された数、()内の数値は視触診のみで発見された数を含んだ数。

受診率・精検受診率の推移



要精検率・乳がん発見率・確定がん率の推移



(2) 平成24年度乳がん検診（視触診及びマンモグラフィ併用）

1) 一次検診結果（年齢階級別）

| 年齢 | 対象者数(人) a | 一次検診受診者数 b | 受診率(%) c = b/a | 一次検診結果 | | 要精検率(%) e = d/b | 視触診のみ要精検 | | マンモグラフィのみ要精検 | | 視触診・マンモとも要精検 | |
|--------|--------------|---------------|-------------------|------------|--------|--------------------|------------|--------------------|--------------|--------------------|--------------|--------------------|
| | | | | 要精検者数 d | 異常認めず | | 要精検者数 f | 要精検率(%) g = f/b | 要精検者数 h | 要精検率(%) I = h/b | 要精検者数 j | 要精検率(%) k = j/b |
| 40~44歳 | 4,048 | 2,094 | 51.7 | 230 | 1,864 | 10.98 | 71 | 3.39 | 138 | 6.59 | 21 | 1.00 |
| 45~49歳 | 3,853 | 1,541 | 40.0 | 183 | 1,358 | 11.88 | 31 | 2.01 | 127 | 8.24 | 25 | 1.62 |
| 50~54歳 | 4,974 | 2,092 | 42.1 | 193 | 1,899 | 9.23 | 34 | 1.63 | 141 | 6.74 | 18 | 0.86 |
| 55~59歳 | 8,189 | 2,004 | 24.5 | 132 | 1,872 | 6.59 | 26 | 1.30 | 93 | 4.64 | 13 | 0.65 |
| 60~64歳 | 13,797 | 3,615 | 26.2 | 216 | 3,399 | 5.98 | 38 | 1.05 | 164 | 4.54 | 14 | 0.39 |
| 65~69歳 | 14,574 | 2,465 | 16.9 | 143 | 2,322 | 5.80 | 32 | 1.30 | 103 | 4.18 | 8 | 0.32 |
| 70~74歳 | 16,049 | 2,228 | 13.9 | 132 | 2,096 | 5.92 | 26 | 1.17 | 97 | 4.35 | 9 | 0.40 |
| 75~79歳 | 17,458 | 1,208 | 6.9 | 58 | 1,150 | 4.80 | 9 | 0.75 | 43 | 3.56 | 6 | 0.50 |
| 80歳以上 | 35,306 | 571 | 1.6 | 27 | 544 | 4.73 | 6 | 1.05 | 19 | 3.33 | 2 | 0.35 |
| 計 | 118,248 | 17,818 | 15.1 | 1,314 | 16,504 | 7.37 | 273 | 1.53 | 925 | 5.19 | 116 | 0.65 |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 精密検査受診者数 (人) l | 精検受診率 (%) m = l / d | 精密検査結果 | | | | 乳がん 発見率(%) o = n / b | 陽性反応 適中度(%) p = n / d |
|--------|----------------------|---------------------------|--------|--------|-------|----------|----------------------------|-----------------------------|
| | | | 異常認めず | その他の疾病 | 乳がん疑い | 乳がん n | | |
| 40～44歳 | 201 | 87.4 | 102 | 89 | 0 | 10 | 0.48 | 4.35 |
| 45～49歳 | 169 | 92.3 | 77 | 82 | 0 | 10 | 0.65 | 5.46 |
| 50～54歳 | 181 | 93.8 | 84 | 89 | 0 | 8 | 0.38 | 4.15 |
| 55～59歳 | 119 | 90.2 | 65 | 50 | 0 | 4 | 0.20 | 3.03 |
| 60～64歳 | 202 | 93.5 | 123 | 63 | 1 | 15 | 0.41 | 6.94 |
| 65～69歳 | 140 | 97.9 | 103 | 27 | 0 | 10 | 0.41 | 6.99 |
| 70～74歳 | 119 | 90.2 | 64 | 43 | 0 | 12 | 0.54 | 9.09 |
| 75～79歳 | 57 | 98.3 | 36 | 15 | 0 | 6 | 0.50 | 10.34 |
| 80歳以上 | 23 | 85.2 | 16 | 4 | 0 | 3 | 0.53 | 11.11 |
| 計 | 1,211 | 92.2 | 670 | 462 | 1 | 78 | 0.44 | 5.94 |

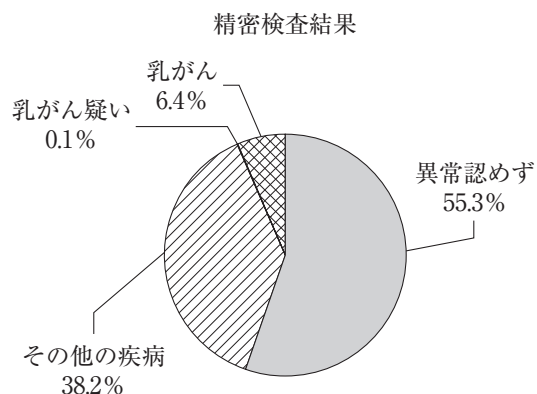
3) 検診機関別

a. 一次検診結果

| 一次検診機関 | 一次検診受診者数 (人) a' | 一次検診結果 | | | 視触診のみ要精検 | | マンモグラフィのみ要精検 | | 視触診・マンモとも要精検 | |
|--------|-----------------------|-------------|-----------------------|-------------|-------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------|
| | | 要精検者数 b' | 異常認めず c' = b' / a' | 要精検率 (%) | 要精検者数 d' | 要精検率 (%) e' = d' / a' | 要精検者数 f' | 要精検率 (%) g' = f' / a' | 要精検者数 h' | 要精検率 (%) i' = h' / a' |
| 保健事業団 | 8,307 | 479 | 7,828 | 5.77 | 88 | 1.06 | 365 | 4.39 | 26 | 0.31 |
| 病 院 | 7,498 | 676 | 6,822 | 9.02 | 162 | 2.16 | 451 | 6.01 | 63 | 0.84 |
| 診 療 所 | 1,988 | 158 | 1,830 | 7.95 | 23 | 1.16 | 108 | 5.43 | 27 | 1.36 |
| そ の 他 | 25 | 1 | 24 | 4.00 | 0 | 0.00 | 1 | 4.00 | 0 | 0.00 |
| 計 | 17,818 | 1,314 | 16,504 | 7.37 | 273 | 1.53 | 925 | 5.19 | 116 | 0.65 |

b. 精密検査結果

| 一次検診機関 | 精密検査受診者数 (人) j' | 精検受診率 (%) k' = j' / b' | 精密検査結果 | | | | 乳がん 発見率(%) m' = l' / a' | 陽性反応 適中度(%) n' = l' / b' |
|--------|-----------------------|------------------------------|--------|--------|-------|-----------|-------------------------------|--------------------------------|
| | | | 異常認めず | その他の疾病 | 乳がん疑い | 乳がん l' | | |
| 保健事業団 | 443 | 92.5 | 250 | 167 | 0 | 26 | 0.31 | 5.43 |
| 病 院 | 617 | 91.3 | 334 | 241 | 1 | 41 | 0.55 | 6.07 |
| 診 療 所 | 150 | 94.9 | 86 | 53 | 0 | 11 | 0.55 | 6.96 |
| そ の 他 | 1 | 100.0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 1,211 | 92.2 | 670 | 462 | 1 | 78 | 0.44 | 5.94 |



4) 平成24年度乳がん検診受診状況(視触診及びマンモグラフィ併用)

| 市町村名 | 受診者数 | | | | 要精検者数 | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | | | | |
|------|-----------|----------|-----------|------------|---------------------|----------|-----------|------------|----------------------|----------------|-----------------------|--------------------|-----------------|-----------|-------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
| | 対象者数 A | 車検診 B | 施設検診 C | 計 D=B+C | 受診率 (%) E=D/A | 車検診 F | 施設検診 G | 計 H=F+G | 要精検率 (%) I=H/D | 精 受診者数 J | 精検受診 率(%) K=J/H | 異 常 認めず L | その他 の疾病 M | がん疑い N | が ん O | 有 見 者 P=M+N+O | がん発見 率(%) Q=O/D | 陽性反応 適中度(%) R=O/H |
| 鳥取市 | 35,982 | 2,078 | 3,079 | 5,157 | 14.3 | 144 | 229 | 373 | 7.23 | 339 | 90.9 | 183 | 142 | 0 | 14 | 156 | 0.27 | 3.8 |
| 米子市 | 27,227 | 745 | 3,064 | 3,809 | 14.0 | 23 | 269 | 292 | 7.67 | 279 | 95.5 | 136 | 123 | 0 | 20 | 143 | 0.53 | 6.8 |
| 倉吉市 | 10,891 | 657 | 541 | 1,198 | 11.0 | 57 | 72 | 129 | 10.77 | 116 | 89.9 | 80 | 29 | 0 | 7 | 36 | 0.58 | 5.4 |
| 境港市 | 6,968 | 299 | 498 | 797 | 11.4 | 13 | 54 | 67 | 8.41 | 59 | 88.1 | 29 | 25 | 0 | 5 | 30 | 0.63 | 7.5 |
| 岩美町 | 2,913 | 116 | 439 | 555 | 19.1 | 7 | 21 | 28 | 5.05 | 25 | 89.3 | 18 | 3 | 1 | 3 | 7 | 0.54 | 10.7 |
| 八頭町 | 3,918 | 734 | 127 | 861 | 22.0 | 40 | 9 | 49 | 5.69 | 48 | 98.0 | 28 | 17 | 0 | 3 | 20 | 0.35 | 6.1 |
| 若桜町 | 1,071 | 211 | 36 | 247 | 23.1 | 10 | 5 | 15 | 6.07 | 14 | 93.3 | 6 | 6 | 0 | 2 | 8 | 0.81 | 13.3 |
| 智頭町 | 1,949 | 57 | 223 | 280 | 14.4 | 8 | 11 | 19 | 6.79 | 18 | 94.7 | 10 | 6 | 0 | 2 | 8 | 0.71 | 10.5 |
| 湯梨浜町 | 3,566 | 481 | 165 | 646 | 18.1 | 32 | 22 | 54 | 8.36 | 49 | 90.7 | 24 | 21 | 0 | 4 | 25 | 0.62 | 7.4 |
| 三朝町 | 1,666 | 290 | 30 | 320 | 19.2 | 14 | 3 | 17 | 5.31 | 17 | 100.0 | 14 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0.63 | 11.8 |
| 北栄町 | 3,404 | 619 | 94 | 713 | 20.9 | 34 | 13 | 47 | 6.59 | 45 | 95.7 | 25 | 16 | 0 | 4 | 20 | 0.56 | 8.5 |
| 琴浦町 | 4,375 | 713 | 226 | 939 | 21.5 | 58 | 22 | 80 | 8.52 | 73 | 91.3 | 38 | 33 | 0 | 2 | 35 | 0.21 | 2.5 |
| 南部町 | 2,567 | 238 | 282 | 520 | 20.3 | 6 | 33 | 39 | 7.50 | 35 | 89.7 | 24 | 10 | 0 | 1 | 11 | 0.19 | 2.6 |
| 伯耆町 | 2,798 | 297 | 166 | 463 | 16.5 | 9 | 13 | 22 | 4.75 | 19 | 86.4 | 7 | 11 | 0 | 1 | 12 | 0.22 | 4.5 |
| 日吉津村 | 633 | 101 | 72 | 173 | 27.3 | 0 | 5 | 5 | 2.89 | 5 | 100.0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00 | 0.0 |
| 大山町 | 4,483 | 297 | 252 | 549 | 12.2 | 11 | 22 | 33 | 6.01 | 29 | 87.9 | 16 | 8 | 0 | 5 | 13 | 0.91 | 15.2 |
| 日南町 | 1,773 | 216 | 12 | 228 | 12.9 | 6 | 6 | 12 | 5.26 | 11 | 91.7 | 9 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0.00 | 0.0 |
| 日野町 | 1,096 | 183 | 0 | 183 | 16.7 | 8 | 0 | 8 | 4.37 | 7 | 87.5 | 5 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0.00 | 0.0 |
| 江府町 | 968 | 0 | 180 | 180 | 18.6 | 0 | 25 | 25 | 13.89 | 23 | 92.0 | 13 | 7 | 0 | 3 | 10 | 1.67 | 12.0 |
| 合計 | 118,248 | 8,332 | 9,486 | 17,818 | 15.1 | 480 | 834 | 1,314 | 7.37 | 1,211 | 92.2 | 670 | 462 | 1 | 78 | 541 | 0.44 | 5.9 |
| 東部 | 45,833 | 3,196 | 3,904 | 7,100 | 15.5 | 209 | 275 | 484 | 6.82 | 444 | 91.7 | 245 | 174 | 1 | 24 | 199 | 0.34 | 5.0 |
| 中部 | 23,902 | 2,760 | 1,056 | 3,816 | 16.0 | 195 | 132 | 327 | 8.57 | 300 | 91.7 | 181 | 100 | 0 | 19 | 119 | 0.50 | 5.8 |
| 西部 | 48,513 | 2,376 | 4,526 | 6,902 | 14.2 | 76 | 427 | 503 | 7.29 | 467 | 92.8 | 244 | 188 | 0 | 35 | 223 | 0.51 | 7.0 |

【参考】

平成24年度乳がん検診（視触診のみ）

1) 一次検診結果（年齢階級別）

| 年 齢 | 一 次 検 診 受診者数（人） | 一 次 検 診 結 果 | | 要 精 検 率 （%） |
|-----------|--------------------|-------------|-----------|----------------|
| | | 要 精 検 者 数 | 異 常 認 め ず | |
| 40 ～ 44 歳 | 3 | 0 | 3 | 0.00 |
| 45 ～ 49 歳 | 2 | 0 | 2 | 0.00 |
| 50 ～ 54 歳 | 1 | 0 | 1 | 0.00 |
| 55 ～ 59 歳 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 60 ～ 64 歳 | 2 | 0 | 2 | 0.00 |
| 65 ～ 69 歳 | 1 | 0 | 1 | 0.00 |
| 70 ～ 74 歳 | 2 | 1 | 1 | 50.00 |
| 75 ～ 79 歳 | 3 | 0 | 3 | 0.00 |
| 80 歳 以 上 | 1 | 0 | 1 | 0.00 |
| 計 | 15 | ※1 | 14 | 6.67 |

※要精検者1名は精検未受診。

2) 検診機関別

a. 一次検診結果

| 検診機関 | 一 次 検 診 受診者数（人） | 一 次 検 診 結 果 | | 要 精 検 率 （%） |
|-------|--------------------|-------------|-----------|----------------|
| | | 要 精 検 者 数 | 異 常 認 め ず | |
| 保健事業団 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 病 院 | 3 | 1 | 2 | 33.33 |
| 診 療 所 | 12 | 0 | 12 | 0.00 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0.00 |
| 計 | 15 | ※1 | 14 | 6.67 |

※要精検者1名は精検未受診。

(3) 平成24年度検診発見乳がん追跡調査結果

1) 登録届け出数 79

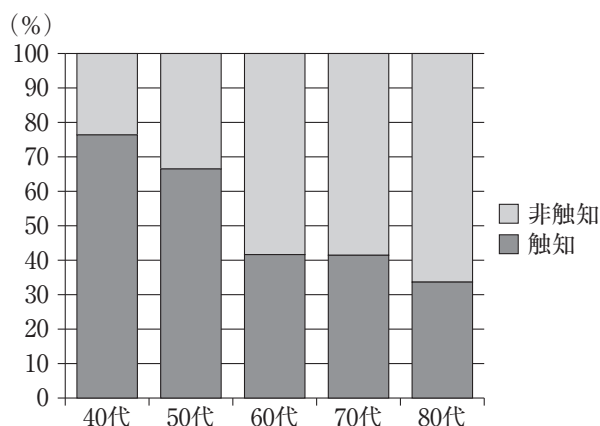
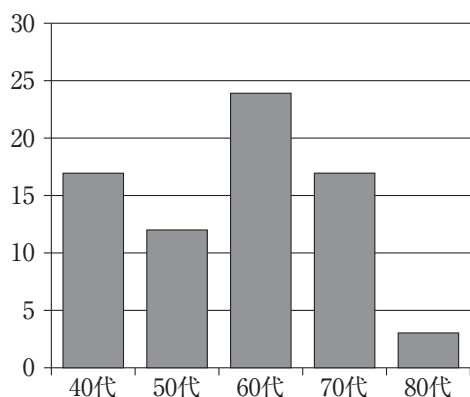
確定乳癌 73 (両側 2例)

調査中 3、良性・経過観察 2、その他 1

鳥取市13、米子市18、倉吉市 7、境港市 3

大山町 5、北栄町 4、湯梨浜町 4、八頭町 3、岩美町 3、江府町 3、若桜町 2、智頭町 2、
琴浦町 2、南部町 1、三朝町 2、伯耆町 1、

2) 年齢構成 平均年齢 60.6歳

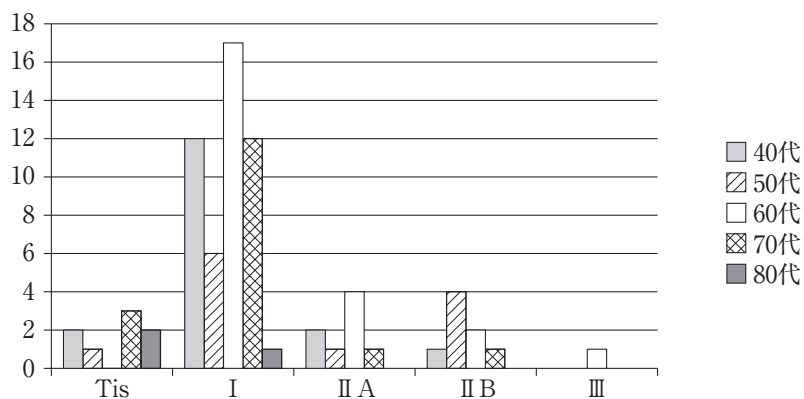


一次検診医の診断

要精検 39 (MMGで所見無し 8例)

異常なし (=MMG発見) 34

3) 病期分類

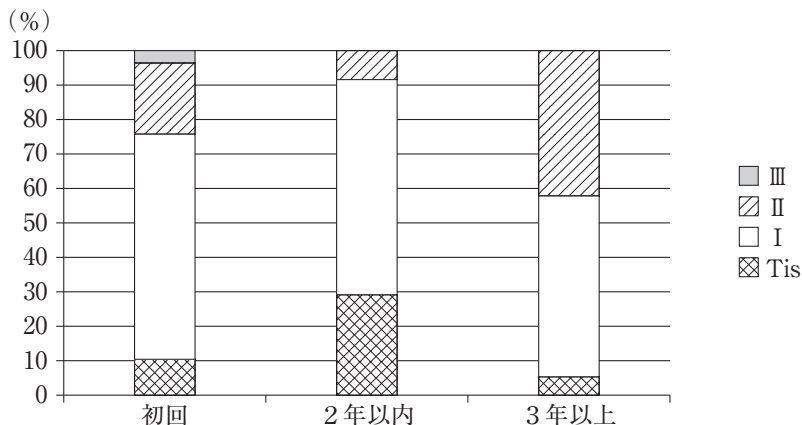


4) 組織型

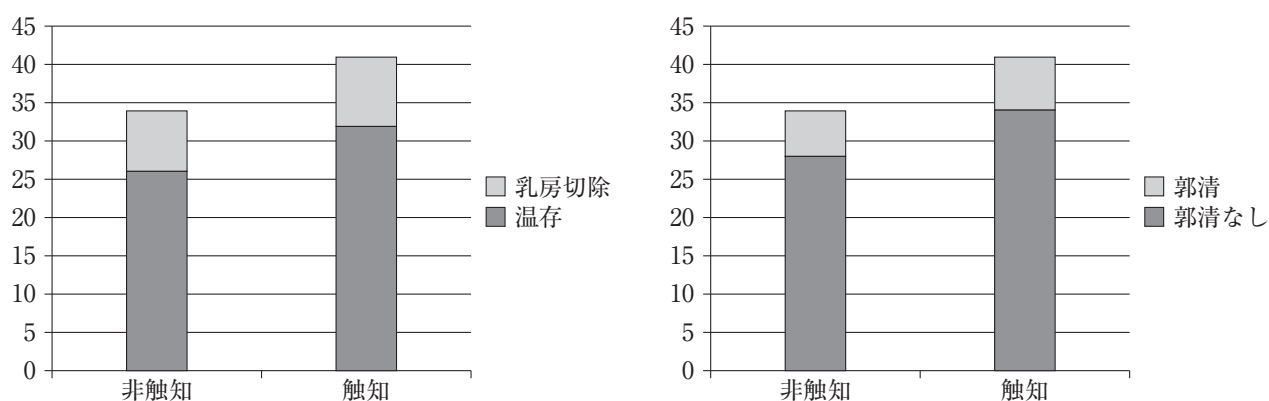
非浸潤癌 13、

浸潤癌62 (小葉癌 3、粘液癌 1)

5) 検診歴と病期



6) 手術術式 手術数73例、75乳腺



リンパ節転移の有無 10/69

MMG発見乳癌 4/33 (1-2個)

触知乳癌 6/36 (1-11個)

7) 薬物治療

化学療法

内分泌療法

MMG発見

3/32

30/32

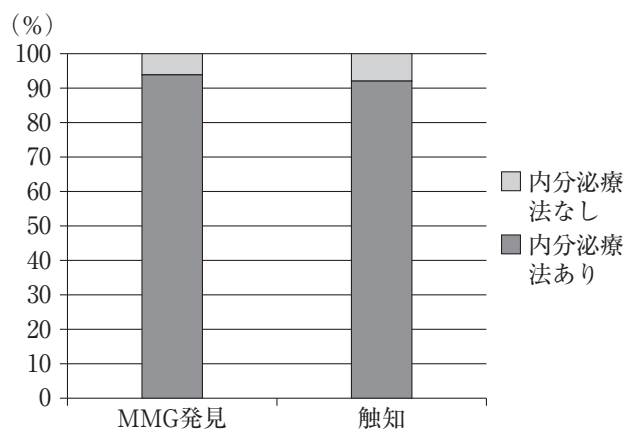
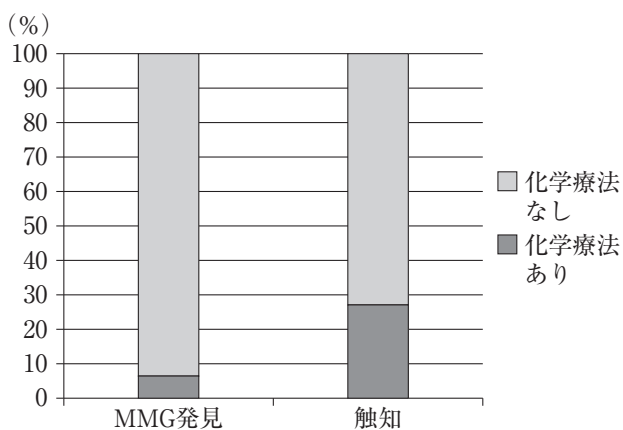
触知

10/37

34/37

13/69 (18.8%)

64/69 (92.8%)



まとめ

1. 平成24年度検診発見乳癌は73例で、非浸潤癌は13例であり、2例が両側であった。
2. MMG発見は34例であった。MMGに写らない触知乳癌が8例あり、4例は40歳代であった。
3. 2年以内の繰り返し検診は早期癌が90%以上あり、非浸潤癌が30%であった。繰り返し検診が早期発見に繋がったものと思われる。
4. 術式、リンパ節郭清については触知乳癌とMMG発見乳癌で差はなかった。
5. 検診発見癌の90%以上が内分泌療法を受けており、化学療法は昨年に比べ減少していた。

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成24年度の対象者数（40歳以上のうち職場等で受診機会のない者として厚生労働省が示す算式により算定した推計数）は190,556人で、このうち受診者数は54,362人、受診率は28.5%で、前年度に比べ1.1ポイント増加した。平成20年度以降、無料クーポン補助事業が行われたことにより、受診者数、受診率とも上昇傾向にある。

受診率は東部30.9%、中部26.8%、西部27.2%であった。また、受診率の目標50%達成に近い町と低いところでは約30%の開きがあった。

このうち要精検者数は4,669人、要精検率8.6%で、平成23年度より0.3ポイント増である。精検受診者は3,588人、精検受診率76.8%で例年並みであった。精検受診率は上昇傾向であるが、許容値70%以下の市町村がある。

精密検査の結果、大腸がんは149人で、平成23年度に比べ18人増加、大腸がん疑いは4人であった。がん発見率（がん/受診者数）は0.27%、陽性反応適中度（がん/要精検者数）は3.2%であった。

要精検率、がん発見率、陽性反応適中度ともに、平成23年度に比べ高かった。

要精検率は東部8.2%、中部7.8%、西部9.4%、がん発見率は東部0.298%、中部0.180%、西部0.295%、陽性反応適中度は東部3.6%、中部2.3%、西部3.1%で、平成23年度に比べ、西部の要精検率が高くなっている。

検診機関別の要精検率は、鳥取県保健事業団7.2%、中国労働衛生協会5.2%、病院9.6%、診療所9.5%で、例年と同様に施設検診の要精検率が高い。

また、がん発見率は地域検診0.203%、施設検診0.318%で、施設検診のがん発見率が高い。

国のプロセス指標は要精検率許容値7.0%以下、精密検査受診率目標値90%以上、がん発見率許容値0.13%以上、陽性反応適中度許容値1.9%以上としているが、要精検率は許容値を上回り、精密検査受診率は90%に程遠いが、がん発見率、陽性反応適中度についてはいずれもいい成績であり、精度が保たれていると思われる。

〈検診機関別結果〉

(1) 一次検診

| 区 分 | 受診者数（率） | 要精検者数 | 要精検率（%） | | | |
|----------------------------------|-------------------|-------|---------|-----|-----|------|
| | | | 計 | 東部 | 中部 | 西部 |
| 地 域 検 診 (保健事業団・ファルコ・中国労働衛生協会) | 20,692 (38.1%) | 1,466 | 7.1 | 7.2 | 7.1 | 6.8 |
| 施 設 検 診 (病院・診療所) | 33,670 (61.9%) | 3,203 | 9.5 | 8.7 | 9.8 | 10.2 |
| 計 | 54,362 (100%) | 4,669 | 8.6 | 8.2 | 7.8 | 9.4 |

(2) 精密検査

| 区 分 | 精 検 受診者数 | 精 検 受診率 (%) | が ん | がん発見率 (%) | | | |
|---------|-------------|-------------------|-----|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | 計 | 東部 | 中部 | 西部 |
| 地 域 検 診 | 1,102 | 75.2 | 42 | 0.203 | 0.268 | 0.174 | 0.154 |
| 施 設 検 診 | 2,486 | 77.6 | 107 | 0.318 | 0.312 | 0.199 | 0.342 |
| 計 | 3,588 | 76.8 | 149 | 0.274 | 0.298 | 0.180 | 0.295 |

※ がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

〈圏域別結果〉

(1) 地域検診

| 区 分 | 受 診 者 数 | 要精検者数 | 要 精 検 率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | がん疑い | が ん | がん発見率 |
|-----|---------|-------|---------|--------|-------|------|-----|-------|
| 東 部 | 7,459 | 539 | 7.2 | 424 | 78.6 | 1 | 20 | 0.268 |
| 中 部 | 8,030 | 571 | 7.1 | 423 | 74.1 | 0 | 14 | 0.174 |
| 西 部 | 5,203 | 356 | 6.8 | 255 | 71.6 | 0 | 8 | 0.154 |
| 計 | 20,692 | 1,466 | 7.1 | 1,102 | 75.2 | 1 | 42 | 0.203 |

※ がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

(2) 施設検診

| 区 分 | 受 診 者 数 | 要精検者数 | 要 精 検 率 | 精検受診者数 | 精検受診率 | がん疑い | が ん | がん発見率 |
|-----|---------|-------|---------|--------|-------|------|-----|-------|
| 東 部 | 15,361 | 1,342 | 8.7 | 1,077 | 80.3 | 3 | 48 | 0.312 |
| 中 部 | 2,508 | 247 | 9.8 | 172 | 69.6 | 0 | 5 | 0.199 |
| 西 部 | 15,801 | 1,614 | 10.2 | 1,237 | 76.6 | 0 | 54 | 0.342 |
| 計 | 33,670 | 3,203 | 9.5 | 2,486 | 77.6 | 3 | 107 | 0.318 |

※ がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

2. 大腸がん検診発見大腸がん確定調査結果

検診で発見された大腸がん及びがん疑い153例について確定調査を行った結果、確定癌142例（地域検診39例、施設検診103例）、非がん3例、本人の希望により治療せず1例、未受診2例、治療予定1例、調査中2例であった。そのうち早期がんは80例、早期癌率は56.3%であった。

調査の結果は、以下のとおりで、例年と同様な傾向であった。

- (1) 性及び年齢では男女とも60歳以上からがんが多く発見された。
40歳代からがんが5例発見されている。
- (2) 部位では「R」と「S」が59.9%、肉眼分類では「2」37.3%であった。早期癌80例の肉眼分類では「Ip」「Isp」が55.0%であった。昨年度に比べ深達度m癌が少なくなり、進行がすすんだものが多かった。
- (3) 大きさは、10mm以下が39例（27.5%）、11～20mmが38例（26.8%）、21～50mmが52例（36.6%）、51mm以上が12例（8.6%）であった。
- (4) Dukes分類は「A」が68.3%、組織型分類は「Well」が54.9%、「Mod」が38.7%であった。
- (5) 治療方法は外科手術が36例（25.4%）、内視鏡下手術44例（31.0%）、内視鏡治療は62例（43.7%）であった。昨年度より手術症例が少し多かった。

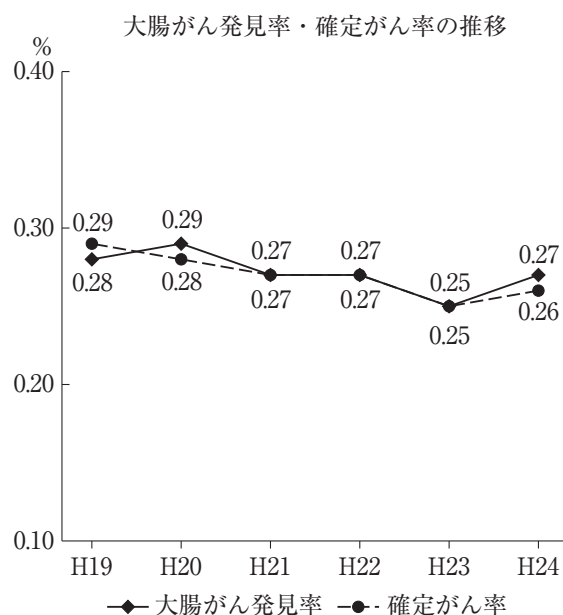
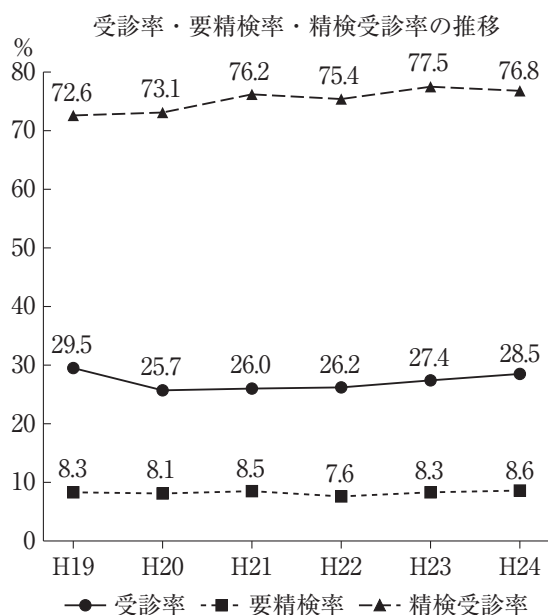
(6) 逐年検診発見進行大腸がんは23例（東部10例、中部1例、西部12例）であった。

23例中、前年度の結果が要精検だったのが4件あり、ポリープが1件、精検未受診3件であった。各地区で症例検討を行って頂き、問題点等について検討して頂く。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

| 区 分 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|-------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一 次 検 診 | 対 象 者 数(人) A | 175,367 | 188,186 | 188,186 | 188,186 | 190,556 | 190,556 |
| | 受 診 者 数(人) B | 51,773 | 48,409 | 48,949 | 49,374 | 52,192 | 54,362 |
| | 受 診 率(%) C = B/A | 29.5 | 25.7 | 26.0 | 26.2 | 27.4 | 28.5 |
| 一 次 検 診 結 果 | 異 常 認 め ず(人) D | 47,468 | 44,497 | 44,780 | 45,598 | 47,885 | 49,693 |
| | 要 精 検 者 数(人) E | 4,305 | 3,912 | 4,169 | 3,776 | 4,307 | 4,669 |
| | 要 精 検 率(%) F = E/B 指標：許容値7.0%以下 | 8.32 | 8.08 | 8.52 | 7.65 | 8.25 | 8.59 |
| 精 密 検 査 | 精 検 受 診 者 数(人) G | 3,126 | 2,858 | 3,178 | 2,848 | 3,340 | 3,588 |
| | 精 検 受 診 率(%) H = G/E 指標：目標値90%以上 | 72.6 | 73.1 | 76.2 | 75.4 | 77.5 | 76.8 |
| 精 密 検 査 結 果 | 大 腸 が ん の 者(人) I | 145(5) | 138(5) | 134(8) | 133(5) | 131(9) | 149(4) |
| | 大 腸 が ん 発 見 率(%) J = I/B 指標：許容値0.13%以上 | 0.28 | 0.29 | 0.27 | 0.27 | 0.25 | 0.27 |
| | 陽 性 反 応 適 中 度(%) K = I/E 指標：許容値1.9%以上 | 3.4 | 3.5 | 3.2 | 3.5 | 3.0 | 3.2 |
| 確 定 調 査 結 果 | 確 定 が ん 数(人) L | 149 | 136 | 134 | 132 | 131 | 142 |
| | 確 定 が ん 率(%) M = L/B | 0.29 | 0.28 | 0.27 | 0.27 | 0.25 | 0.26 |

- ※1 精密検査結果欄の()内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上
- ※2 がん発見率及び陽性反応適中度は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上
- ※3 陽性反応適中度は、平成24年度報告から要精検者数を分母として算出
- ※4 確定がん数は、検診により発見された「がん」又は「がん疑い」の者を調査により計上



(2) 平成24年度大腸がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 対象者数 (人) a | | 一次検診 受診者数 b | | 受診率 (%) c = b/A | | | 一次検診結果 | | | | 要精検率 (%) e = d/b | | |
|--------|------------------|---------|-------------------|--------|-----------------------|------|------|------------|-------|--------|--------|---------------------|------|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 要精検者数 d | | 異常認めず | | 男 | 女 | 計 |
| | | | | | | | | 男 | 女 | 男 | 女 | | | |
| 40～44歳 | 2,158 | 4,048 | 725 | 1,553 | 33.6 | 38.4 | 36.7 | 53 | 124 | 672 | 1,429 | 7.3 | 8.0 | 7.8 |
| 45～49歳 | 2,326 | 3,853 | 602 | 1,366 | 25.9 | 35.5 | 31.8 | 44 | 67 | 558 | 1,299 | 7.3 | 4.9 | 5.6 |
| 50～54歳 | 3,058 | 4,974 | 811 | 1,996 | 26.5 | 40.1 | 34.9 | 64 | 119 | 747 | 1,877 | 7.9 | 6.0 | 6.5 |
| 55～59歳 | 4,908 | 8,189 | 1,309 | 2,831 | 26.7 | 34.6 | 31.6 | 112 | 175 | 1,197 | 2,656 | 8.6 | 6.2 | 6.9 |
| 60～64歳 | 9,854 | 13,797 | 3,221 | 5,474 | 32.7 | 39.7 | 36.8 | 280 | 360 | 2,941 | 5,114 | 8.7 | 6.6 | 7.4 |
| 65～69歳 | 11,061 | 14,574 | 3,996 | 5,634 | 36.1 | 38.7 | 37.6 | 403 | 428 | 3,593 | 5,206 | 10.1 | 7.6 | 8.6 |
| 70～74歳 | 11,588 | 16,049 | 3,855 | 5,583 | 33.3 | 34.8 | 34.1 | 380 | 448 | 3,475 | 5,135 | 9.9 | 8.0 | 8.8 |
| 75～79歳 | 11,689 | 17,458 | 3,378 | 5,034 | 28.9 | 28.8 | 28.9 | 389 | 409 | 2,989 | 4,625 | 11.5 | 8.1 | 9.5 |
| 80歳以上 | 15,666 | 35,306 | 2,899 | 4,095 | 18.5 | 11.6 | 13.7 | 355 | 459 | 2,544 | 3,636 | 12.2 | 11.2 | 11.6 |
| 計 | 72,308 | 118,248 | 20,796 | 33,566 | 28.8 | 28.4 | 28.5 | 2,080 | 2,589 | 18,716 | 30,977 | 10.0 | 7.7 | 8.6 |
| 合 計 | 190,556 | | 54,362 | | 28.5 | | | 4,669 | | 49,693 | | 8.6 | | |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年 齢 | 精密検査 受診者数 (人) f | | 精密検査受診率 (%) g = f/d | | | 精密検査結果 | | | | | | | | 大腸がん発見率 (%) i = h/b | | | 陽性反応適中度 (%) j = h/d | | |
|--------|--------------------------|-------|---------------------------|------|------|--------|-----|--------|-------|--------|---|------|----|---------------------------|-------|-------|---------------------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 異常認めず | | その他の疾病 | | 大腸がん疑い | | 大腸がん | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| | | | | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | |
| 40～44歳 | 39 | 81 | 73.6 | 65.3 | 67.8 | 20 | 43 | 18 | 37 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.138 | 0.064 | 0.088 | 1.9 | 0.8 | 1.1 |
| 45～49歳 | 29 | 50 | 65.9 | 74.6 | 71.2 | 11 | 26 | 18 | 21 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0.000 | 0.220 | 0.152 | 0.0 | 4.5 | 2.7 |
| 50～54歳 | 47 | 82 | 73.4 | 68.9 | 70.5 | 15 | 48 | 31 | 32 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0.123 | 0.100 | 0.107 | 1.6 | 1.7 | 1.6 |
| 55～59歳 | 74 | 142 | 66.1 | 81.1 | 75.3 | 19 | 76 | 52 | 63 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0.229 | 0.106 | 0.145 | 2.7 | 1.7 | 2.1 |
| 60～64歳 | 199 | 285 | 71.1 | 79.2 | 75.6 | 52 | 117 | 135 | 154 | 0 | 1 | 12 | 13 | 0.373 | 0.237 | 0.288 | 4.3 | 3.6 | 3.9 |
| 65～69歳 | 301 | 375 | 74.7 | 87.6 | 81.3 | 75 | 155 | 212 | 202 | 1 | 0 | 13 | 18 | 0.325 | 0.319 | 0.322 | 3.2 | 4.2 | 3.7 |
| 70～74歳 | 304 | 379 | 80.0 | 84.6 | 82.5 | 96 | 150 | 192 | 219 | 0 | 0 | 16 | 10 | 0.415 | 0.179 | 0.275 | 4.2 | 2.2 | 3.1 |
| 75～79歳 | 314 | 332 | 80.7 | 81.2 | 81.0 | 79 | 122 | 220 | 200 | 2 | 0 | 13 | 10 | 0.385 | 0.199 | 0.273 | 3.3 | 2.4 | 2.9 |
| 80歳以上 | 266 | 289 | 74.9 | 63.0 | 68.2 | 72 | 106 | 178 | 169 | 0 | 0 | 16 | 14 | 0.552 | 0.342 | 0.429 | 4.5 | 3.1 | 3.7 |
| 計 | 1,573 | 2,015 | 75.6 | 77.8 | 76.8 | 439 | 843 | 1,056 | 1,097 | 3 | 1 | 75 | 74 | 0.361 | 0.220 | 0.274 | 3.6 | 2.9 | 3.2 |
| 合計 | 3,588 | | 76.8 | | | 1,282 | | 2,153 | | 4 | | 149 | | 0.274 | | | 3.2 | | |

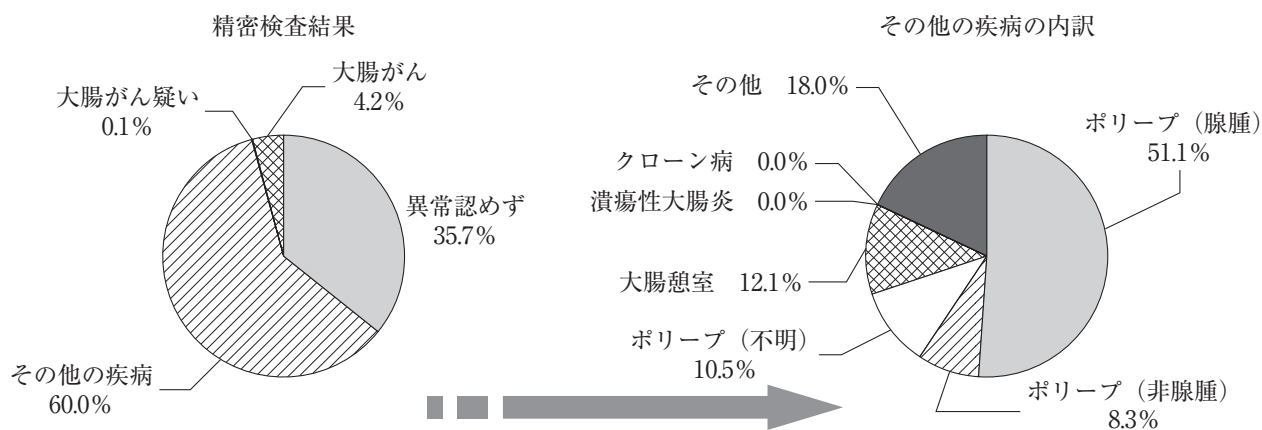
3) 検診機関別

a. 一次検診結果

| 一次検診機関 | 一次検診受診者数 (人) a' | | 一次検診結果 | | | | 要精検率 (%) c' = b' / a' | | |
|----------|-----------------------|--------|-------------|-------|--------|--------|--------------------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 要精検者数 b' | | 異常認めず | | 男 | 女 | 計 |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | | | |
| 保健事業団 | 7,704 | 12,168 | 673 | 750 | 7,031 | 11,418 | 8.7 | 6.2 | 7.2 |
| 中国労働衛生協会 | 335 | 485 | 23 | 20 | 312 | 465 | 6.9 | 4.1 | 5.2 |
| 地域検診小計 | 8,039 | 12,653 | 696 | 770 | 7,343 | 11,883 | 8.7 | 6.1 | 7.1 |
| 病院 | 3,733 | 5,742 | 405 | 500 | 3,328 | 5,242 | 10.8 | 8.7 | 9.6 |
| 診療所 | 9,024 | 15,171 | 979 | 1,319 | 8,045 | 13,852 | 10.8 | 8.7 | 9.5 |
| 施設検診小計 | 12,757 | 20,913 | 1,384 | 1,819 | 11,373 | 19,094 | 10.8 | 8.7 | 9.5 |
| 計 | 20,796 | 33,566 | 2,080 | 2,589 | 18,716 | 30,977 | 10.0 | 7.7 | 8.6 |
| 合計 | 54,362 | | 4,669 | | 49,693 | | 8.6 | | |

b. 精密検査結果

| 一次検診機関 | 精密検査受診者数(人) d' | | 精密検査受診率 (%) e' = d' / b' | | | 精密検査結果 | | | | | | | | 大腸がん発見率 (%) g' = f' / a' | | | 陽性反応適中度 (%) h' = f' / b' | | |
|----------|-------------------|-------|-----------------------------|------|------|--------|-----|--------|-------|--------|---|------------|----|-----------------------------|-------|-------|-----------------------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 異常認めず | | その他の疾病 | | 大腸がん疑い | | 大腸がん f' | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| | | | | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | |
| 保健事業団 | 489 | 581 | 72.7 | 77.5 | 75.2 | 145 | 261 | 323 | 298 | 0 | 1 | 21 | 21 | 0.273 | 0.173 | 0.211 | 3.1 | 2.8 | 3.0 |
| 中国労働衛生協会 | 17 | 15 | 73.9 | 75.0 | 74.4 | 4 | 10 | 13 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 地域検診小計 | 506 | 596 | 72.7 | 77.4 | 75.2 | 149 | 271 | 336 | 303 | 0 | 1 | 21 | 21 | 0.261 | 0.166 | 0.203 | 3.0 | 2.7 | 2.9 |
| 病院 | 312 | 386 | 77.0 | 77.2 | 77.1 | 96 | 171 | 198 | 204 | 1 | 0 | 17 | 11 | 0.455 | 0.192 | 0.296 | 4.2 | 2.2 | 3.1 |
| 診療所 | 755 | 1,033 | 77.1 | 78.3 | 77.8 | 194 | 401 | 522 | 590 | 2 | 0 | 37 | 42 | 0.410 | 0.277 | 0.327 | 3.8 | 3.2 | 3.4 |
| 施設検診小計 | 1,067 | 1,419 | 77.1 | 78.0 | 77.6 | 290 | 572 | 720 | 794 | 3 | 0 | 54 | 53 | 0.423 | 0.253 | 0.318 | 3.9 | 2.9 | 3.3 |
| 計 | 1,573 | 2,015 | 75.6 | 77.8 | 76.8 | 439 | 843 | 1,056 | 1,097 | 3 | 1 | 75 | 74 | 0.361 | 0.220 | 0.274 | 3.6 | 2.9 | 3.2 |
| 合計 | 3,588 | | 76.8 | | | 1,282 | | 2,153 | | 4 | | 149 | | 0.274 | | | 3.2 | | |



4) 平成24年度大腸がん検診受診状況

| 市町村名 | 受診者数 | | | | 要精検者数 | | | | | | 精密検査結果別人員 | | | | | | |
|------|---------|--------|-----------|-----------|---------|-------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-------|------|-----|---------------|-----------|-------------|
| | 対象者数 | 地域検診 | 施設検診 | 計 | 受診率 (%) | 地域検診 | 施設検診 | 計 | 要精検率 (%) | 精検受診率 (%) | 異認めず | その他の病 | がん疑い | が入 | 有所見者 | がん発見率 (%) | 陽性反応適中度 (%) |
| A | B | C | D = B + C | E = D / A | F | G | H = F + G | I = H / D | J | K = J / H | L | M | N | O | P = M + N + O | Q = O / D | R = O / H |
| 鳥取市 | 57,433 | 3,328 | 13,291 | 16,619 | 28.9 | 217 | 1,180 | 1,397 | 8.4 | 79.1 | 399 | 654 | 3 | 49 | 706 | 0.295 | 3.5 |
| 米子市 | 42,442 | 0 | 12,259 | 12,259 | 28.9 | 0 | 1,210 | 1,210 | 9.9 | 76.9 | 272 | 615 | 0 | 44 | 659 | 0.359 | 3.6 |
| 倉吉市 | 17,700 | 1,686 | 1,389 | 3,075 | 17.4 | 130 | 150 | 280 | 9.1 | 73.9 | 84 | 116 | 0 | 7 | 123 | 0.228 | 2.5 |
| 境港市 | 11,307 | 28 | 2,481 | 2,509 | 22.2 | 0 | 298 | 298 | 11.9 | 80.5 | 118 | 112 | 0 | 10 | 122 | 0.399 | 3.4 |
| 岩美町 | 4,844 | 1,055 | 364 | 1,419 | 29.3 | 95 | 29 | 124 | 8.7 | 87.9 | 32 | 72 | 0 | 5 | 77 | 0.352 | 4.0 |
| 八頭町 | 6,534 | 2,490 | 344 | 2,834 | 43.4 | 181 | 33 | 214 | 7.6 | 80.4 | 69 | 95 | 1 | 7 | 103 | 0.247 | 3.3 |
| 若桜町 | 1,776 | 433 | 405 | 838 | 47.2 | 31 | 34 | 65 | 7.8 | 83.1 | 18 | 33 | 0 | 3 | 36 | 0.358 | 4.6 |
| 智頭町 | 3,263 | 153 | 957 | 1,110 | 34.0 | 15 | 66 | 81 | 7.3 | 75.3 | 21 | 36 | 0 | 4 | 40 | 0.360 | 4.9 |
| 湯梨浜町 | 5,964 | 1,346 | 679 | 2,025 | 34.0 | 95 | 60 | 155 | 7.7 | 80.0 | 50 | 73 | 0 | 1 | 74 | 0.049 | 0.6 |
| 三朝町 | 2,767 | 659 | 114 | 773 | 27.9 | 44 | 7 | 51 | 6.6 | 66.7 | 14 | 19 | 0 | 1 | 20 | 0.129 | 2.0 |
| 北栄町 | 5,729 | 2,239 | 210 | 2,449 | 42.7 | 150 | 17 | 167 | 6.8 | 71.9 | 43 | 71 | 0 | 6 | 77 | 0.245 | 3.6 |
| 琴浦町 | 7,221 | 2,100 | 116 | 2,216 | 30.7 | 152 | 13 | 165 | 7.4 | 66.7 | 45 | 61 | 0 | 4 | 65 | 0.181 | 2.4 |
| 南部町 | 4,221 | 657 | 911 | 1,568 | 37.1 | 33 | 75 | 108 | 6.9 | 63.0 | 20 | 48 | 0 | 0 | 48 | 0.000 | 0.0 |
| 伯耆町 | 4,533 | 1,342 | 0 | 1,342 | 29.6 | 88 | 0 | 88 | 6.6 | 70.5 | 23 | 39 | 0 | 0 | 39 | 0.000 | 0.0 |
| 日吉津村 | 995 | 301 | 77 | 378 | 38.0 | 21 | 6 | 27 | 7.1 | 66.7 | 11 | 6 | 0 | 1 | 7 | 0.265 | 3.7 |
| 大山町 | 7,503 | 1,171 | 0 | 1,171 | 15.6 | 86 | 0 | 86 | 7.3 | 80.2 | 22 | 45 | 0 | 2 | 47 | 0.171 | 2.3 |
| 日南町 | 2,966 | 586 | 73 | 659 | 22.2 | 55 | 25 | 80 | 12.1 | 66.3 | 21 | 29 | 0 | 3 | 32 | 0.455 | 3.8 |
| 日野町 | 1,783 | 455 | 0 | 455 | 25.5 | 36 | 0 | 36 | 7.9 | 66.7 | 8 | 14 | 0 | 2 | 16 | 0.440 | 5.6 |
| 江府町 | 1,575 | 663 | 0 | 663 | 42.1 | 37 | 0 | 37 | 5.6 | 73.0 | 12 | 15 | 0 | 0 | 15 | 0.000 | 0.0 |
| 合計 | 190,556 | 20,692 | 33,670 | 54,362 | 28.5 | 1,466 | 3,203 | 4,669 | 8.6 | 76.8 | 1,282 | 2,153 | 4 | 149 | 2,306 | 0.274 | 3.2 |
| 東部 | 73,850 | 7,459 | 15,361 | 22,820 | 30.9 | 539 | 1,342 | 1,881 | 8.2 | 79.8 | 539 | 890 | 4 | 68 | 962 | 0.298 | 3.6 |
| 中部 | 39,381 | 8,030 | 2,508 | 10,538 | 26.8 | 571 | 247 | 818 | 7.8 | 72.7 | 236 | 340 | 0 | 19 | 359 | 0.180 | 2.3 |
| 西部 | 77,325 | 5,203 | 15,801 | 21,004 | 27.2 | 356 | 1,614 | 1,970 | 9.4 | 75.7 | 507 | 923 | 0 | 62 | 985 | 0.295 | 3.1 |

(3) 平成24年度大腸がん検診発見大腸がん患者確定調査結果

表1 報告癌と確定癌

| | 地域検診 | | | | 施設検診 | | | | 計 | | | 総計 |
|-----|------|----|----|----|------|----|----|-----|----|----|----|-----|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | 東部 | 中部 | 西部 | |
| 報告癌 | 21 | 14 | 8 | 43 | 51 | 5 | 54 | 110 | 72 | 19 | 62 | 153 |
| 確定癌 | 19 | 12 | 8 | 39 | 46 | 5 | 52 | 103 | 65 | 17 | 60 | 142 |
| 腺腫 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| その他 | 2 | 2 | 0 | 4 | 3 | 0 | 2 | 5 | 5 | 2 | 2 | 9 |

※その他：異常なし3件、治療せず1件、未受診2件、治療予定1件、調査中2件

表2 性及び年齢

| 年齢 | | 40～ | 45～ | 50～ | 55～ | 60～ | 65～ | 70～ | 75～ | 80～ | 計 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地域 | 男 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 3 | 6 | 20 |
| | 女 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 3 | 2 | 1 | 2 | 19 |
| | 計 | 2 | 3 | 1 | 1 | 8 | 5 | 7 | 4 | 8 | 39 |
| 施設 | 男 | 0 | 0 | 1 | 3 | 7 | 10 | 11 | 10 | 9 | 51 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 2 | 9 | 13 | 8 | 8 | 11 | 52 |
| | 計 | 0 | 0 | 2 | 5 | 16 | 23 | 19 | 18 | 20 | 103 |
| 計 | 男 | 1 | 0 | 1 | 3 | 10 | 12 | 16 | 13 | 15 | 71 |
| | 女 | 1 | 3 | 2 | 3 | 14 | 16 | 10 | 9 | 13 | 71 |
| 総計 | | 2 | 3 | 3 | 6 | 24 | 28 | 26 | 22 | 28 | 142 |

表3 部位

| | 地域検診 | | | | 施設検診 | | | | 総計 (%) |
|----|------|----|----|----|------|----|----|-----|----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | |
| P | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| R | 1 | 7 | 1 | 9 | 16 | 1 | 13 | 30 | 39(27.5) |
| S | 9 | 3 | 2 | 14 | 18 | 1 | 13 | 32 | 46(32.4) |
| D | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | 6 | 6(4.2) |
| T | 2 | 0 | 3 | 5 | 4 | 1 | 8 | 13 | 18(12.7) |
| A | 4 | 2 | 2 | 8 | 5 | 1 | 12 | 18 | 26(18.3) |
| C | 3 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 2 | 4 | 7(4.9) |
| V | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 39 | 46 | 5 | 52 | 103 | 142 |

表4 大きさ

| 大きさ (mm) | 地 域 | | | | 施 設 | | | | 総計 (%) |
|-------------|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | 東部 | 中部 | 西部 | 小計 | |
| 0～10 | 2 | 7 | 2 | 11 | 16 | 2 | 10 | 28 | 39(27.5) |
| 11～20 | 8 | 0 | 2 | 10 | 17 | 0 | 11 | 28 | 38(26.8) |
| 21～50 | 7 | 5 | 2 | 14 | 12 | 2 | 24 | 38 | 52(36.6) |
| 51～ | 2 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 6 | 8 | 12(8.5) |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1(0.7) |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 39 | 46 | 5 | 52 | 103 | 142 |

表5 肉眼分類

| 肉眼型 | 地域検診 | 施設検診 | 計 (%) |
|-----|------|------|----------|
| 0 | 24 | 56 | 80(56.3) |
| 1 | 2 | 4 | 6(4.2) |
| 2 | 13 | 40 | 53(37.3) |
| 3 | 0 | 3 | 3(2.1) |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 39 | 103 | 142 |

表6 O型の肉眼分類

| 肉眼型 | 地域検診 | 施設検診 | 計 (%) |
|-------------|------|------|----------|
| I p | 7 | 13 | 20(25.0) |
| I sp | 5 | 19 | 24(30.0) |
| I s | 5 | 8 | 13(16.3) |
| II a | 4 | 8 | 12(15.0) |
| II a + II c | 0 | 3 | 3(3.8) |
| II b | 1 | 0 | 1(1.3) |
| II c | 2 | 5 | 7(8.8) |
| III | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 24 | 56 | 80 |

表7 深達度

| 深達度 | 地 域 検 診 | | | 施 設 検 診 | | | 計 (%) |
|-----|---------|----|----|---------|----|----|----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 東部 | 中部 | 西部 | |
| m | 7 | 7 | 3 | 21 | 2 | 14 | 54(38.0) |
| sm | 4 | 2 | 1 | 9 | 0 | 9 | 25(17.6) |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1(0.7) |
| 小計 | 11 | 9 | 4 | 30 | 2 | 24 | 80(56.3) |
| mp | 3 | 2 | 1 | 5 | 0 | 6 | 17(12.0) |
| ss | 4 | 1 | 1 | 6 | 2 | 17 | 31(21.8) |
| se | 1 | 0 | 2 | 5 | 1 | 4 | 13(9.2) |
| Si | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1(0.7) |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 46 | 5 | 52 | 142 |

表8 Dukes分類

| Dukes分類 | 地域検診 | | | 施設検診 | | | 計 (%) |
|---------|------|----|----|------|----|----|----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 東部 | 中部 | 西部 | |
| A | 14 | 11 | 5 | 34 | 4 | 29 | 97(68.3) |
| B | 3 | 1 | 1 | 6 | 1 | 8 | 20(14.1) |
| C | 2 | 0 | 1 | 4 | 0 | 11 | 18(12.7) |
| D | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 5(3.5) |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2(1.4) |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 46 | 5 | 52 | 142 |

表9 組織型分類

| 組織型 | 地域検診 | | | 施設検診 | | | 計 (%) |
|-----|------|----|----|------|----|----|----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 東部 | 中部 | 西部 | |
| Wel | 8 | 10 | 5 | 35 | 2 | 18 | 78(54.9) |
| Mod | 10 | 2 | 2 | 10 | 3 | 28 | 55(38.7) |
| Por | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Muc | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1(0.7) |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4(2.8) |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4(2.8) |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 46 | 5 | 52 | 142 |

表10 治療法

| 治療方法 | 地域検診 | | | 施設検診 | | | 計 (%) |
|--------|------|----|----|------|----|----|----------|
| | 東部 | 中部 | 西部 | 東部 | 中部 | 西部 | |
| 外科手術 | 2 | 2 | 4 | 3 | 3 | 22 | 36(25.4) |
| 内視鏡下手術 | 7 | 3 | 2 | 18 | 0 | 14 | 44(31.0) |
| 内視鏡治療 | 10 | 7 | 2 | 25 | 2 | 16 | 62(43.7) |
| その他不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 19 | 12 | 8 | 46 | 5 | 52 | 142 |

表11 平成24年度逐年検診発見進行癌

| 検診方式 | 地区 | No | 年齢 | 性 | 部位 | 大きさ | 深達度 | 肉眼型 | 組織型 | 便潜血 | stage | 前年度検査結果 | | | | |
|----------|----|----|------|------|-------|------|-------|-----|-------|-----|-------|---------|-----|---------------------------|---|-----------------|
| | | | | | | | | | | | | 検診方式 | 便潜血 | 精密結果 | | |
| 地域 検診 | 東部 | 1 | 80 | 男性 | 横行結腸 | 34mm | SS(A) | 2 | Mod | ++ | III b | 地域 | - | . | - | |
| | | 2 | 74 | 男性 | 上行結腸 | 65mm | SS(A) | 2 | Mod | ++ | III a | 地域 | - | . | - | |
| | | 3 | 78 | 男性 | S状結腸 | 15mm | MP | 2 | Well | ++ | III a | 地域 | - | . | - | |
| | 中部 | 4 | 68 | 女性 | 上行結腸 | 35mm | MP | 1 | Mod | -+ | I | 地域 | - | . | - | |
| | 西部 | 5 | 75 | 男性 | S状結腸 | 40mm | SE | 2 | Well | ++ | IV | 地域 | - | . | - | |
| | | 6 | 63 | 女性 | 横行結腸 | 20mm | MP | 2 | Pap | ++ | I | 地域 | - | . | - | |
| 施設 検診 | 東部 | 7 | 65 | 男性 | S状結腸 | 24mm | SE | 2 | Well | -+ | IV | 施設 | + | . | - | ポリープ (単発・腺腫) |
| | | 8 | 70 | 男性 | S状結腸 | 18mm | MP | 2 | Mod | -+ | I | 施設 | - | . | - | |
| | | 9 | 86 | 男性 | 下行結腸 | 23mm | MP | 2 | Well | -+ | I | 施設 | - | . | - | |
| | | 10 | 63 | 男性 | S状結腸 | 10mm | SE | 2 | Well | ++ | II | 施設 | - | . | - | |
| | | 11 | 77 | 女性 | 上行結腸 | 80mm | SS(A) | 3 | Well | ++ | II | 施設 | + | . | + | 未受診 (本人拒否) |
| | | 12 | 75 | 男性 | 上行結腸 | 20mm | MP | 1 | Well | +- | I | 施設 | - | . | - | |
| | | 13 | 72 | 女性 | S状結腸 | 10mm | MP | 2 | Well | -+ | I | 施設 | - | . | - | |
| | 西部 | 14 | 68 | 男性 | S状結腸 | 37mm | SS(A) | 2 | Mod | ++ | III b | 施設 | - | . | + | 未受診 |
| | | 15 | 71 | 男性 | 直腸 | 36mm | MP | 2 | Mod | ++ | I | 施設 | - | . | - | |
| | | 16 | 73 | 女性 | 横行結腸 | 30mm | SS(A) | 2 | 不明 | ++ | II | 施設 | - | . | - | |
| | | 17 | 76 | 女性 | 横行結腸 | 37mm | SS(A) | 2 | Well | -+ | III b | 施設 | - | . | - | |
| | | 18 | 82 | 女性 | 上行結腸 | 35mm | MP | 1 | Muc | ++ | III a | 施設 | - | . | - | |
| | | 19 | 83 | 女性 | 上行結腸 | 30mm | SS(A) | 2 | Mod | ++ | II | 施設 | - | . | - | |
| 20 | 74 | 男性 | S状結腸 | 36mm | MP | 2 | Mod | +- | II | 施設 | - | . | - | | | |
| 21 | 80 | 男性 | 盲腸 | 50mm | SS(A) | 2 | Mod | -+ | III b | 施設 | - | . | - | | | |
| 22 | 78 | 女性 | 上行結腸 | 70mm | SS(A) | 2 | Mod | ++ | II | 施設 | - | . | - | | | |
| 23 | 70 | 女性 | 下行結腸 | 25mm | SS(A) | 2 | Well | ++ | II | 施設 | + | . | + | 未受診 (受診勧奨する も連絡つかず) | | |

6. 肝 臓 が ん 検 診

1. 鳥取県における肝臓がん検診事業の沿革

| 年 度 | 検 診 事 業 | 実 施 方 法 |
|--------|--------------|--|
| H 7～9 | 肝臓がん検診（単県） | ・基本健診と同時実施 ・3年間のうち1年間のみ全市町村が実施 |
| H10～13 | 肝臓がん検診（単県） | ・原則、基本健診と同時実施。単独も可 ・希望市町村のみ。複数年にわたる継続実施も可 ・定期検査開始 |
| H14 | 肝炎ウイルス検査（国庫） | ・基本健診と同時実施（H18までの緊急対策） ・節目検診（40—70歳の5歳刻み）+節目外（要指導者等） |
| | 肝臓がん検診（単県） | ・H10—13と同様 |
| H15～16 | 肝炎ウイルス検査（国庫） | ・H14—と同様 |
| | 肝臓がん検診（単県） | ・肝炎ウイルス対象外の者を対象とする補完的検診に ・検査内容を肝炎ウイルス検査に統一 ・検診事業はH16で廃止（定期検査は継続） |
| H17～18 | 肝炎ウイルス検査（国庫） | ・H14—と同様 |
| H19～ | 肝炎ウイルス検査（国庫） | ・節目検診（40歳のみ+未受診者）+節目外（要指導者等） |
| | | ・H23年より節目検診（40歳以上の5歳刻み）に個別受診勧奨 |

2. 肝臓がん検診実績

1) 平成24年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

平成24年度は16市町村で実施し、対象者数203,645人のうち、受診者数は4,777人で、受診率は2.3%で、平成23年度に比べ、受診者数1,403人、受診率が0.6ポイント増加した。受診者数は年々増加傾向で、特に米子市は昨年度に比べ、受診者数が約600人も多かった。

受診者数の増加は、平成23年度より国が40歳以上5歳刻みの方を対象にした無料クーポン券事業を導入したことが大きい。

検査の結果、HBs抗原のみ陽性者は83人、HCV抗体のみ陽性者は23人で、HBs抗原陽性率1.7%で、前年度と同率、HCV抗体陽性率0.5%で、平成23年度に比べ0.2ポイント減であった。HCV抗体陽性率は年々減少傾向である。

要精検者83人のうち精検受診者は59人であり、精検受診率は56.2%で、平成23年度に比べ5.1ポイント減であった。精検受診率は東部74%に比べ、中部40.9%、西部39.4%とかなり低い。精検の結果、がんは1人も発見されなかった。74.6%は無症候性キャリアであった。

受診者は60歳代が多く、HBs抗原陽性率は50歳代から70歳代にかけて高く、HCV抗体陽性率は高年齢者が高い傾向にある。

2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の状況について（県事業の肝臓がん対策事業）

平成10年度から実施している、検診で発見された肝炎ウイルス陽性者に対する定期検査は13市町村で実施された。結果は以下のとおりである。

| 区 分 | 健康指導 対象者 (人) | 定期検査 受診者数 (人) | 定期検査結果 (人・%) | | | |
|-------------|--------------------|---------------------|---------------|-------------|-------------|------------|
| | | | 慢性肝炎 | 肝 硬 変 | 肝臓がん | がん疑い |
| B型肝炎ウイルス陽性者 | 1,576 | 697 | 113 (16.2) | 10 (1.4) | 5 (0.7) | 3 (0.4) |
| C型肝炎ウイルス陽性者 | 897 | 395 | 204 (51.6) | 14 (3.5) | 12 (3.0) | 4 (0.1) |

※肝臓がんと報告された中には、過去の定期検査で「がん」と報告されたものも含まれている。

3) 平成7年度から平成24年度の18年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において市町村から報告があった対象者数192,315人に対し、受診者総数124,820人、推計受診率64.9%である。そのうちHBs抗原陽性者は2,985人（陽性率2.39%）、HCV抗体陽性者は3,609人（陽性率2.89%）であった。

年代別でみると、平成7年～24年度平均HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40歳・50歳代が高い傾向である。

3. 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

(1) 平成24年度肝炎ウイルス検査からは発見されたがんはなかった。

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の結果、平成24年度にがん及びがん疑いの者が24名発見され、そのうち9名は過去の検診、定期検査で既にごんと診断されていた。残り15名の確定調査を行った結果、B型肝炎ウイルス陽性者から肝臓癌が2名と転移性肝癌1名、C型肝炎ウイルス陽性者から肝臓癌が11名であった。がんでなかったものが1名であった。年齢は70～80歳代で高齢者が占めている。

(2) 平成7年～23年度肝臓がん検診発見がん患者のうち、25例が確定癌であり、そのうち22例は死亡、生存中の3例のうち、2例は再発、1例は再発されていない。また、平成10～23年度定期検査確定がんが118例で、そのうち77例は死亡(他病死を含む)、生存中は39人、追跡不能2人であった。

がんと診断されてから10年以上生存されている方は、非常に稀であり、肝炎ウイルス検査で陽性の方を早期に発見し、定期検査をきちんと受診していただくことが重要である。

(1) 肝炎ウイルス検査受診者数等の推移

1) 一次検診

| 年 度 | 受 診 者 数 | HBs陽性者 | HBs陽性率 | HCV陽性者 | HCV陽性率 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| H22 | 2,476 | 54 | 2.2 | 19 | 0.8 |
| H23 | 3,374 | 56 | 1.7 | 24 | 0.7 |
| H24 | 4,777 | 83 | 1.7 | 23 | 0.5 |

※各陽性者数にはB型、C型ともに陽性である者が含まれるため、各陽性者数の合計は下段の要精検者数に一致しない。

2) 精密検査

| 年 度 | 要精検者数 | 精検受診者数 | 精検受診率 | が ん | がん発見率 |
|-----|-------|--------|-------|-----|-------|
| H22 | 73 | 41 | 56.2 | 0 | 0.00 |
| H23 | 80 | 49 | 61.3 | 0 | 0.00 |
| H24 | 105 | 59 | 56.2 | 0 | 0.00 |

※ がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

3) 年齢階級別受診状況

| 区 分 | 平成24年度 | | | 平成7～24年度 | | |
|--------|---------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | 受 診 者 数 | HBs陽性率 | HCV陽性率 | 受 診 者 数 | HBs陽性率 | HCV陽性率 |
| 40～44歳 | 815 | 0.5 | 0.1 | 10,201 | 2.57 | 0.82 |
| 45～49歳 | 367 | 1.4 | 0.5 | 9,019 | 3.59 | 1.52 |
| 50～54歳 | 437 | 2.7 | 0.9 | 10,767 | 3.56 | 1.81 |
| 55～59歳 | 509 | 2.4 | 0.2 | 13,459 | 2.91 | 2.40 |
| 60～64歳 | 1,126 | 1.9 | 0.4 | 22,086 | 2.34 | 3.01 |
| 65～69歳 | 922 | 2.4 | 0.7 | 23,370 | 2.22 | 3.48 |
| 70～74歳 | 500 | 1.2 | 0.8 | 20,370 | 1.75 | 3.76 |
| 75～79歳 | 51 | 2.0 | 0.0 | 9,058 | 1.56 | 4.10 |
| 80歳以上 | 50 | 0.0 | 2.0 | 6,490 | 1.43 | 3.94 |
| 計 | 4,777 | 1.7 | 0.5 | 124,820 | 2.39 | 2.89 |

(2) 平成24年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

1) 一次検診結果（年齢階級別）

| 年 齢 | 一次検診受診者数 (人) a | | 一 次 検 診 結 果 | | | | | | | | HBs抗原陽性率 (%) e = (b + d) / a | | | HCV抗体陽性率 (%) f = (c + d) / a | | |
|--------|----------------------|-------|-------------|-------|----------------|----|----------------|----|-------------------|---|------------------------------------|-----|-----|------------------------------------|-----|-----|
| | | | 異常認めず | | HBs抗原のみ陽性 b | | HCV抗体のみ陽性 c | | HBs・HCVともに陽性 d | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | |
| 40～44歳 | 282 | 533 | 281 | 529 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.4 | 0.6 | 0.5 | 0.0 | 0.2 | 0.1 |
| 45～49歳 | 114 | 253 | 110 | 250 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1.8 | 1.2 | 1.4 | 1.8 | 0.0 | 0.5 |
| 50～54歳 | 140 | 297 | 135 | 287 | 3 | 8 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2.9 | 2.7 | 2.7 | 1.4 | 0.7 | 0.9 |
| 55～59歳 | 180 | 329 | 173 | 323 | 6 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3.3 | 1.8 | 2.4 | 0.6 | 0.0 | 0.2 |
| 60～64歳 | 540 | 586 | 524 | 577 | 15 | 6 | 1 | 3 | 0 | 0 | 2.8 | 1.0 | 1.9 | 0.2 | 0.5 | 0.4 |
| 65～69歳 | 513 | 409 | 497 | 397 | 11 | 11 | 5 | 1 | 0 | 0 | 2.1 | 2.7 | 2.4 | 1.0 | 0.2 | 0.7 |
| 70～74歳 | 264 | 236 | 260 | 230 | 3 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1.1 | 1.3 | 1.2 | 0.4 | 1.3 | 0.8 |
| 75～79歳 | 31 | 20 | 30 | 20 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3.2 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 80歳以上 | 14 | 36 | 14 | 35 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 2.0 |
| 計 | 2,078 | 2,699 | 2,024 | 2,648 | 42 | 40 | 11 | 11 | 1 | 0 | 2.1 | 1.5 | 1.7 | 0.6 | 0.4 | 0.5 |
| 合 計 | 4,777 | | 4,672 | | 82 | | 22 | | 1 | | 1.7 | | | 0.5 | | |

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

| 年齢 | 区分 | 精密検査者 受診(人) | | 精密検査対象者診断結果 | | | | | | | | | | | | 肝臓がん 発見率 (%) h = g / a | | | | | | | | | |
|--------|-------|----------------|----|-------------|----|------|---|-----------|---|--------|---|-----------|---|------------|---|---------------------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 無症候性キャリア | | 脂肪肝 | | 慢性肝炎 | | アルコール性肝障害 | | 肝臓がん疑い | | 肝臓がん g | | その他の 疾病 | | その他 | | | | | | | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | | | |
| 40~44歳 | B型陽性 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | C型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 全体 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | | | | | | |
| 45~49歳 | B型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| | C型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| | 全体 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | | | | | |
| 50~54歳 | B型陽性 | 3 | 5 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| | C型陽性 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| | ともに陽性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| | 全体 | 5 | 7 | 3 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | | | | |
| 55~59歳 | B型陽性 | 3 | 5 | 3 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | C型陽性 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 全体 | 4 | 5 | 3 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | | | |
| 60~64歳 | B型陽性 | 8 | 3 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | C型陽性 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 全体 | 9 | 5 | 6 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | | |
| 65~69歳 | B型陽性 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | C型陽性 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 全体 | 8 | 5 | 6 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 | |
| 70~74歳 | B型陽性 | 3 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | C型陽性 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 全体 | 3 | 4 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 | 0.000 |
| 75~79歳 | B型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 80歳以上 | B型陽性 | 23 | 22 | 21 | 19 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 6 | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 30 | 29 | 23 | 21 | 0 | 1 | 5 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 計 | B型陽性 | 45 | | 40 | | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 13 | | 3 | | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 1 | | 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 59 | | 44 | | 1 | 1 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |

※1 「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認められた者を指す。
 ※2 がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上

3) 検診機関別

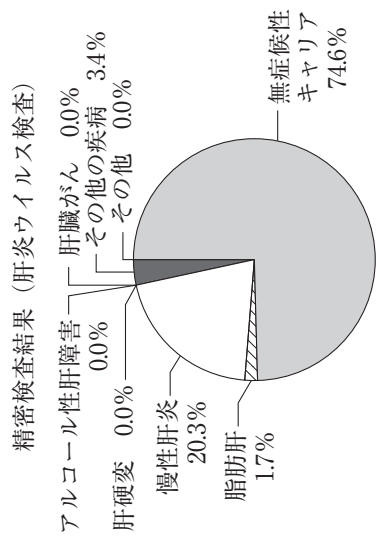
a. 一次検診結果

| 一次検診機関 | 一次検診受診者数(人) | | 一次検診結果 | | | | | | | | | Hbs抗原陽性率(%) | | | HCV抗体陽性率(%) | | |
|----------|-------------|-------|--------|-------|-----------|----|-----------|----|--------------|---|-------------------|-------------|-----|-------------------|-------------|-----|--|
| | a' | | 異常認めず | | Hbs抗原のみ陽性 | | HCV抗体のみ陽性 | | HBs・HCVともに陽性 | | e' = (b' + d')/a' | | | f' = (c' + d')/a' | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 保健事業団 | 679 | 973 | 661 | 957 | 12 | 12 | 6 | 4 | 0 | 0 | 1.8 | 1.2 | 1.5 | 0.9 | 0.4 | 0.6 | |
| 中国労働衛生協会 | 27 | 43 | 27 | 42 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 2.3 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 病院 | 353 | 463 | 342 | 452 | 8 | 8 | 3 | 3 | 0 | 0 | 2.3 | 1.7 | 2.0 | 0.8 | 0.6 | 0.7 | |
| 診療所 | 1,019 | 1,220 | 994 | 1,197 | 22 | 19 | 2 | 4 | 1 | 0 | 2.3 | 1.6 | 1.9 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | |
| 計 | 2,078 | 2,699 | 2,024 | 2,648 | 42 | 40 | 11 | 11 | 1 | 0 | 2.1 | 1.5 | 1.7 | 0.6 | 0.4 | 0.5 | |
| 合計 | 4,777 | | 4,672 | | 82 | | 22 | | 1 | | 1.7 | | | 0.5 | | | |

b. 精密検査結果

| 一次 検診機関 | 区分 | 精密検査 受診者数 (人) | | 精密検査結果 | | | | | | | | | | | | 肝臓がん 発見率 (%) h' = g' / a' | | | | |
|--------------|--------------------|---------------------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|------------|------------------------------------|------------|-------|-------|-------|
| | | 男 | 女 | 無症候性キャリア | | | 脂肪肝 | | 慢性肝炎 | | 肝硬変 | | アルコール性肝障害 | | 肝臓がん g' | | その他の 疾病 | | 男 | 女 |
| | | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | |
| 健康 保事業団 | B型陽性 | 6 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中国労働 衛生協会 | 全体 | 9 | 13 | 6 | 8 | 0 | 0 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | B型陽性 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 病院 | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | B型陽性 | 6 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 診療所 | C型陽性 | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 9 | 4 | 6 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | B型陽性 | 11 | 10 | 10 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ともに陽性 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 全体 | 30 | 29 | 23 | 21 | 0 | 1 | 5 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | B型陽性 | 45 | 40 | 40 | 39 | 1 | 1 | 3 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C型陽性 | 13 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | ともに陽性 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全体 | 59 | 44 | 44 | 41 | 1 | 1 | 12 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 肝臓がん 発見率 (%) | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |

※1 「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認めたとした者を指す。
 ※2 がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上



4) 平成24年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査受診状況
 実施市町村数=16 未実施市町村数=3

| 市町村名 | 対象者数 | | | 受診者数 | | | 陽性者数 | | | | 精密検査結果 | | | | | 人員 | | がん発見率 (%) R=P/D | |
|------|---------|-------|-------|-------|------|------------------|-----------|-----------|-----------------|-----|-----------|---------------------------|---------------------------|------------|-------------------------|-------------------|-----------------|--------------------|-----------|
| | A | B | C | 医療機関 | 計 | 受診率 (%) E=D/A | HBs抗原のみ陽性 | HCV抗体のみ陽性 | HBs抗原HCV抗体ともに陽性 | H | I=(F+H)/D | HBs抗原陽性率 (%) I=(F+H)/D | HCV抗体陽性率 (%) J=(G+H)/D | 精受診者数 K | 精受診率 (%) L=K/(F+G+H) | 無症候性 キヤリア M | その他の 疾病 N | | がん疑い O |
| 鳥取市 | 57,252 | 497 | 1,500 | 1,997 | 3.5 | 35 | 5 | 0 | 1.8 | 0.3 | 28 | 70.0 | 23 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0.000 |
| 米子市 | 73,274 | 0 | 717 | 717 | 1.0 | 12 | 2 | 0 | 1.7 | 0.3 | 6 | 42.9 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 倉吉市 | 19,096 | 260 | 162 | 422 | 2.2 | 7 | 4 | 0 | 1.7 | 0.9 | 5 | 45.5 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 境港市 | 7,466 | 0 | 280 | 280 | 3.8 | 5 | 3 | 0 | 1.8 | 1.1 | 3 | 37.5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 岩美町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 八頭町 | 11,361 | 175 | 115 | 290 | 2.6 | 4 | 3 | 1 | 1.7 | 1.4 | 7 | 87.5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0.000 |
| 若桜町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 智頭町 | 3,489 | 33 | 8 | 41 | 1.2 | 2 | 0 | 0 | 4.9 | 0.0 | 2 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 湯梨浜町 | 6,106 | 174 | 51 | 225 | 3.7 | 4 | 0 | 0 | 1.8 | 0.0 | 3 | 75.0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 三朝町 | 2,767 | 58 | 37 | 95 | 3.4 | 3 | 1 | 0 | 3.2 | 1.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 北栄町 | 4,580 | 61 | 0 | 61 | 1.3 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 琴浦町 | 3,047 | 157 | 0 | 157 | 5.2 | 2 | 1 | 0 | 1.3 | 0.6 | 1 | 33.3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 南部町 | 5,069 | 44 | 79 | 123 | 2.4 | 1 | 1 | 0 | 0.8 | 0.8 | 2 | 100.0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.000 |
| 伯耆町 | 4,533 | 132 | 0 | 132 | 2.9 | 0 | 1 | 0 | 0.0 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 日吉津村 | 61 | 8 | 0 | 8 | 13.1 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 大山町 | 1,482 | 77 | 30 | 107 | 7.2 | 2 | 1 | 0 | 1.9 | 0.9 | 2 | 66.7 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.000 |
| 日南町 | 2,487 | 22 | 76 | 98 | 3.9 | 5 | 0 | 0 | 5.1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 日野町 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 江府町 | 1,575 | 24 | 0 | 24 | 1.5 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.000 |
| 合計 | 203,645 | 1,722 | 3,055 | 4,777 | 2.3 | 82 | 22 | 1 | 1.7 | 0.5 | 59 | 56.2 | 44 | 15 | 0 | 0 | 0 | 15 | 0.000 |
| 東部 | 72,102 | 705 | 1,623 | 2,328 | 3.2 | 41 | 8 | 1 | 1.8 | 0.4 | 37 | 74.0 | 29 | 8 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0.000 |
| 中部 | 35,596 | 710 | 250 | 960 | 2.7 | 16 | 6 | 0 | 1.7 | 0.6 | 9 | 40.9 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.000 |
| 西部 | 95,947 | 307 | 1,182 | 1,489 | 1.6 | 25 | 8 | 0 | 1.7 | 0.5 | 13 | 39.4 | 8 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0.000 |

※ がん発見率は、平成18年度報告から「がん」の者のみを計上。

(3) 平成7～24年度肝臓がん検診により発見された肝炎ウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成24年度B型肝炎ウイルス陽性者定期検査結果

| 年齢 | 健康指導対象者 (平成24年4月1日現在の実人員) | | 受診者数 (平成25年10月31日現在の実人員) | | 定期検査結果 | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------------------------|-------|-----------------------------|-----|---------------|-------------|---------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|---|---|---|
| | 健康指導対象者 | | 受診者数 | | 健康指導対象者診断名 | | | | | | 検査結果 | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 脂肪肝 | 慢性肝炎 | 肝硬変 | アルコール性肝障害 | 肝臓がん疑い | 肝臓がん | その他の疾病 | その他 | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 40～44歳 | 2 | 8 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 45～49歳 | 16 | 34 | 2 | 10 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50～54歳 | 32 | 59 | 7 | 19 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55～59歳 | 54 | 95 | 12 | 35 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60～64歳 | 78 | 153 | 30 | 66 | 18 | 8 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65～69歳 | 126 | 176 | 50 | 92 | 33 | 11 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70～74歳 | 95 | 169 | 49 | 105 | 36 | 11 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75～79歳 | 88 | 143 | 51 | 65 | 35 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80歳以上 | 78 | 170 | 37 | 64 | 27 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 569 | 1,007 | 239 | 458 | 163 | 54 | 5 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 9 | 1 | 3 |
| 合計 (比率%) | 1,576 | | 697 (100) | | 522 (74.9) | 28 (4.0) | 113 (16.2) | 10 (1.4) | 1 (0.1) | 3 (0.4) | 5 (0.7) | 11 (1.6) | 4 (0.6) | | | |

2) 平成24年度C型肝炎ウイルス陽性者定期検査結果

| 年齢 | 健康指導対象者 (平成24年4月1日現在の実人員) | | 受診者数 (平成25年10月31日現在の実人員) | | 定期検査結果 | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------------------------|-----|-----------------------------|-----|---------------|---------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|---|---|---|
| | 健康指導対象者 | | 受診者数 | | 健康指導対象者診断名 | | | | | | 検査結果 | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 脂肪肝 | 慢性肝炎 | 肝硬変 | アルコール性肝障害 | 肝臓がん疑い | 肝臓がん | その他の疾病 | その他 | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 40～44歳 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 45～49歳 | 5 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50～54歳 | 4 | 10 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55～59歳 | 15 | 14 | 5 | 3 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60～64歳 | 26 | 37 | 11 | 15 | 3 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65～69歳 | 24 | 57 | 11 | 27 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70～74歳 | 41 | 89 | 15 | 50 | 4 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75～79歳 | 66 | 153 | 34 | 77 | 10 | 22 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80歳以上 | 90 | 261 | 48 | 91 | 20 | 22 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 273 | 624 | 126 | 269 | 40 | 65 | 6 | 1 | 0 | 1 | 3 | 4 | 8 | 3 | 1 | 1 |
| 合計 (比率%) | 897 | | 395 (100) | | 139 (35.2) | 204 (51.6) | 14 (3.5) | 1 (0.3) | 4 (1.0) | 12 (3.0) | 11 (2.8) | 4 (1.0) | 4 (1.0) | | | |

※ 「その他」は、転出、死亡、入院中の者及び医師が他の疾病の罹患等により、当事業でのフォローは不必要であると認められた者を指す。

(4) 平成7～24年度肝臓がん検診結果

| 年齢 | 一次検診 受診者数(人) a | | HBs抗原陽性 | | | | | HCV抗体陽性 | | | | |
|--------|----------------------|--------|-----------|-------|-------------------|------|------|-----------|-------|-------------------|------|------|
| | | | 陽性者数 b | | 陽性率(%) c = b/a | | | 陽性者数 d | | 陽性率(%) e = d/a | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 40～44歳 | 3,234 | 6,967 | 99 | 163 | 3.06 | 2.34 | 2.57 | 37 | 47 | 1.14 | 0.67 | 0.82 |
| 45～49歳 | 2,777 | 6,242 | 121 | 203 | 4.36 | 3.25 | 3.59 | 38 | 99 | 1.37 | 1.59 | 1.52 |
| 50～54歳 | 3,045 | 7,722 | 132 | 251 | 4.33 | 3.25 | 3.56 | 39 | 156 | 1.28 | 2.02 | 1.81 |
| 55～59歳 | 3,839 | 9,620 | 113 | 278 | 2.94 | 2.89 | 2.91 | 75 | 248 | 1.95 | 2.58 | 2.40 |
| 60～64歳 | 7,982 | 14,104 | 237 | 280 | 2.97 | 1.99 | 2.34 | 198 | 466 | 2.48 | 3.30 | 3.01 |
| 65～69歳 | 9,224 | 14,146 | 237 | 281 | 2.57 | 1.99 | 2.22 | 296 | 518 | 3.21 | 3.66 | 3.48 |
| 70～74歳 | 8,110 | 12,260 | 143 | 213 | 1.76 | 1.74 | 1.75 | 307 | 458 | 3.79 | 3.74 | 3.76 |
| 75～79歳 | 3,442 | 5,616 | 63 | 78 | 1.83 | 1.39 | 1.56 | 148 | 223 | 4.30 | 3.97 | 4.10 |
| 80歳以上 | 2,433 | 4,057 | 29 | 64 | 1.19 | 1.58 | 1.43 | 110 | 146 | 4.52 | 3.60 | 3.94 |
| 計 | 44,086 | 80,734 | 1,174 | 1,811 | 2.66 | 2.24 | 2.39 | 1,248 | 2,361 | 2.83 | 2.92 | 2.89 |
| 合計 | 124,820 | | 2,985 | | 2.39 | | | 3,609 | | 2.89 | | |

(5) 肝臓がん検診及び定期検査による発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成24年度定期検査による発見がんまたはがん疑い

| No | 年齢 | 性 | 診断 | 初回治療 | 治療日 | 病巣数 | 部位 | 大きさ | 型 | 肝硬変 | ウイルス | AFP |
|----|----|---|----------------|---------|----------|-----|--------|-------|----|-----|------|-------|
| 1 | 84 | 男 | 転移性肝臓がん(肺大細胞癌) | | | | | | | | B | 2 |
| 2 | 75 | 男 | 肝臓がん | RFA | 13.10.2 | 単発 | S7 | 15×14 | 腫瘍 | 有 | B | 52 |
| 3 | 75 | 男 | 肝臓がん | 切除 | 11.6. | | | | | 有 | B | 17 |
| 4 | 70 | 女 | 肝臓がん | PEI | 12.5.9 | 単発 | S4 | 27×20 | 腫瘍 | 有 | C | 21 |
| 5 | 83 | 男 | 肝臓がん | TAE | 11.8.30 | 単発 | S6 | 35×30 | 腫瘍 | 無 | C | 5 |
| 6 | 75 | 女 | 肝臓がん | RFA | 8.10. | 単発 | S5 | 20×20 | 腫瘍 | 無 | C | 9.2 |
| 7 | 80 | 女 | 肝臓がん | TAE | 12.11.20 | 単発 | S1 | 40×40 | 腫瘍 | 無 | C | 5.7 |
| 8 | 86 | 男 | 肝臓がん | T/R | 13.11 | 3個 | S146 | 13×13 | 腫瘍 | 無 | C | 36.6 |
| 9 | 78 | 女 | 肝臓がん | RFA | 12.3.1 | 単発 | S4 | 8×9 | 腫瘍 | 有 | C | 16.2 |
| 10 | 82 | 女 | 肝臓がん | RFA | 12.3.14 | 単発 | S7 | 13×9 | 腫瘍 | 有 | C | 10.1 |
| 11 | 87 | 女 | 肝臓がん | TAE | 12.7.6 | 2個 | S3 | 20×15 | 腫瘍 | 有 | C | 414.5 |
| 12 | 85 | 女 | 肝臓がん | RFA | 12.2.13 | 単発 | S5 | 10×17 | 腫瘍 | 無 | C | 15.2 |
| 13 | 76 | 男 | 肝臓がん | TAE | 12.6.20 | >4個 | S45678 | 55×52 | 腫瘍 | 有 | C | 82 |
| 14 | 81 | 女 | 肝臓がん | TAE | 10.11.10 | 単発 | S3 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | |
| 15 | 77 | 女 | 癌なし | | | | | | | | B | 2.2 |
| 16 | 65 | 女 | 肝臓がん | 18年度報告済 | | | | | | | B | |
| 17 | 73 | 女 | 肝臓がん | 18年度報告済 | | | | | | | B | |
| 18 | 78 | 男 | 肝臓がん | 21年度報告済 | | | | | | | B | |
| 19 | 59 | 女 | 肝臓がん | 22年度報告済 | | | | | | | B | |
| 20 | 85 | 男 | 肝臓がん | 18年度報告済 | | | | | | | C | |
| 21 | 88 | 女 | 肝臓がん | 18年度報告済 | | | | | | | C | |
| 22 | 69 | 男 | 肝臓がん | 22年度報告済 | | | | | | | C | |
| 23 | 80 | 女 | 肝臓がん | 22年度報告済 | | | | | | | C | |
| 24 | 79 | 女 | 肝臓がん | 22年度報告済 | | | | | | | C | |

2) 平成7年度～平成23年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

| No. | 年齢 | 性 | 初回治療 | 治療日 | 病巣数 | 部位 | 大きさ | 型 | 肝硬変 | ウイルス | 備考 |
|-----|----|---|------|------------|-----|---------|---------|----|-----|------|---------------|
| 1 | 71 | 男 | 切除 | 95. 8. | 単発 | | | 腫瘍 | 有 | C | 再発、6年11か月後死亡 |
| 2 | 63 | 男 | 切除 | 97. 2. 26 | 単発 | S8 | 30×30 | 腫瘍 | 有 | C | 4年6か月後死亡 |
| 3 | 71 | 男 | TAE | 97. 7. 16 | 2個 | S68 | 30×30 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、5年9か月後死亡 |
| 4 | 63 | 女 | PEIT | 97. 12. 3 | 単発 | S2 | 10×10 | 腫瘍 | 無 | C | 12年11か月後他病死 |
| 5 | 59 | 男 | TAE | 98. 5. | 単発 | S8 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | B | 再発、3年2か月後死亡 |
| 6 | 76 | 女 | TAE | 98. 6. 30 | 単発 | S8 | 30×30 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、2年3か月後死亡 |
| 7 | 70 | 男 | 切除 | 98. 9. 1 | 単発 | S8 | 40×30 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、2年9か月後死亡 |
| 8 | 68 | 男 | MCT | 99. 1. 25 | 4個 | S2377 | 27×27 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年5か月後死亡 |
| 9 | 83 | 男 | TAE | 99. 2. 11 | >4個 | S35678 | 40×30 | 腫瘍 | 有 | C | 11か月後死亡 |
| 10 | 79 | 男 | TAE | 99. 6. 9 | 単発 | S8 | | 浸潤 | 有 | C | 8か月後死亡 |
| 11 | 64 | 男 | 切除 | 00. 2. 8 | 2個 | S5/6. 4 | 75×70 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、3年6か月後死亡 |
| 12 | 79 | 女 | TAE | 00. 3. 1 | 単発 | S6 | 10×10 | 腫瘍 | 有 | B | 8年8か月後死亡 |
| 13 | 66 | 男 | 切除 | 00. 9. 27 | 2個 | S65 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | B | 再発、4年2か月後死亡 |
| 14 | 82 | 男 | TAE | 00. 4. 5 | 単発 | S4 | 55×40 | 腫瘍 | 有 | C | 1年2か月後他病死 |
| 15 | 74 | 女 | 切除 | 00. 2. 28 | 単発 | S2 | 32×32 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、4年4か月後死亡 |
| 16 | 64 | 女 | TAI | 99. 10. 14 | >4個 | S23457 | 10×10 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、5年8か月後死亡 |
| 17 | 75 | 男 | TAE | 00. 4. 19 | 単発 | S7 | 30×30 | 腫瘍 | 無 | C | 4年5か月後死亡 |
| 18 | 75 | 男 | TAE | 97. 11. | >4個 | S4568 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 4年1か月後他病死 |
| 19 | 86 | 男 | PEIT | 00. 8. 18 | 単発 | S4 | 15×15 | 腫瘍 | 無 | C | 7年9か月後他病死 |
| 20 | 70 | 女 | | 01. 7. 2 | | | | | | C | 同月死亡 |
| 21 | 65 | 男 | 切除 | 98. 2. 5 | 単発 | S1 | 90×90 | 腫瘍 | 有 | B | 3年10か月後死亡 |
| 22 | 67 | 男 | 切除 | 01. 11. 19 | 単発 | S8 | 13×13 | 腫瘍 | 有 | B | 3年8か月後再発 |
| 23 | 76 | 女 | T/P | 01. 8. 1 | 単発 | S7 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、4年3か月後死亡 |
| 24 | 66 | 女 | TAE | 01. 7. 26 | 単発 | S7 | 10×10 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 25 | 75 | 女 | T/P | 02. 3. 4 | 単発 | S5/6 | 37×31 | 腫瘍 | 無 | C | 5年1か月後他病死 |
| 26 | 73 | 男 | TAE | 01. 4. 10 | 単発 | S5 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 7か月後死亡 |
| 27 | 76 | 女 | T/P | 02. 10. 10 | 単発 | S5 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 2年1か月後他病死 |
| 28 | 79 | 女 | TAE | 01. 6. 27 | >4個 | S2457 | 40×40 | 腫瘍 | 無 | C | 1年10か月後死亡 |
| 29 | 79 | 女 | 切除 | 03. 2. 26 | 単発 | S3 | 30×30 | 浸潤 | 有 | C | 再発、3年6か月後死亡 |
| 30 | 82 | 女 | RFA | 03. 5. 26 | 単発 | S5 | 35×35 | 腫瘍 | 無 | B | 再発、2年5か月後死亡 |
| 31 | 78 | 女 | T/R | 02. 9. 24 | 単発 | S8 | 40×40 | 腫瘍 | 無 | C | 1年3か月後他病死 |
| 32 | 75 | 男 | 切除 | 03. 6. 3 | 単発 | S6 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | B | 4年後再発 |
| 33 | 76 | 男 | 切除 | 04. 3. 10 | 2個 | S28 | 50×50 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、3年5か月後死亡 |
| 34 | 76 | 男 | MCT | 03. 8. 14 | 単発 | S8 | 25×20 | 腫瘍 | 有 | C | 2年4か月後再発 |
| 35 | 83 | 男 | PEIT | 03. 5. 30 | 単発 | S5/6 | 22×21 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、6年8か月後死亡 |
| 36 | 80 | 男 | RFA | 04. 8. 3 | >4個 | S13468 | 30×25 | 腫瘍 | 有 | C | 3年10か月後死亡 |
| 37 | 91 | 女 | 未治療 | | >4個 | S3478 | 100×100 | 腫瘍 | 不明 | C | 2か月後死亡 |
| 38 | 74 | 女 | TAE | | >4個 | | | 腫瘍 | 無 | C | 2年10か月後死亡 |
| 39 | 75 | 女 | TAE | 03. 10. | 単発 | S8 | 23×23 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、4年2か月後死亡 |
| 40 | 79 | 男 | RFA | 04. 3. 15 | 単発 | S8 | 30×20 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、6年4か月後死亡 |
| 41 | 56 | 男 | RFA | 04. 4. 7 | 単発 | S7/8 | 23×26 | 腫瘍 | 有 | B | 無再発生存中 |
| 42 | 78 | 女 | TAE | 04. 5. 19 | 単発 | S5 | 25×25 | 腫瘍 | 不明 | C | 再発、7年3か月後死亡 |
| 43 | 75 | 男 | TAI | 05. 1. 6 | 3個 | S568 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、1年3か月後死亡 |
| 44 | 68 | 男 | 切除 | 04. 9. 13 | 単発 | S6 | 30×20 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、8年2か月後死亡 |
| 45 | 72 | 女 | T/R | 04. 10. | 2個 | S86 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | B/C | 再発、1年5か月後死亡 |
| 46 | 62 | 男 | TAE | 03. 4. | 不明 | 不明 | 不明 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、3年後死亡 |
| 47 | 86 | 女 | TAE | 04. 6. | 単発 | S8 | 40×40 | 腫瘍 | 有 | C | 5か月後死亡 |
| 48 | 73 | 男 | 切除 | 00. 3. | 不明 | 不明 | 10×10 | 不明 | 有 | B | 再発、6年後死亡 |
| 49 | 76 | 男 | 切除 | 05. 5. 12 | 単発 | S7/8 | 90×80 | 腫瘍 | 無 | B | 4年3か月後再発 |
| 50 | 64 | 男 | TAE | 09. 1. | 単発 | S5 | 10×10 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年3か月後死亡 |
| 51 | 73 | 女 | 未治療 | | >4個 | S278 | 7×7 | 腫瘍 | 有 | C | 4年10か月後死亡 |
| 52 | 75 | 男 | 切除 | 06. 3. 29 | 単発 | S7/8 | 43×25 | 浸潤 | 無 | C | 再発、6年2か月後死亡 |
| 53 | 74 | 男 | RFA | 04. 9. 6 | 単発 | S7 | 18×18 | 腫瘍 | 有 | C | 5年5か月後死亡 |
| 54 | 75 | 男 | T/R | 05. 8. | 2個 | S67 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 4年2か月後死亡 |
| 55 | 87 | 女 | 未治療 | | 単発 | S2 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 4年後他病死 |
| 56 | 89 | 女 | T/P | 05. 12. | 単発 | S2 | 15×15 | 腫瘍 | 無 | C | 4年1か月後他病死 |
| 57 | 82 | 女 | T/R | 05. 10. | 単発 | S6 | 50×50 | 腫瘍 | 無 | C | 1年9か月後他病死 |
| 58 | 77 | 女 | 切除 | 04. 11. 7 | 2個 | S68 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 2年11か月後再発 |
| 59 | 59 | 女 | RFA | 06. 1. | 単発 | S5 | 13×12 | 腫瘍 | 無 | B/C | 再発、7年7か月後死亡 |
| 60 | 67 | 女 | RFA | 04. 4. | 単発 | S5 | 15×15 | 腫瘍 | 無 | B | 6年3か月後再発 |
| 61 | 68 | 男 | 肝癌否定 | | (単) | S6 | 13×13) | | 無 | B | 生存中 |
| 62 | 69 | 男 | TAE | 07. 11. 14 | 2個 | S57 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年6か月後死亡 |
| 63 | 79 | 男 | TAE | 06. 11. | 多発 | 両葉 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 1年10か月後死亡 |
| 64 | 87 | 女 | T/R | 06. 11. 15 | 単発 | S4 | 16×23 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、6年4か月後死亡 |
| 65 | 79 | 男 | T/R | 06. 11. 20 | 単発 | S8 | 30×30 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 66 | 82 | 女 | TAE | 06. 3. 14 | 単発 | S8 | 35×35 | 腫瘍 | 無 | C | 3年7か月後再発 |
| 67 | 69 | 男 | 切除 | 06. 9. 26 | 2個 | S67 | 22×20 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 68 | 72 | 女 | TAE | 06. 5. 18 | 単発 | S6 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、4年10か月後死亡 |
| 69 | 81 | 女 | 切除 | 97. 3. 24 | 単発 | S8 | | 腫瘍 | 無 | C | 再発、12年11か月後死亡 |
| 70 | 80 | 男 | T/R | 06. 8. 31 | >4個 | S84 | 31×27 | 腫瘍 | 有 | C | 4年9か月後再発 |
| 71 | 73 | 女 | TAE | 06. 2. 21 | >4個 | S853 | 37×31 | 腫瘍 | 有 | C | 1年6か月後死亡 |
| 72 | 64 | 男 | 切除 | 07. 1. 12 | 単発 | S5 | 35×35 | 腫瘍 | 無 | C | 2年10か月後再発 |
| 73 | 82 | 女 | TAE | 06. 9. 6 | 単発 | S1 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、1年後死亡 |

| No. | 年齢 | 性 | 初回治療 | 治療日 | 病巣数 | 部位 | 大きさ | 型 | 肝硬変 | ウイルス | 備考 |
|-----|----|----|-----------|------------|-----|------------|-------|----|-----|------|-------------|
| 74 | 80 | 男女 | RFA | 02. 9. | 単 発 | S8 | | 腫瘍 | 有 | C | 再発、9年6か月後死亡 |
| 75 | 63 | 男女 | T/R | 07. 5. 8 | 単 発 | S8 | 16×16 | | | B | 7年1か月後再発 |
| 76 | 73 | 男女 | M/R | 03. 8. 5 | >4個 | S348 | 15×15 | | 無 | B | 再発、8年後死亡 |
| 77 | 73 | 男女 | 切除 | 05. 3. 14 | 単 発 | S45 | 42×28 | 腫瘍 | 無 | B | 再発、3年後死亡 |
| 78 | 74 | 男女 | 切除 | 06. 12. 21 | 単 発 | S458 | 35×30 | 腫瘍 | 無 | C | 4年7か月後再発 |
| 79 | 60 | 男女 | RFA | 07. 7. | 単 発 | S7 | 17×12 | 腫瘍 | 無 | C | 3年4か月後再発 |
| 80 | 87 | 男女 | 未治療 | | 単 発 | S6 | 66×56 | 腫瘍 | 無 | C | 2年7か月後他病死 |
| 81 | 80 | 男女 | TAE | 03. 3. | 単 発 | S2/3 | 20×20 | | | C | 再発、8年7か月後死亡 |
| 82 | 77 | 男女 | TAE | 08. 10. 7 | 単 発 | S6 | 50×50 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、2年後死亡 |
| 83 | 70 | 男女 | RFA | | 単 発 | S5 | 12×12 | 腫瘍 | 有 | B | 無再発生存中 |
| 84 | 77 | 男女 | TAE | 09. 3. 24 | 2 個 | S58 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 1年3か月後肝不全死 |
| 85 | 84 | 男女 | T/P | 09. 9. 7 | 単 発 | S7 | 30×30 | 腫瘍 | 有 | C | 無再発生存中 |
| 86 | 72 | 男女 | TAE | 09. 12. 18 | >4個 | | 40×40 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年2か月後死亡 |
| 87 | 79 | 男女 | TAE | 10. 11. 18 | 2 個 | S8/3 | 40×35 | 腫瘍 | 有 | C | 無再発生存中 |
| 88 | 89 | 男女 | TAE | 09. 10. 6 | >4個 | | 20×20 | 腫瘍 | | C | 3年9か月後死亡 |
| 89 | 76 | 男女 | T/R | 09. 10. 6 | 単 発 | S3 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 無再発生存中 |
| 90 | 76 | 男女 | T/R | 09. 7. 22 | 2 個 | S3/5 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 1年7か月後死亡 |
| 91 | 79 | 男女 | T/R | 10. 3. 25 | 単 発 | S7 | 23×23 | | 有 | C | 2年11ヶ月後他病死 |
| 92 | 85 | 男女 | 切除 | 10. 3. | 単 発 | S3 | 25×25 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、3年後死亡 |
| 93 | 66 | 男女 | TAE | 09. 7. | >4個 | S1 | | 浸潤 | 有 | B | 1年10か月後死亡 |
| 94 | 73 | 男女 | 切除 | 09. 10. 20 | 単 発 | S5 | 40×40 | 腫瘍 | 無 | B | 無再発生存中 |
| 95 | 68 | 男女 | 切除 | 09. 8. 21 | >4個 | S348 | 15×15 | 腫瘍 | 無 | B | 生存中 |
| 96 | 75 | 男女 | TAE | 08. 1. | >4個 | S2458 | 38×25 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、5年3か月後死亡 |
| 97 | 78 | 男女 | 精査中 | | | | | | | C | |
| 98 | 75 | 男女 | TAE | 07. 2. 11 | 単 発 | S6 | | | 無 | B | 7か月後再発 |
| 99 | 66 | 男女 | TAE | 11. 1. 20 | 2 個 | S5/6 | 12×12 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 100 | 80 | 男女 | RFA | 10. 11. 09 | 単 発 | S6~7 | 18×18 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 101 | 64 | 男女 | TAE | 10. 11. | 単 発 | S6 | 5×5 | 腫瘍 | 無 | C | 2年1か月後再発 |
| 102 | 75 | 男女 | 切除 | 08. 7. 30 | | | | | 無 | C | 無再発生存中 |
| 103 | 75 | 男女 | TAE | 10. 12. 08 | >4個 | S2/5/6/7/8 | 20×17 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、2年5か月後死亡 |
| 104 | 69 | 男女 | RFA | 10. 4. | 単 発 | S6 | 18×18 | | 無 | C | 無再発生存中 |
| 105 | 79 | 男女 | TAI | 09. 10. 26 | 2 個 | S7/8 | 18×15 | 腫瘍 | | C | 2年8か月後死亡 |
| 106 | 71 | 男女 | 切除 | 07. 8. 17 | 単 発 | S2~3 | 60×60 | 腫瘍 | 有 | B | 再発、4年5か月後死亡 |
| 107 | 85 | 男女 | RFA | 10. 7. | 2 個 | S4/7 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 2年5か月後再発 |
| 108 | 84 | 男女 | RFA | 09. 10. 30 | 単 発 | S8 | 15×15 | 腫瘍 | 有 | C | 無再発生存中 |
| 109 | 65 | 男女 | T/R | 10. 3. | 単 発 | S5 | 24×24 | | 有 | B | 2年5か月後再発 |
| 110 | 57 | 男女 | 切除 | 11. 1. 18 | 単 発 | S6 | 40×25 | 腫瘍 | 有 | B | 無再発生存中 |
| 111 | 78 | 男女 | 未確定 経過観察中 | | 単 発 | S5 | 5×5 | | 有 | C | 5か月後腫瘍消失 |
| 112 | 87 | 男女 | RFA | 11. 4. 7 | 単 発 | S5 | 15×16 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 113 | 67 | 男女 | 精査中 | | | | | | | C | |
| 114 | 77 | 男女 | RFA | 11. 7. | 単 発 | S8 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 1年2か月後再発 |
| 115 | 92 | 男女 | TAE | 11. 10. 4 | 単 発 | S8 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 3か月後再発 |
| 116 | 78 | 男女 | T/R | 10. 3. 24 | 単 発 | S2/3 | 19×18 | 腫瘍 | 有 | C | 9か月後再発 |
| 117 | 76 | 男女 | 切除 | 11. 7. 26 | 単 発 | S7 | 80×75 | 腫瘍 | 無 | C | 無再発生存中 |
| 118 | 75 | 男女 | RFA | 11. 7. | 単 発 | S6 | 14×14 | 腫瘍 | 有 | B | 無再発生存中 |

3) 平成7年度～平成23年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

| No. | 年齢 | 性 | 初回治療 | 治療日 | 病巣数 | 部位 | 大きさ | 型 | 肝硬変 | ウイルス | 備考 |
|-----|----|----|-------|------------|---------|-------|---------|----|-----|------|--------------|
| 1 | 74 | 男女 | 切除 | 95. 10. 24 | 単 発 | S4 | 55×55 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、7年7か月後死亡 |
| 2 | 70 | 男女 | TAE | 96. 2. 20 | 単 発 | S8 | 40×38 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、2年1か月後死亡 |
| 3 | 63 | 男女 | 切除 | 96. 3. 13 | 単 発 | S7 | 30×23 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、15年1か月後死亡 |
| 4 | 83 | 男女 | TAE | 96. 7. 15 | 単 発 | S4 | 12×12 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、3年9か月後死亡 |
| 5 | 74 | 男女 | TAE | 96. 8. 29 | >4個 | S5678 | 35×35 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、1年8か月後死亡 |
| 6 | 64 | 男女 | TAE | 96. 10. 25 | >4個 | S67 | 67×57 | 腫瘍 | 無 | B | 9か月後死亡 |
| 7 | 72 | 男女 | TAE | 96. 11. 1 | 2 個 | S6 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | — | 再発、1年1か月後死亡 |
| 8 | 70 | 男女 | PEIT | 96. 11. 22 | 単 発 | S5 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、5年2か月後死亡 |
| 9 | 69 | 男女 | PEIT | 97. 1. 7 | 単 発 | S7 | 10×9 | 腫瘍 | 無 | C | 再発、6年1か月後死亡 |
| 10 | 73 | 男女 | TAE | 97. 11. 17 | >4個 | S234 | 80×60 | 腫瘍 | 無 | C | 3か月後死亡 |
| 11 | 61 | 男女 | TAE | 97. 11. 17 | 3 個 | S568 | 15×10 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、2年3か月後死亡 |
| 12 | 75 | 男女 | TAE | 97. 12. 4 | 単 発 | S7/8 | 40×32 | 腫瘍 | 有 | C | 7か月後死亡 |
| 13 | 57 | 男女 | TAE | 98. 3. 3 | 単 発 | S1 | 70×50 | 腫瘍 | 有 | B | 1年後死亡 |
| 14 | 80 | 男女 | 切除 | 98. 7. 31 | 単 発 | S5/6 | 25×25 | 腫瘍 | 無 | C | 9か月後死亡 |
| 15 | 49 | 男女 | RES | 99. 12. 15 | >4個 | S4568 | 80×80 | 浸潤 | 無 | B | 4か月後死亡 |
| 16 | 69 | 男女 | 切除 | 00. 12. 23 | 単 発 | S8 | 50×50 | 腫瘍 | 無 | — | 再発、1年5か月後死亡 |
| 17 | 66 | 男女 | TAE | 01. 9. 19 | 単 発 | S6 | 100×100 | 腫瘍 | 無 | C | 1年10か月後死亡 |
| 18 | 72 | 男女 | PEIT | 04. 8. 2 | 2 個 | S1. 5 | 25×25 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年11か月後死亡 |
| 19 | 83 | 男女 | T/R/P | 05. 10. 17 | 2 個 | S1. 4 | 30×30 | 腫瘍 | 有 | C | 再発、3年11か月死亡 |
| 20 | 67 | 男女 | 切除 | 06. 08. 09 | 単 発 | S8 | 25×25 | | | B | 無再発生存中 |
| 21 | 79 | 男女 | T/R | 06. 11. | 単 発 | S8 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 3年後再発 |
| 22 | 72 | 男女 | 切除 | 08. 4. 21 | 単 発 | 右葉 | 100×100 | | | C | 37日後死亡 |
| 23 | 60 | 男女 | TAE | 08. 4. | >4個 | 両葉 | 40×40 | 腫瘍 | 有 | C | 2年6か月後死亡 |
| 24 | 61 | 男女 | 動注/放射 | 11. 10. | 11. 10. | 骨転移あり | | | | B | 10か月後死亡 |
| 25 | 78 | 男女 | 切除 | 12. 4. 19 | 単 発 | S3 | 20×20 | 腫瘍 | 有 | C | 1年5か月後再発 |

7. 全国がん検診実績との比較

平成23年度

(単位：人 %)

| 区 分 | | 平成23年度実績 (鳥取県) | 平成23年度実績 (全国) | 留 意 事 項 |
|--------------------------------------|-----------|-------------------|------------------|--|
| 胃 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 41,317,408 | ○受診者・がん発見 = (鳥取県)「X線」「内視鏡」の合計値 (全国)「X線」のみ ○要精検者・精検受診者 = 「X線」のみの数値 ○精検受診者は精検結果未把握の者を除く (以下の部位も同じ) |
| | 受診者数 (人) | 44,515 | 3,789,305 | |
| | 受診率 (%) | 23.4 | 9.2 | |
| | 受診率順位 | 2位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 1,247 | 346,634 | |
| | 要精検率 (%) | 8.30 | 9.15 | |
| | 精検受診者数(人) | 1,022 | 279,185 | |
| | 精検受診率 (%) | 82.0 | 80.5 | |
| | がんの者 (人) | 159 | 6,177 | |
| | がん発見率 (%) | 0.36 | 0.16 | |
| 子 宮 頸 部 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 135,485 | 33,641,302 | ○「頸部のみ」の数値 ○全国と比較するための受診率 全国は隔年検診であるため、比較のため受診率()を算定している。 $\frac{(\text{前年度受診者数}) + (\text{当該年度受診者数}) - (\text{前年度及び当該年度2年連続受診者数})}{\text{当該年度の対象者数}}$ ※受診率の計算 (厚生労働省老人保健事業報告数値を使用) 全国 $\frac{(4,666,826) + (4,495,338) - (1,168,082)}{(33,641,302)} = 23.8$ 鳥取 $\frac{(28,453) + (28,247) - (15,075)}{(135,485)} = 30.7$ |
| | 受診者数 (人) | 28,247 | 4,495,338 | |
| | 受診率 (%) | 20.8 (30.7) | (23.8) | |
| | 受診率順位 | (7)位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 174 | 79,280 | |
| | 要精検率 (%) | 0.62 | 1.76 | |
| | 精検受診者数(人) | 140 | 53,876 | |
| | 精検受診率 (%) | 80.5 | 68.0 | |
| | がんの者 (人) | 23 | 3,452 | |
| | がん発見率 (%) | 0.08 | 0.08 | |
| 肺 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 41,610,612 | ○「X線のみ」「X線及び喀痰」の合計値 (「喀痰のみ」は除く) ※全国は「喀痰のみ」を含めた数値で算定 |
| | 受診者数 (人) | 48,513 | 7,090,163 | |
| | 受診率 (%) | 25.5 | 17.0 | |
| | 受診率順位 | 15位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 2,467 | 190,160 | |
| | 要精検率 (%) | 5.09 | 2.68 | |
| | 精検受診者数(人) | 2,208 | 148,134 | |
| | 精検受診率 (%) | 89.5 | 77.9 | |
| | がんの者 (人) | 44 | 4,223 | |
| | がん発見率 (%) | 0.09 | 0.06 | |

| 区 分 | | 平成22年度実績 (鳥取県) | 平成22年度実績 (全国) | 留 意 事 項 |
|----------------------------|-----------|-------------------|------------------|--|
| 乳 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 118,248 | 25,535,265 | ○「視触診方式及びマンモグラフィ」の併用者を計上 ○全国と比較するための受診率 全国は隔年検診であるため、比較のため受診率()を算定している。 $\frac{(\text{前年度受診者数}) + (\text{当該年度受診者数}) - (\text{前年度及び当該年度2年連続受診者数})}{\text{当該年度の対象者数}}$ ※受診率の計算(厚生労働省老人保健事業報告数値を使用) 全国 $\frac{(2,541,993) + (2,509,946) - (400,863)}{(25,535,265)} = 18.2$ 鳥取 $\frac{(17,726) + (18,194) - (1,236)}{(118,248)} = 29.3$ |
| | 受診者数 (人) | 18,194 | 2,509,946 | |
| | 受診率 (%) | 15.4 (29.3) | (18.2) | |
| | 受診率順位 | (4)位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 1,362 | 210,246 | |
| | 要精検率 (%) | 7.49 | 8.38 | |
| | 精検受診者数(人) | 1,275 | 177,446 | |
| | 精検受診率 (%) | 93.6 | 84.4 | |
| | がんの者 (人) | 72 | 8,037 | |
| | がん発見率 (%) | 0.40 | 0.32 | |
| 大 腸 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 42,446,412 | |
| | 受診者数 (人) | 52,192 | 7,671,097 | |
| | 受診率 (%) | 27.4 | 18.0 | |
| | 受診率順位 | 4位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 4,307 | 543,098 | |
| | 要精検率 (%) | 8.25 | 7.08 | |
| | 精検受診者数(人) | 3,340 | 341,954 | |
| | 精検受診率 (%) | 77.5 | 63.0 | |
| | がんの者 (人) | 131 | 16,728 | |
| | がん発見率 (%) | 0.25 | 0.22 | |

(出典) 鳥取県数値 = 鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会資料

全国数値 = 地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)

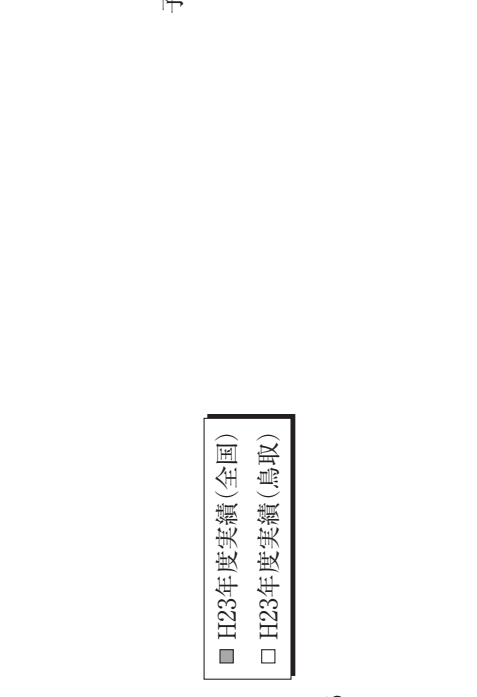
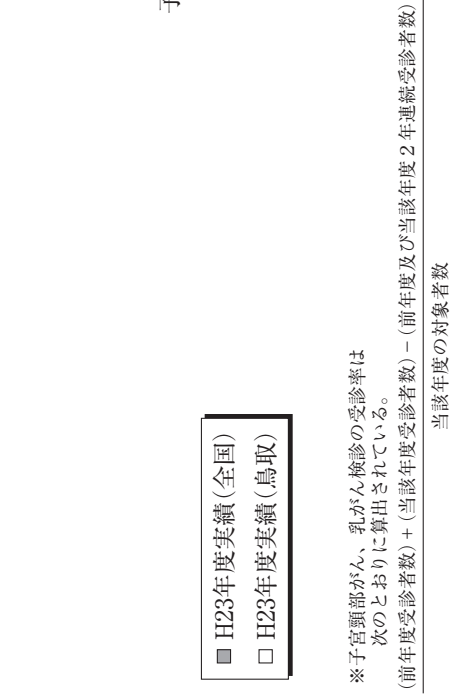
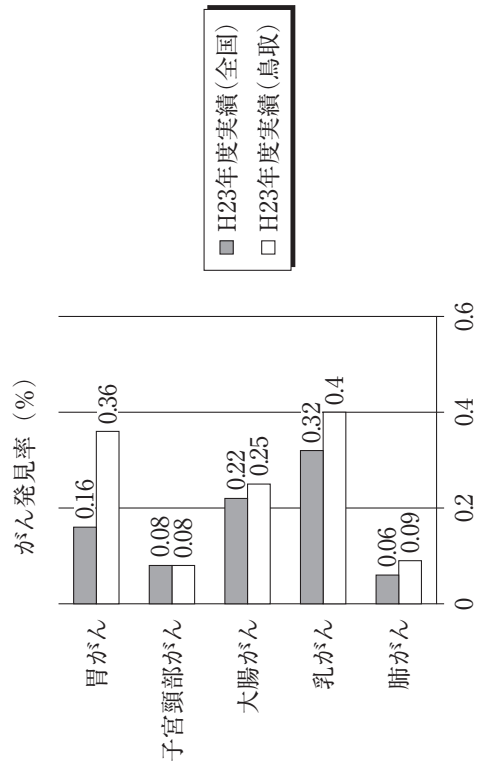
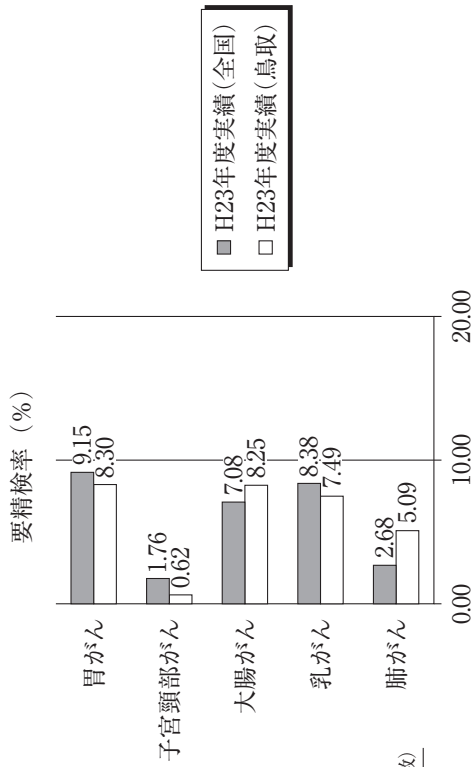
(注) 1 鳥取県の数値は、県が独自に調査した結果であり、厚生労働省による調査結果である「地域保健・健康増進事業報告」に記載された数値とは異なる場合がある。

2 受診率順位は厚生労働省地域保健・健康増進事業報告数値と比較した順位

3 全国の精検受診者は国が発表していないため、次により算定

精検受診者 = 「要精検者 - (未受診者 + 精検結果未把握の者)」

平成23年度全国がん検診実績との比較



※子宮頸部がん、乳がん検診の受診率は、次のおりに算出されている。
 (前年度受診者数) + (当該年度受診者数) - (前年度及び当該年度2年連続受診者数) / 当該年度の対象者数

平成24年度

(単位：人 %)

| 区 分 | | 平成24年度実績 (鳥取県) | 平成24年度実績 (全国) | 留 意 事 項 |
|--------------------------------------|-----------|-------------------|------------------|--|
| 胃 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 41,934,081 | ○受診者・がん発見 = (鳥取県)「X線」「内視鏡」の合計値 (全国)「X線」のみ ○要精検者・精検受診者 = 「X線」のみの数値 ○精検受診者は精検結果未把握の者を除く (以下の部位も同じ) |
| | 受診者数 (人) | 46,962 | 3,788,204 | |
| | 受診率 (%) | 24.6 | 9.0 | |
| | 受診率順位 | 2位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 1,396 | | |
| | 要精検率 (%) | 9.15 | | |
| | 精検受診者数(人) | 1,166 | | |
| | 精検受診率 (%) | 83.5 | | |
| | がんの者 (人) | 157 | | |
| がん発見率 (%) | 0.33 | | | |
| 子 宮 頸 部 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 135,485 | 33,245,712 | ○「頸部のみ」の数値 ○全国と比較するための受診率 全国は隔年検診であるため、比較のため受診率 () を算定している。 $\frac{(\text{前年度受診者数}) + (\text{当該年度受診者数}) - (\text{前年度及び当該年度2年連続受診者数})}{\text{当該年度の対象者数}}$ ※受診率の計算 (厚生労働省老人保健事業報告数値を使用) 全国 $\frac{(4,492,608) + (4,495,338) - (1,177,050)}{(33,245,712)} = 23.5$ 鳥取 $\frac{(28,206) + (29,332) - (15,433)}{(142,251)} = 29.6$ |
| | 受診者数 (人) | 29,307 | 4,492,608 | |
| | 受診率 (%) | 21.6 (29.6) | (23.5) | |
| | 受診率順位 | (8) 位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 364 | | |
| | 要精検率 (%) | 1.24 | | |
| | 精検受診者数(人) | 252 | | |
| | 精検受診率 (%) | 69.2 | | |
| | がんの者 (人) | 53 | | |
| がん発見率 (%) | 0.18 | | | |
| 肺 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 42,163,859 | ○「X線のみ」「X線及び喀痰」の合計値 (「喀痰のみ」は除く) ※全国は「喀痰のみ」を含めた数値で算定 |
| | 受診者数 (人) | 50,376 | 7,289,543 | |
| | 受診率 (%) | 26.4 | 17.3 | |
| | 受診率順位 | 15位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 2,460 | | |
| | 要精検率 (%) | 4.88 | | |
| | 精検受診者数(人) | 2,201 | | |
| | 精検受診率 (%) | 89.5 | | |
| | がんの者 (人) | 35 | | |
| がん発見率 (%) | 0.07 | | | |

| 区 分 | | 平成23年度実績 (鳥取県) | 平成23年度実績 (全国) | 留 意 事 項 |
|----------------------------|-----------|-------------------|------------------|--|
| 乳 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 118,248 | 25,680,981 | ○「視触診方式及びマンモグラフィ」の併用者を計上 ○全国と比較するための受診率 全国は隔年検診であるため、比較のため受診率()を算定している。 $\frac{(\text{前年度受診者数}) + (\text{当該年度受診者数}) - (\text{前年度及び当該年度2年連続受診者数})}{\text{当該年度の対象者数}}$ ※受診率の計算 (厚生労働省老人保健事業報告数値を使用) 全国 $\frac{(2,376,348) + (2,509,946) - (409,952)}{(25,680,981)} = 17.4$ 鳥取 $\frac{(17,782) + (18,182) - (1,515)}{(122,475)} = 28.1$ |
| | 受診者数 (人) | 17,818 | 2,376,348 | |
| | 受診率 (%) | 15.1 (28.1) | (17.4) | |
| | 受診率順位 | (3) 位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 1,314 | | |
| | 要精検率 (%) | 7.37 | | |
| | 精検受診者数(人) | 1,211 | | |
| | 精検受診率 (%) | 92.2 | | |
| | がんの者 (人) | 78 | | |
| がん発見率 (%) | 0.44 | | | |
| 大 腸 が ん 検 診 | 対象者数 (人) | 190,556 | 42,791,742 | |
| | 受診者数 (人) | 54,362 | 7,985,691 | |
| | 受診率 (%) | 28.5 | 18.7 | |
| | 受診率順位 | 5 位 | — | |
| | 要精検者数 (人) | 4,669 | | |
| | 要精検率 (%) | 8.59 | | |
| | 精検受診者数(人) | 3,588 | | |
| | 精検受診率 (%) | 76.8 | | |
| | がんの者 (人) | 149 | | |
| がん発見率 (%) | 0.27 | | | |

(出典) 鳥取県数値 = 鳥取県健康対策協議会各がん検診専門委員会資料

全国数値 = 地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省)

(注) 1 鳥取県の数値は、県が独自に調査した結果であり、厚生労働省による調査結果である「地域保健・健康増進事業報告」に記載された数値とは異なる場合がある。

2 受診率順位は厚生労働省地域保健・健康増進事業報告数値と比較した順位

3 全国の精検受診者は国が発表していないため、次により算定

精検受診者 = 「要精検者 - (未受診者 + 精検結果未把握の者)」

4 要精検者数等については、平成20年度分から翌年度集計となったため、空欄としている

Ⅲ. 平成25年度各がん検診従事者講習会及び 症例研究会開催状況

平成25年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

| 事 | 業名 | 開催日時 | 場所 | 出席者 | 内容 |
|------|------------------------------|----------------------------|------------------|------|---|
| 胃がん | 胃がん検診従事者講習会及び症例研究会 | 平成26年3月1日(土) 午後4時～午後6時 | 鳥取市 鳥取県健康会館 | 162名 | 演題：「国民皆除菌時代における胃がんの予防と治療」 講師：鳥取大学医学部附属病院第2内科診療科群助教 河口剛一郎先生 症例検討 東部—1例：鳥取市立病院 柴垣広太郎先生 西部—1例：山陰労災病院 神戸貴雅先生 |
| 子宮がん | 子宮がん検診従事者講習会及び症例研究会 | 平成26年2月16日(日) 午後4時～午後6時 | 米子市 鳥取県西部医師会館 | 49名 | 演題：「子宮内膜細胞診は体癌の早期発見に有効か？」 講師：がん研究会 有明病院 細胞診断部部长 杉山 裕子先生 症例提示5例 |
| 肺がん | 肺がん検診従事者講習会及び症例研究会 | 平成26年2月8日(土) 午後4時～午後6時 | 米子市 鳥取県西部医師会館 | 71名 | 演題：「肺がん検診における胸部X線写真の読影と判定—判定基準の変更を踏まえて—」 講師：石川県立中央病院放射線診断科診療部部长 小林 健先生 症例検討 東部—1例：鳥取市立病院 武田洋正先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊尔先生 西部—1例：鳥大医附属病院胸部外科 荒木邦夫先生 |
| 乳がん | 乳がん検診従事者講習会及び第21回鳥取県乳がん症例検討会 | 平成25年8月3日(土) 午後4時～午後6時 | 鳥取市 鳥取県健康会館 | 77名 | 演題：「乳がんの予防と診断—超音波検査を中心に—」 講師：鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座教授 廣岡保明先生 症例検討 東部—1例：鳥取赤十字病院 山口由美先生 中部—1例：野島病院 林 英一先生 西部—2例：鳥大医附属病院乳腺・内分泌外科 細谷恵子先生 |
| 大腸がん | 大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会 | 平成25年8月24日(土) 午後4時～午後6時 | 米子市 鳥取県西部医師会館 | 86名 | 演題：「大腸がん検診従事者に必要な医学知識」 講師：近畿大学教授 医学部内科学教室(消化器内科学部門) 榎田博史先生 症例検討 東部—1例：鳥取赤十字病院 柏木亮太先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 井山拓治先生 西部—2例：鳥大医附属病院消化器内科 河口剛一郎先生 |
| 肝臓がん | 肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会 | 平成26年2月22日(土) 午後4時～午後6時 | 鳥取市 鳥取県健康会館 | 108名 | 演題：「佐賀県『肝がんワーストワン』汚名返上プロジェクト—地域ぐるみと多職種協働—」 講師：佐賀大学医学部 肝疾患医療支援学講座教授 江口有一郎先生 症例検討 東部—1例：鳥取赤十字病院 満田朱理先生 中部—1例：鳥取県立厚生病院 永原天和先生 西部—1例：山陰労災病院 西向栄治先生 |

1. 胃がん検診症例研究会

日 時 平成26年3月1日(土) 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館

東・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

[東部症例]

提出者：鳥取市立病院 柴 垣 広太郎

70歳代、男性

既往歴：高血圧・高脂血症・糖尿病

家族歴：特記事項なし

嗜好歴：飲酒 ビール700ml/日、喫煙 20本×40年(60歳で禁煙)

現病歴：高血圧・高脂血症・糖尿病で近医に通院中に、血液検査で肝障害を認め、腹部USで多発肝腫瘍を指摘され、平成22年6月に当院に紹介となった。HBs-Ag(-)、HCV-Ab(-)。CEA/CA19-9/AFPは上昇なく、前年度の胃透視・同年の他院TCSで異常を指摘されず。肝生検でadenocarcinomaを認め、上部消化管内視鏡検査(EGD)で胃角部後壁にType2の分化型胃癌を指摘された。

【上部消化管造影所見(GI)：平成17年、18年、21年】

牛角胃のため、Baは検査初期に十二指腸に流出し、胃角部から前庭部の前壁は全ての年度において一貫して描出不良であり、造影検査によるsurveillanceが困難な患者であった。

【EGD】

胃角部後壁に立ち上がり明瞭な周堤を持つ不整形潰瘍を認め、潰瘍堤は凹凸不整、不均一な白苔が付着し、潰瘍周囲には境界明瞭な発赤陥凹を認めた。発赤陥凹部のNBI拡大観察では、微細で不整な絨毛様構造が高密度で増生し、背景粘膜と境界明瞭であり、gastric adenocarcinoma, cType2, T2, tub1, 60mmと考え、生検で分化型癌を認めた。

臨床経過：S-1/CDDPによる化学療法が開始されたが、1course終了時に腫瘍増大と出血を認め、PDと判定した。安全な化学療法継続のために遠位側胃切除術を施行し、下記と診断された。Gastric adenocarcinoma, M, Post, Type2, 65×55mm, por1>tub2, pT2, int, INF-b, ly2, v3, pN2(3/18), pM1(liver), pPM0(5mm), pDM0(7mm), StageIV

その後はbiweekly CPT-1/CDDP、weekly PTX、FP肝動注を行うもPD、BSCの方針となり、平成23年9月に自宅で永眠された。

考 察：EGDでは容易に指摘できる胃癌でも、GIでは条件によって指摘困難な症例が存在する。本症例は牛角胃のため、造影早期にBaが十二指腸に流出し、病変が存在する胃角部後壁は発見前年の造影検査でも指摘困難であった。GIによるsurveillanceが難しい症例は、EGDによる精査を勧めるべきであると考えられた。

[西部症例]

提出者：山陰労災病院 神 戸 貴 雅

70代、女性

検診歴：平成22年11月 車検診を受診するも異常なし。

平成23年11月 車検診を受診するも異常なし。

平成24年12月 車検診で「胃体部レリーフ異常」の指摘を受け要精検となった。

経 過：平成25年3月 当院紹介となり、精査を行ったところ、GIF・精密MDLにて胃体部後壁にIIcを認め、

4月 胃部分切除術を施行した。(病理：SS、43×32mm、sig>por1、ly2、v0、
N3、StageⅢA、consistent with ansakiasis)

考 察：平成22年、平成23年の検診フィルムを遡及的に検討したところ、平成22年時ははっきりと指摘はできなかったが、平成23年時は病変の指摘は可能であり、見落としと考えられた。読影医はより注意深い観察を心がける必要があると同時に、逐年検診の重要性を再確認させられた一例であった。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成26年2月16日（日） 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県西部医師会館

症例検討：鳥取大学医学部産科婦人科講師 板持広明先生の進行により、施設検診2例、鳥取県保健事業団（車検診）3例の症例検討が行われた。

検討内容：

鳥取大学医学部産科婦人科助教 佐藤慎也医師より下記の5症例が提示された。

症例1、2は検診を契機に発見された子宮体癌症例。症例3～5は経年受診していたが、浸潤癌で見つかった子宮頸癌症例であった。各症例の細胞像および組織像を供覧しながら、臨床経過とともに検討をおこなった。

AGC (atypical glandular cells) 判定症例のなかには、付属器や内膜由来の腺系異型細胞が含まれる可能性が指摘された。また、各施設や担当医師による十分な細胞数の採取が肝要であり、特に閉経後の頸管内細胞の採取を適切におこなう必要性が指摘された。

平成25年度 子宮がん検診症例検討会提出症例

| 症例 | 年齢 | 市町村名 | 検診月日 | 一次検診機関 | 一次検診結果 | 精密検査機関 | 精密検査結果 | | | 治療機関名 |
|-----|-----|------|--|--------------------------------|---|---------------|---------------------------------------|-------|-----------|-------------|
| | | | | | | | 組織診断 | 進行期分類 | TNM分類 | |
| 症例1 | 51歳 | 鳥取市 | H21.12.16 H23.01.31 H23.12.21 H24.12.04 | 鳥取県保健事業団 | Class II NILM(内診不可) NILM(内診不可) AGC 付属器あるいは子宮内膜由来異型腺細胞 | 鳥取県立中央病院 | endometrioid adenocarcinoma (G1) | I A | pT1aNXM0 | 鳥取県立中央病院 |
| 症例2 | 52歳 | 米子市 | H24.11.07 | 井田レディースクリニック | 頸部：NILM 体部：疑陽性EM hyperplasia | 鳥取大学医学部女性診療科 | endometrioid adenocarcinoma (G3) | I A | pT1aN0M0 | 鳥取大学医学部附属病院 |
| 症例3 | 56歳 | 鳥取市 | H21.07.21 H23.12.13 H24.08.30 | 鳥取市立病院 鳥取県保健事業団 鳥取県保健事業団 | Class II ASC-US 萎縮性変化疑 (Estrogen 投与後要再検査) SCC squamous cell carcinoma Keratinizing type | 未受診 鳥取市立病院 | carcinoma in situ | I B1 | T1b1N0M0 | 鳥取市立病院 |
| 症例4 | 46歳 | 北栄町 | H21.12.04 H22.11.19 H23.11.28 H24.10.05 | 鳥取県保健事業団 | Class II NILM NILM HSIL severe dysplasia | 鳥取県立厚生病院 | microinvasive squamous cell carcinoma | I A1 | pT1a1NXMX | 鳥取県立厚生病院 |
| 症例5 | 52歳 | 大山町 | H23.01.24 H25.02.06 | 博愛病院 | NILM SCC squamous cell carcinoma | 鳥取大学医学部女性診療科 | microinvasive squamous cell carcinoma | I A2 | pT1a2N0M0 | 鳥取大学医学部附属病院 |

3. 肺がん検診症例研究会

日時 平成26年2月8日(土) 午後4時～午後6時

場所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取市立病院 武田 洋正

「検診発見肺腺癌の一例」

鳥取市立病院 内科 武田 洋正、谷水 將邦

症例：60歳代、女性

主訴：胸部異常影、左大腿部痛

既往歴：糖尿病、高血圧症

家族歴：特記事項なし

生活歴：喫煙歴なし (Never Smoker)、飲酒歴：機会飲酒、アスベスト暴露なし

現病歴：高血圧症、糖尿病にて近医に通院中であった。

2年前に健診にて胸部X線を施行されており、異常を指摘されていない。

1年前に外来にて胸部X線を施行されている。この際も特に異常を指摘されていなかった。今回当院の人間ドックを受診し、胸部異常影を指摘されたため、精査目的で当院内科を受診された。当科受診時に咳嗽、胸痛等の呼吸器症状は認めなかった。ただし、数か月前から歩行時に左大腿部付近の疼痛を自覚していた。

診断後経過：

胸部CTで左上葉に腫瘤影を認めた。針生検にて肺腺癌と診断し、EGFR変異は陽性 (L858R) であった。またPET/CTで椎体、左大腿骨頸部等にも多発の骨転移を認めた。肺がんと診断後、骨折予防のため大腿骨に対して放射線治療を開始した。

Stage IV Bの肺腺癌として、カルボプラチンとジェムシタピンにて化学療法を4コース行った。経過中に左大腿骨の病的骨折をきたし、整形外科にて固定術を施行した。その後イレッサ、タルセバと変更しつつ治療継続中である。

考察：Retrospectiveに見た場合、胸部X線では大動脈弓の上部にさらに陰影を認め、2年前の段階から異常構造物が指摘できる。ただし、2年前の胸部X線と比較した場合、1年前の胸部X線はほとんど変化は認めなかった。今回のX線では明らかに同部の陰影の増大を認める。

比較読影は検診の精度を高めるうえで非常に重要であるが、早期肺がんの場合1年間の経過では変化が乏しいこともある。比較読影の重要性とともに、正常所見の認識も重要であることを再認識した。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹野 俊介

症例：50歳代、女性。

主訴：胸部異常陰影

既往歴、生活歴に特記すべきことなし (喫煙歴なし)。

現病歴：毎年肺がん検診を受けているが、異常なしであった。

平成25年8月肺がん検診で胸部異常陰影を指摘された。

平成25年9月に精査目的で当院を受診した。症状は特になし。

身体所見：157cm、50kg、特に異常なし

検査所見：血液、尿、生化学検査に異常なし

腫瘍マーカー：異常なし

CEA：2.7 SCC：0.5 SLX：28 ProGRP：32.7

NSE：12.7 シフラ：0.8

呼吸機能検査：FVC 2.64L (98.0%)

FEV1.0 2.29L (86.7%)

臨床経過：当院受診時の胸部Xpには、左肺門に接して3cm大の腫瘤陰影を認めた。過去の検診胸部Xpを比較すると、平成22年、平成23年よりすでに同部に2cm大の異常陰影を認める。このまま見落とされた訳ですが、平成24年には、左肺門の異常陰影は増大し放射状に線状陰影(spiculation)を認めた。この年も見落とされ、平成25年の検診でようやく異常陰影としてチェックされた。CTでは左S6～S10にかけてspiculationや胸膜陷入像をとともなう3.6cm大の腫瘍があり、気管支鏡検査でclass5、腺癌と診断された。

c-T2aN1M0と診断し、胸腔鏡下左下葉切除術・ND2a-2リンパ節郭清を施行した。

s-T2aN1M0、PL1D0E0PM0 (PL0)

左S6に3.2×3.1×3.0cmの腫瘍、adenocarcinoma、moderately>well differentiated、mixed subtype、BAC type>papillary type with micropapillary pattern、pI0、ly2、v0、micropapillary patternは5%

p-T2aN0M0、pI0d0e0pm0 (pI0)、p-Stage 1B

術後経過良好で術後12日目に退院、1B期ではあるが、micropapillary patternを考慮して、術後補助化学療法を(CBDCA+PEM 4クール)施行した。

今回の問題点：

1. 平成24年の胸部Xp検診写真の見落とし、さらに平成22年・23年も見落とししていた。検診読影委員の読影力向上が必要。
2. 比較読影ができていなかった。平成24年より職場が変わり、それに伴い前年の比較読影写真が不明となっていた。
職場変更でも過去のXp写真の存在が確認できるシステムが必要。

3. Micropapillary pattern症例について

当院で過去3年間に手術症例のうちでMicropapillary patternを呈する症例は13例あり、切除した腺癌の8%であった。平均年齢63.2歳、平均腫瘍径3.0cmで、肺癌罹患年齢としては比較的若く、また腫瘍径も大きいというわけでもない。しかし、手術時にすでに4期となっていたのが2例(胸膜播種)であり、腫瘍径が2cm以下でもリンパ節転移のある症例も認めた。すでに死亡した症例は4例、再発例は2例と早期に再発転移を起こしている。病期も半数以上が2A期以上である。このmicropapillary patternはリンパ節転移を起こしやすいといわれているが、今回の当院の症例もly2以上が11例あり、今後再発転移の可能性が高く、集学的治療が必要な症例である。

結 語

中部地区の肺癌検診見落とし例を報告した。

腫瘍径が小さくてもmicropapillary patternのように予後の悪いタイプもあり、胸部XpからいかにCT検査にもちこむかが問題である。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学医学部附属病院胸部外科 荒 木 邦 夫

症 例：70歳、女性

主 訴：胸部異常陰影

既往歴：特記事項なし

生活歴：喫煙歴なし

現病歴：胸部X線の検診歴は平成20年、平成22年—24年と4回あり。平成25年の検診胸部X線でE1判定（右下肺野の異常陰影）となり受診。胸部CT検査で右肺下葉S8に15×11mm大の充実性腫瘍陰影を指摘した。CTガイド下生検の結果、肺腺癌と診断されたため、手術目的に入院。

治療経過：右肺下葉S8+S9区域切除術+肺門縦隔リンパ節郭清（積極的縮小手術）を行った。術後経過は良好であり、現在外来通院中。

病理結果：浸潤性肺腺癌、腺房型優位、pT1aN0M0、pI0、Ly0、V0、stage IA。

検診上の問題点：過去の検診胸部X線を見直すと、平成23年からは以前と比較して病変が若干明らかになってきている。この時点で肺癌を発見するためには比較読影が重要であると考えられた。

4. 乳がん検診症例研究会

日 時 平成25年8月3日（土） 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館

[東部症例]

提出者：鳥取赤十字病院 山口 由美

長期間の経過観察中に乳癌を発症した1症例

症 例：50歳代、女性。

平成19年の検診マンモグラフィ（以下MMG）で右乳房（L）の石灰化を指摘され、カテゴリ3の診断で当科外来を受診した。その際、画像検査で乳癌の所見は認められず、以後、外来を受診したり、検診を受診したりしていた。

平成22年の検診MMGでは、以前より指摘されていた右乳房の石灰化と新たに左（M）の淡く不明瞭な集簇性の石灰化が出現してきた。

平成23年には左乳房の石灰化はわずかに密度が増し、微小円形で区域性に近いものであった。しかし、他の画像検査では異常を認めず、平成24年に検診を受診した。MMGでは左乳房の石灰化はカテゴリ4と診断され、超音波検査においても左乳房C領域を中心として、乳腺内に低エコー域が出現してきた。この低エコー域の針生検で、乳頭腺管癌と診断され、左乳房温存術（Bp+SN）を施行した。組織型は乳頭腺管癌＞硬癌、腫瘍径は3.7×0.8cm、ly0、v0、ER陽性（90%）、PgR陽性（90%）、HER2陰性、Ki67<10%、核グレード1であった。今回の乳癌は、比較的増殖能の低い癌であり、長期間かけて発生してきたものと考えられる。平成23年の石灰化が増えてきた時点で、積極的な組織検査ができていなかったことが反省点であった。画像的には、腫瘤を形成せず、超音波で異常を同定できなかった。また、背景の乳腺症もあることより、病変の範囲の決定に難渋した症例であった。

[中部症例]

提出者：野島病院 林 英一

ある乳がん症例のマンモグラフィの推移

症 例：50歳、女性。

4年前のマンモグラフィ検診では異常なし。

2年前、右乳房に腫瘤を自覚するも、その年の検診でも異常は指摘されなかった。

平成25年7月、検診を当院にて施行。このとき右乳房の腫瘤あり、要精査となる。

またマンモグラフィにても腫瘤影あり、その場で精密検査を行った。

結果は、腫瘍径11cmのmicropapillary carcinomaであり、10/14の腋窩リンパ節を認めた。

この時点で、マンモグラフィの読影結果が郵送されてきたが、その結果は異常なしであった。

この症例の4年前のマンモグラフィを見直すと、確かに異常所見は認められない。

しかし、2年前のマンモグラフィでは、右乳腺の濃度が高く、FADとして精密検査とすべき所見を有しているものと考えられた。

今年のマンモグラフィでも、明らかに癌を疑う腫瘤影あり、これを発表の場で提示した。

早期乳がん発見のため検診受診率の増加が頻繁に論議されているが、反対に検診受診者の中の見逃し例、見落とし例に対する考察がやや欠けている印象がある。読影委員会を中

心とした、こういった見逃し例の検討を更に充実させる必要があると考える。

[西部症例] 提出者：鳥取大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 細谷 恵子

症例1：47歳、女性

平成23年12月 検診MMGにて石灰化C4を指摘され当科初診。

当科のMMGでは石灰化C2の診断、USでも明らかな悪性所見認めず経過観察となった。

平成25年 再診外来でのMMGにて石灰化病変が増加。

USでは乳腺の構築の乱れを認め、同部位の穿刺吸引細胞診にて悪性の診断。

乳房全摘術（二期的再建）+センチネルリンパ節生検施行した。

時間的に余裕があればもう1症例検討させていただきたいと思います。

症例2：68歳、女性

平成25年6月 乳癌検診MMGにて右腫瘍C3。

当科でのMMGでもC3（C4ともとれる）、エコーでは硬癌を疑う所見であった。

CNBでは繊維腺腫の診断であった。

5. 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成25年8月24日(土) 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 柏木亮太

症 例：67歳、女性

主 訴：なし

家族歴：特記事項なし

既往歴：気管支喘息・虫垂炎

現病歴：平成20年2月の大腸がん検診では便潜血陰性であったが、平成21年10月の大腸がん検診で便潜血陽性となり、当院内科を受診された。

検査所見：内視鏡検査、注腸透視にて盲腸に約3cm大の1型病変を認めた。

治 療：回盲部切除

病理所見：Adenocarcinoma、tub2>muc、pSE、ly2、v1、pN0

検 討：前年便潜血陰性の進行大腸癌であり、便潜血検査のみでは右側結腸病変の早期発見が難しい場合があると考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 井山拓治

症 例：60歳、男性

主 訴：なし(検診異常)

既往歴：43歳 胆石手術、B型慢性肝炎(加療中)

現病歴：10年前に大腸がん検診で便潜血陽性となり、大腸内視鏡検査(CS)を受けたが、異常は指摘されなかった。それ以降検診で異常は指摘されていない。

今回大腸がん検診にて便潜血陽性であり、要精査となったため、7月9日当院を受診した。

8月2日当科にて大腸内視鏡検査施行したところ、S状結腸近位部にIsp型、8mm程度の隆起性病変を認めた。中心部はやや陥凹しているように見え、sm浸潤も疑われた。

病理診断：adenocarcinoma、well differentiated tubular type、SM (500 μ m)、int、IFNb、ly0、v0、pHM0

検 討：毎年検診を受けており、検診にて指摘され治癒切除できた症例。念のため注意深くフォローを行っていく予定である。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学医学部附属病院消化器内科 河口剛一郎

症例1：77歳 女性

主 訴：大腸がん検診による精検目的(症状なし)

現病歴：毎年大腸がん検診受けていたが、精検は必要なかった。

平成22年大腸内視鏡検査うけるも異常指摘されず。

平成23年12月大腸がん検診にて便潜血+/+指摘され当院受診。

既往歴：71歳 卵巣嚢腫手術

家族歴：癌疾患なし

検査所見：盲腸内側、バウヒン弁の裏側に、約2cm超の2型腫瘍を認めた。

治療：腹腔鏡補助下回盲部切除が行われた。

病理所見：Adenocarcinoma、tub2、ss、int、INF b、ly1、v1、pm (-)、dm (-)、rm (-)、n201、202、203 (-) [0/18、0/9、0/5]、P0、H0、MP、M0、Stage I、D3、R0、Cur. A

考察：バウヒン弁の裏にあり1年前のCSで見逃された進行癌の1例。CSではいくつか見落としの多い部位が知られており、教訓的な症例として呈示。

症例2：71歳 男性

主訴：便潜血陽性 精検目的（症状なし）

現病歴：過去7年大腸がん検診受けていなかったが、平成25年5月知り合いからの勧めで、かかりつけ医にて便潜血検査したところ陽性。精査にて、S状結腸に病変を認め、精査加療目的に当院紹介受診。

既往歴：68歳 緑内障、69歳 高血圧症、70歳 慢性心房細動

家族歴：癌疾患なし

検査所見：S状結腸に、粗大結節を伴う約6cm超のLST-G、mixed typeを認めた。

治療：内視鏡治療としてESDが行われた。

病理所見：Adenocarcinoma in adenoma、Well differentiated tubular type、M、ly0、v0、pHM0、pVM0

考察：術前診断としてはSM slightまでの癌と考えられたが、その大きさなどから治療方針として、内視鏡的な治療を行うのか、外科手術（LAC）なのか、迷われる症例であった。患者背景や施設特異性（術者の技量）で、どちらでも選択しうる症例と考えられた。また、大腸ESDが2012年4月から保険収載されており、話題提供の意図もあり呈示した。

6. 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成26年2月22日(土) 午後4時～午後6時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

[東部症例]

提出者：鳥取赤十字病院 満田 朱理

慢性C型肝炎インターフェロン治療後SVRが得られ、5年後に肝細胞癌が出現した1症例

鳥取赤十字病院 内科

満田朱理、菓 裕貴、武田洋平、堀江 聡、柏木亮太、田中久雄

症 例：73歳、男性

主 訴：なし

家族歴：特記すべきことなし

生活歴：飲酒2～3合/日、喫煙20本/日

既往歴：網膜色素変性症

平成18年交通事故にて左膝複雑骨折にて手術

現病歴：平成5年より慢性膵炎およびアルコール性肝障害にて当科外来フォロー中、平成18年1月交通事故にて他院整形外科入院。術前検査にて初めてHCV陽性を指摘された。退院後、禁酒するも肝機能改善せず（AST123IU/l、ALT140IU/l）、慢性C型肝炎に対して平成19年6月～平成20年5月までPEG-IFN α 2b+リバビリン併用療法を行った（肝組織結果、CAH、F3、A3）。結果ウイルス学的著効が得られ、1年間は4カ月に1回、その後は半年に1回の定期的に超音波検査を行っていた。平成25年4月の超音波検査にて肝腫瘤を認め、6月には同腫瘤の増大傾向あり、同日ダイナミックCT施行し、肝細胞癌（HCC）が疑われ、加療目的に7月入院となる。

入院時検査所見：WBC 7700/ μ l、Hb 15.0 g/dl、Plt 15.7万/ μ l、T. bil 0.7mg/dl、D. bil 0.1mg/dl、AST 33IU/l、ALT 32IU/l、LDH 198IU/l、ALP 241IU/l、 γ -GTP 33IU/l、TP 7.5g/dl、Alb 4.4g/dl、ChE 220IU/l、T. Chol 180mg/dl、FBS 82mg/dl、Amy 100IU/l、HbA1c 5.4%
PT 90%、ICG-R1510%、HBsAg（-）、HBcAb（+）（11.09s/co）、HBsAb（-）、
HCV RNA 検出せず、AFP 19 ng/ml、PIVKA II 29 mAU/ml

画像検査：

腹部超音波検査（初回描出時）：肝S8に13mm大、S5に10mm大の低エコー腫瘤を認める。

腹部超音波検査（3ヶ月後）：肝S8の低エコー腫瘤は不変であったが、S5の腫瘤は26mm大と増大あり。

ダイナミックCT：肝S5およびS8に早期濃染を伴わず、wash outのみを認める腫瘤あり。

腹部血管造影検査：CTAPにて門脈血流欠損域となりCTHAにて早期濃染する肝S8に9mm大、6mm大および肝S5/6に24mm大の病変あり、HCCと診断した。

経 過：腹部血管造影後、経カテーテル的肝動脈化学塞栓術施行。後日急激な増大傾向にあったS5のHCCに対して、リピオドール集積がやや不良であったため経皮的ラジオ波焼灼療法を追加した。退院後3ヶ月後のダイナミックCTにて門脈-IVC間に33×21mm大のリンパ節転移を疑わせる腫瘤の出現あり。リピオドールのwash outの進行を認めるも、肝内に明らかなHCCの再発は認めず、その1ヶ月後、診断のためFNAを施行した。EUSにてリン

リンパ節転移疑いの腫瘍は50mm大とさらに増大していた。FNA施行し、腫瘍細胞はCK7+、CK20+、CEA+、AFP-であり、形質転換したHCCのリンパ節転移と考えた。リンパ節病変は門脈へ浸潤し、門脈腫瘍塞栓を形成しており、これに対し放射線治療の予定としていた。放射線治療開始前に、急激な黄疸の出現あり、緊急ERCP施行。リンパ節転移による総胆管閉塞あり、メタリックステント挿入した。減黄が達成し、放射線治療を行った。放射線治療後、放射線治療前には出現していた肝内に多発再発しているHCCに対し全身化学療法としてネクサバールの内服投与をおこなったが、無効であった。現在CDDPによる肝動注化学療法を繰り返している。

考 察：アルコール性肝障害やNAFLDにおいてもまずはHBVやHCV関連の有無を確認する必要がある。また、慢性C型肝炎においてIFN治療後SVRが得られてもHCCの発生の可能性あり、定期検査はかかせない。

結 語：慢性C型肝炎インターフェロン治療後SVRが得られ、5年後に肝細胞癌が出現した症例を報告した。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 永原天和

鳥取県立厚生病院 消化器内科

○永原天和、井山拓治、林 暁洋、万代真理、野口直哉、佐藤 徹、秋藤洋一

症 例：68歳、男性

主 訴：肝機能障害、肝腫瘍

現病歴：50歳ころに初めてB型肝炎の指摘を受けたが、特に定期的なフォローは受けていなかった。64歳 左膝化膿性関節炎にて他院へ入院中に、B型肝炎および糖尿病の指摘を受けた。このときに当院内科へ紹介となるが、肝機能安定しており、糖尿病とあわせて近医通院を指示された。近医では糖尿病治療が主体となり、肝臓については定期的な画像検査や腫瘍マーカー測定はされていなかった模様。68歳 近医での採血で肝機能の急な悪化があったため、腫瘍マーカーを測定されたところAFPおよびPIVKA-IIの上昇を認め、エコーにて肝腫瘍を疑われた。また、内服コンプライアンスが良好にも関わらず糖尿病コントロールが急速に悪化していた。

既往歴：7歳 交通事故による右足負傷、皮膚移植 輸血については詳細不明、40歳 胃潰瘍

生活歴：飲酒 機械飲酒程度、喫煙10本/日

家族歴：母 肝癌にて66歳にて死去（B型肝炎かは定かでない）

妹 B型肝炎あり

弟 肝硬変（アルコールかB型肝炎かはっきりしない）

身体所見：身長 172cm 体重 49.9kg（もともと55kgあった）

体温 35.6℃ 血圧 103/83mmHg 脈拍 90/分 SpO2=98%

結 膜：黄疸なし 貧血なし

頸 部：リンパ節触知しない

胸 部：聴診上異常なし、前胸部にくも状血管あり

腹 部：平坦、軟、肝臓は触れない、波動なし

下 肢：浮腫なし

検査所見：WBC 3430/ μ L、RBC 46810⁴/ μ L、Hgb 14.7g/dL、Hct 42.4%、Plt 13.910⁴/ μ L、PT %70.0%、PT INR 1.20、TP 7.76 g/dL、Alb 3.17 g/dL、T. Bil 1.08 mg/dL、AST 70

IU/L、ALT 85 IU/L、ALP 785 IU/L、 γ -GTP 472 IU/L、CK 69 IU/L、LDH 224 IU/L、BS 358 mg/dL、HbA1c 10.9%、CRP 0.26 mg/dL、ChE 131 IU/L、TG 181 mg/dL、LDL-C 118 mg/dL、HDL-C 21 mg/dL、Na 131mEq/L、K 4.8mEq/L、Cl 100mEq/L、Ca_{9.0} mg/dL、BUN 20.5mg/dL、Cr 0.57mg/dL、HBs抗原 (+)、HBe抗原 (+)、HBe抗体 (-)、HBV-DNA7.6LogIU/ml、HCV抗体定性 (-)、AFP 392 ng/ml、PIVKA-II 10009mAU/ml、CEA 6.9 ng/ml

腹部超音波検査：肝両葉に高エコーと低エコーが混在する多発腫瘍を認めた。門脈本幹は開存していた。

ダイナミックCT：肝両葉に多数の早期濃染、平衡相でwash outする腫瘍を認めた。特に右葉は大部分が腫瘍で占拠されていた。

診断：#1 多発肝細胞癌 StageⅢ、#2 慢性B型肝炎（おそらく母子感染）、#3 糖尿病

経過：B型肝炎に対してはただちにエンテカビルを開始した。糖尿病の治療と並行して、肝細胞癌に対するワンショット動注治療を行った。4回繰り返したがPDであり、ソラフィニブ400mg投与に変更したが、程なく肝機能増悪し治療継続困難となった。診断より約8ヶ月後に亡くなった。

考察：B型肝炎を指摘されながら特に通院をされておらず、肝炎検査陽性者に対する啓発活動が十分に行えていないことが問題と考えられた。4年前に他院入院の際に再度B型肝炎を指摘されおり、当院へ紹介されるも近医でのフォローを指示されていた。この時点で肝専門医にて精査されていれば核酸アナログ導入について検討できていたかもしれない。またかかりつけの近医では糖尿病治療が中心となり、肝癌サーベイランスアルゴリズムに沿った。高リスク群（B型慢性肝炎）としてのフォローがされていなかった。少なくとも半年に一回程度の画像検査の機会があればもっと早期に発見できていたと思われる。

2010年～2013年に当院でのB型肝炎関連の初発HCCは13例あり、①サーベイランスアルゴリズムに沿っていたものは4例（当科通院中の3例と他院フォロー中の1例）、②HB陽性指摘されながら自己判断で定期通院されていない例が3例、③医療機関への通院はあるがサーベイランスアルゴリズムを逸脱していたと思われる例3例、④有症状にて当院初診の症例3例であった。B型肝炎に限らず、アルゴリズムに沿ったサーベイランスが重要であるし、また肝炎ウイルス陽性者の受診・受療促進のための啓発活動も強化していく必要があると思われた。

【西部症例】

提出者：山陰労災病院 西 向 栄 治

HBs抗原陰性化後に発症した肝癌の1例

山陰労災病院 消化器内科 ○西向荣治、岸本幸廣、前田直人、森尾慶子、角田宏明、向山智之、
神戸貴雅、謝花典子、古城治彦、川崎寛中

外科 大井健太郎、放射線科 井隼孝司、病理 庄盛浩平

【はじめに】

HBVキャリアでHBs抗原が陰性化した例に対しfollow upが中止されている場合がある。そのような例でも肝癌を発症するので引き続きfollow upが必要である。今回HBs抗原が陰性化した後に発症した肝癌の1例を報告する。

症 例：52歳男性、飲酒歴あり、摘脾後の肝硬変のHBVキャリア。

観察期間は19年。半年ごとの定期検査を勧め外来フォロー中AFP上昇（389ng/ml）を指摘された。発見時、TB0.6mg/dl、Alb4.3g/dl、PT104%、AST18IU/l、ALT19IU/l、Plt28.5（摘脾後）、sAg陰性0.7、sAb陽性13.2、cAb54.4、血中HBVDNA検出せず。AFP 389ng/ml（L3分画2%）、PIVKAI正常。造影CTを行い肝S6辺縁に早期濃染する15mm大腫瘤を認めた。EOB造影MRIの肝細胞相で明瞭な低信号を認め、血管造影では動脈相で腫瘍血管の増生を認め平衡相で濃染像を認め、中分化型HCC（T1N0M0：stage 1）と診断した。治療として腹腔鏡下肝部分切除を行った。切除標本では14mm大の腫瘤を認め、病理で索状型高分化型腺癌、非癌部は肝硬変と診断された。

考 察：肝癌サーベイランスで、定期スクリーニングの対象として推奨されている疾患はB型・C型慢性肝疾患および非ウイルス性の肝硬変である。しかし本例のように長年肝機能が正常であり、HBs抗原が陰性化し、かつs抗体が出現し血中HBVDNAが検出されない症例でも少なからず発癌を経験するので、HBV感染者では定期的で長期間にわたるフォローが必要である。加えて過去4年間に肝がん検診で症例呈示したHBs抗原陰性化後に発癌したHCCの4例の比較検討も行った。

7. 各地区がん検診症例検討会開催状況

| 事業名 | 東 部 | | | 中 部 | | | 西 部 | | | 合 計 | | |
|------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-------|------------|------|-------|------------|
| | 回数 | 症例数 | 参加者 延べ数 | 回数 | 症例数 | 参加者 延べ数 | 回数 | 症例数 | 参加者 延べ数 | 回数 | 症例数 | 参加者 延べ数 |
| 胃 がん | 16 | 25 | 473 | 4 | 17 | 101 | 26 | 4,597 | 582 | 46 | 4,639 | 1,156 |
| 子宮がん | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 肺 がん | 4 | 10 | 49 | 12 | 94 | 135 | 12 | 53 | 110 | 28 | 157 | 294 |
| 乳 がん | 1 | 6 | 27 | 1 | 3 | 24 | 2 | 20 | 74 | 4 | 29 | 125 |
| 大腸がん | 8 | 15 | 295 | 3 | 5 | 49 | 25 | 93 | 568 | 36 | 113 | 912 |
| 肝臓がん | 1 | 1 | 84 | 4 | 8 | 89 | 6 | 12 | 125 | 11 | 21 | 298 |
| 合 計 | 30回 | | | 24回 | | | 71回 | | | 125回 | | |

Ⅳ. 各がん検診精密検査医療機関登録について

鳥取県健康対策協議会においては、市町村が実施する各種がん検診の精度管理、向上のため、登録基準を設け、各がん検診精密検査医療機関の登録を行っております。登録基準については、平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、統一基準が決定し、これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が設定され、平成11年度以降の登録更新から適用することとしております。

なお、登録手続きは、地区医師会経由で申請を受け付けます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857-27-5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

申請の届出書は、「鳥取県健康対策協議会ホームページ」からダウンロードできます。

記

1. 改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたもののについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に取り扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2. 次回の更新時期

次回の更新時期

◎一次検診登録

| 名 称 | 現在の登録期間 | 次回更新手続き時期 | 従事者講習会等 受講点数対象期間 |
|-----------------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 子宮がん検診実施（一次検診）医療機関 | H26. 4. 1～H27. 3. 31 | H26年度中 | |
| 肺がん一次検診医療機関 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 | H28年度中 | |
| 乳がん一次検診医 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 | H26年度中 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 |
| 乳がん検診一次検査（乳房X線撮影）医療機関 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 | H28年度中 | |

◎精密検査登録

| 名 称 | 現在の登録期間 | 次回更新手続き時期 | 従事者講習会等 受講点数対象期間 |
|------------|----------------------|---------------|----------------------|
| 胃がん検診精密検査 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 | H26年度中 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 |
| 子宮がん検診精密検査 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 | H26年度中 | H24. 4. 1～H27. 3. 31 |
| 肺がん検診精密検査 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 | H28年度中 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 |
| 乳がん検診精密検査 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 | H28年度中 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 |
| 大腸がん検診精密検査 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 | H28年度中 | H26. 4. 1～H29. 3. 31 |
| 肝臓がん検診精密検査 | H25. 4. 1～H28. 3. 31 | H27年度中 | H25. 4. 1～H28. 3. 31 |

※大腸がん検診注腸X線検査医療機関は、平成25年3月31日をもって廃止となりました。

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 精密検査として、内視鏡検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な胃内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 食道、胃内視鏡検査の臨床例が年間50例以上あること。
- 4 精密検査の結果判明後は、胃精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見胃がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 胃がん検診読影委員会が主催する症例検討会に出席すること。
- 7 担当医が、胃がん検診従事者講習会を過去3年間に1度は受講していること。
- 8 担当医が、胃がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。
- 9 関連の各種学会等への参加を通じて、常に胃がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 | 点数 |
|-----------------------|--------------------|----|
| 胃がん検診従事者講習会 | 全県 1回/年 | 5点 |
| 胃がん検診症例研究会 | 東部 6回/年 西部 2回/年 | 3点 |
| 消化器がん検診症例検討会 | 中部 6回/年 | 3点 |
| 胃疾患研究会 | 東部 11回/年 | 3点 |
| 鳥取消化器疾患研究会 | 東部 2回/年 | 3点 |
| 胃がん内視鏡検診講習会 | 東部 1回/年 | 3点 |
| 消化器病研究会 | 中部 6回/年 | 3点 |
| 山陰消化器研究会 | 全県 6回/年 | 3点 |
| 消化管研究会 | 西部 22回/年 | 3点 |
| 境港市胃及び大腸がん検診反省会・症例検討会 | 西部 1回/年 | 3点 |
| 消化器内視鏡学会（全国学会・地方会） | 各 1回/年 | 3点 |
| 消化器病学会（全国学会・地方会） | 各 1回/年 | 3点 |
| 消化器集団検診学会（全国学会・地方会） | 各 1回/年 | 3点 |

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 コルポスコープに習熟した医師が対応できること。
- 2 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 3 検診の資料及び検診結果は3年以上にわたって整理、保存されること。
- 4 担当医が、日本産科婦人科学会専門医であること及び子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会を過去3年間に2回以上受講していること。ただし、やむを得ず、3年間のうち1回しか受講できなかった場合については、別途追加で開催する講習会に出席すれば登録条件を充たしたこととする。

(別記) 対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 |
|---------------------------|---------|
| 子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会 | 全県 1回/年 |

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 胸部エックス線撮影、CT撮影が可能であること。
- 2 気管支ファイバースコープ検査が施行でき、かつBF下細胞診が可能であること。
- 3 精検のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見肺がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 7 担当医が、肺がん検診従事者講習会を過去3年間に以下に指定する学会及び研究会に参加して、合計20点以上を取得すること。
 - (1) 鳥取県健康対策協議会主催の肺がん検診従事者講習会 10点（過去3年間に1回参加は必須事項）
 - (2) 各地区医師会主催の肺がん検診研究会 2点
 - (3) 日本肺がん学会総会 5点
 - (4) 肺がん検診セミナー 5点
 - (5) 日本肺がん学会中四国地方会 3点
- 8 関連各種学会等への参加を通じて、常に肺がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 | 点数 |
|-------------------------|----------|-----|
| 肺がん検診従事者講習会 | 全県 1回/年 | 10点 |
| 東部地区肺がん検診従事者講習会 | 東部 1回/年 | 2点 |
| 東部胸部疾患研究会（年5回） | 東部 5回/年 | 2点 |
| 胸部疾患研究会（年12回） | 中部 12回/年 | 2点 |
| 西部地区肺がん検診胸部X線勉強会 | 西部 5回/年 | 2点 |
| 日本肺がん学会総会（全国学会・地方会） | — | 5点 |
| 肺がん検診セミナー（全国学会・地方会） | — | 5点 |
| 日本肺がん学会中四国地方会（全国学会・地方会） | — | 3点 |

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 医療施設内に乳房用エックス線撮影装置（「以下「乳房撮影装置」という。）及び乳房専用超音波検査装置を有すること。
- 2 乳房撮影装置は、日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たす（満たさない場合は、線量（3mGy以下）及び画像基準を満たす）撮影装置を備えること。
 なお、上記の基準に合致しなくても、委員長の指名する委員によって審査をした結果、当該検査を実施するに適格な撮影装置であると判定され、委員会で承認された装置であればいい。
- 3 乳房撮影を行う診療放射線技師が1名以上いること。
 なお、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催する乳房エックス線検査に関する講習会を修了していることが望ましい。
- 4 同一施設内で乳房造影、細胞診等の乳がん検査が可能であること。
- 5 精密検査結果判明後は、乳がん精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに当該市町村に送付すること。
- 6 発見乳がんに関して健対協が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 7 担当医は、県、健対協、医師会が主催する乳腺疾患関係の研修会、症例検討会に積極的に参加し、乳がん研究会等各種集会への参加を通じて常に乳がん検診に関する学術的情報の補足に努めることとし、できれば日本乳癌学会の認定医であることが望ましい。
 また、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に20点以上取得していること。ただし、「乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会」、「各地区症例検討会」、「鳥取県乳腺疾患研究会」以外の学会、研究会については、出席した事が証明できる書類等の写しを添付すること。
- 8 上記の参加条件に不備、不足があった場合には登録更新を認めない。

（別記）対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 | 点数 |
|------------------------------|--------------|----|
| 乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会 | 全県 1回/年 | 5点 |
| 日本乳癌学会 | 1回/年 | 5点 |
| 日本乳癌検診学会 | 1回/年 | 5点 |
| 各地区症例検討会 | 東・中・西部 各1回/年 | 3点 |
| 日本乳癌学会中国四国地方会 | 1回/年 | 3点 |
| 鳥取県乳腺疾患研究会 | 1回/年 | 3点 |
| その他乳癌関連学会、研究会等 | — | 3点 |

[附則2]

- 1 責任者の欠員を生じた医療機関は遅滞なく、地区医師会を通じ、健対協に継続の意志の有無を届け出ることとし、適格な責任者がなければ登録資格は喪失するものとする。
- 2 部会等の長は、これらの医療機関に対して、必要に応じて届出機器で撮影した乳房エックス線像の提出を求めることができる。
- 3 超音波診断装置は乳房疾患診断可能な周波数（MHz）の異なる複数のプローブが必要である。
- 4 健対協は、委員会の審議までに委員長の指名する2名の委員に届出機関の視察を依頼し、その結果を委員会での審議の資料とする。

鳥取県乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録基準

- 1 医療施設内に乳房用エックス線撮影装置（以下「乳房撮影装置」という。）を有すること。
- 2 乳房撮影装置は、日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たす（満たさない場合は、線量（3 mGy以下）及び画像基準を満たす）撮影装置を備えること。
なお、上記の基準に合致しなくても、委員長の指名する委員によって審査をした結果、当該検査を実施するに適切な撮影装置であると判定され、委員会で承認された装置であればいい。
- 3 乳房撮影を行う診療放射線技師が1名以上いること。
なお、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催する乳房エックス線検査に関する講習会を修了していることが望ましい。
- 4 上記の参加条件に不備、不足があった場合には登録更新を認めない。

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 全大腸内視鏡検査が実施できるか又はS状結腸内視鏡検査及び注腸エックス線検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 内視鏡検査の臨床例が年間30例以上あること。
- 4 注腸エックス線検査を実施する場合には、次の基準にあうエックス線装置を有すること。
 - (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
 - (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
 - (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 5 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 6 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 7 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 8 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 9 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 10 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。
- 11 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 | 点数 |
|-----------------------|----------|----|
| 大腸がん検診従事者講習会 | 全県 1回/年 | 5点 |
| 消化器疾患研究会 | 東部 2回/年 | 2点 |
| 胃がん検診症例検討会 | 東部 6回/年 | 2点 |
| 胃疾患研究会 | 東部 11回/年 | 1点 |
| 消化器病研究会 | 中部 6回/年 | 2点 |
| 消化器がん検診症例検討会 | 中部 6回/年 | 2点 |
| 消化管研究会 | 西部 22回/年 | 1点 |
| 境港市胃及び大腸がん検診反省会・症例検討会 | 西部 1回/年 | 2点 |
| 山陰消化器研究会 | 全県 6回/年 | 2点 |
| 消化器内視鏡学会(全国学会・地方会) | 各 1回/年 | 2点 |
| 消化器病学会(全国学会・地方会) | 各 1回/年 | 2点 |
| 消化器集団検診学会(全国学会・地方会) | 各 1回/年 | 2点 |

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 2 検診の資料及び結果は3年以上保存されること。
- 3 精密検査として、少なくとも血小板検査、超音波検査、アルファフェトプロテイン（AFP）検査及びHCV-RNA検査（アンプリコア定性法）が実施できること。
- 4 次の基準にあう超音波検査機器を有し、かつ超音波検査に習熟した医師が対応できること。
 - (1) 走査方式は電子コンベックス方式が可能であること。
 - (2) 2系統以上の距離計測機能を有していること。
 - (3) ポラロイド撮影装置、プリンターマルチフォーマットカメラ、電子媒体のいずれかの画像記録装置を有していること。
 - (4) 観察用モニターは、12インチ以上であること。（携帯型超音波装置は除く。）

※一部携帯型で高機能の装置が出ているため、希望があれば装置を確認し、十分な画像があれば承認するものとする。
- 5 腹部超音波検査の臨床例が年間200例以上あること。
- 6 担当医が、肝臓がん検診従事者講習会等の受講点数を、過去3年間に10点以上取得していること。
ただし、肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会に各1回必ず出席していること。

（別記）対象となる講習会等

| 講習会等の区分 | 開催頻度 | 点数 |
|---------------------|---------|----|
| 肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会 | 全県 1回/年 | 5点 |
| 山陰肝・胆・膵研究会 | 全県 1回/年 | 2点 |
| 消化器疾患研究会 | 東部 2回/年 | 2点 |
| 東部地区腹部超音波研究会 | 東部 4回/年 | 2点 |
| 腹部画像診断研究会 | 中部 6回/年 | 2点 |
| 中部肝疾患セミナー | 中部 2回/年 | 2点 |
| 肝・胆・膵研究会 | 西部 6回/年 | 2点 |
| 消化器超音波研究会 | 西部 4回/年 | 2点 |
| 西部腹部超音波研究会 | 西部 2回/年 | 2点 |
| 肝がん撲滅運動講演会 | 全県 1回/年 | 3点 |
| 山陰肝臓治療研究会 | 全県 1回/年 | 3点 |

（鳥根県開催も対象）

（注）上記以外の講習会等については、評価委員会及び専門委員会においてその都度協議することとする。

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準

- 1 登録資格は医師とし、専攻科は問わない。
- 2 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に12点以上取得していること。ただし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会には、必ず1回は出席していること。
- 3 新規登録の場合は、次のいずれかを受講すること。
 - (1) 原則として健対協の主催する一次検診医講習会を受講すること。
 なお、この講習会は、乳がん及び乳がん検診についての一般的知識、特に視診及び触診に重点をおいた診断法、触診の実技の習得を目的とし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会に引き続いて年1回開催するものである。
 - (2) (1)の講習会を受ける事ができなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医師系委員から(1)に準じた指導を受けること。この場合、指導した医師が、一次検診医として十分能力が得られたと認定した時点をもって終了する。
- 4 上記2、3にかかわらず、次に該当する場合は、登録できるものとする。
 - (1) 日本乳癌学会認定の専門医、認定医
 - (2) 日本乳癌学会又は日本乳癌検診学会の役員

(別記) 対象となる講習会等

| 講 習 会 等 の 区 分 | 開 催 頻 度 | 点 数 |
|------------------------------|--------------|-----|
| 乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会 | 全県 1回/年 | 5点 |
| 日本乳癌学会 | 1回/年 | 5点 |
| 日本乳癌検診学会 | 1回/年 | 5点 |
| 各地区症例検討会 | 東・中・西部 各1回/年 | 3点 |
| 日本乳癌学会中国四国地方会 | 1回/年 | 3点 |
| 鳥取県乳腺疾患研究会 | 1回/年 | 3点 |
| その他乳癌関連学会、研究会等 | — | 3点 |

あ と が き

全国的に施設検診の比率が増加しており、その精度管理の重要性が指摘されています。鳥取県においては、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会で検討を重ね、精度向上に努めてまいりました。集団検診ばかりではなく施設検診の質を保っていくことが、今後益々重要となります。一層の向上に努めてまいります。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書第20報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々ご助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。

発刊に際し、県医師会長魚谷 純先生に御指導を戴きました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、田中貴裕さんには何時もの様に強力なお手伝いを戴きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理事 岡 田 克 夫